

南風原町地域福祉にかかわる 町民意識調査報告書

令和5年3月
南風原町

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の実施方法	1
3. 標本誤差について	2
4. 集計・表示について	2

II 調査結果の報告

1. 基本的なことについて	5
(1) 小学校区	5
(2) 性別	6
(3) 年齢構成	7
(4) 職業	8
(5) 世帯構成	10
(6) 同居家族（複数回答）	12
(7) 住宅の種類	13
(8) 出身地	16
2. 地域との関わりについて	17
(1) 居住年数	17
(2) 自治会への加入状況	19
(3) 自治会に加入していない理由	22
(4) 地域の住みごこち	24
(5) 南風原町の地域環境	26
(6) 隣近所との関係	51
(7) 近所づきあいの考え方（複数回答）	53
(8) 人とふれあう機会の有無	57
(9) 人とふれあう機会の頻度	61
(10) 日常生活の孤独感	63
(11) 地域活動・行事への参加状況	65
(12) 地域活動に参加していない理由	67
(13) 地域活動への参加意向	69
(14) 地域の支え合いに期待すること・必要に思うこと（複数回答）	69
(15) 日常生活の中で手伝ってほしいこと（複数回答）	72
(16) 日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（複数回答）	74

3. 困っていることや相談について.....	77
(1) 生活する上で困っていることや不安に思っていること（複数回答）	77
(2) 生活や福祉に関する相談窓口	80
(3) 地域の相談窓口や相談員の利用意向.....	82
(4) 地域の相談窓口や相談員を利用したくない理由（複数回答）	82
4. 福祉への関心と情報について.....	83
(1) 地域の福祉への関心.....	83
(2) 地域の福祉に関心がない理由.....	83
(3) 福祉情報の入手先（複数回答）	84
5. 地域福祉の推進について.....	86
(1) 住みよい地域社会を実現していくうえで問題となること（複数回答）	86
(2) 住みよいまちづくりについて学び合う機会への参加意向	87
(3) 参加したい学びの場の内容（複数回答）	87
(4) 福祉の充実を図るために必要なこと（複数回答）	88
6. 福祉サービスの利用について.....	90
(1) 福祉サービスの利用で不都合や不満を感じたこと	90
(2) 不都合や不満を感じた内容（複数回答）	91
7. 地域福祉に関連する用語について	92
(1) 地域福祉に関する用語.....	92
8. 成年後見制度について.....	93
(1) 成年後見制度、日常生活自立支援事業の周知度など	93

調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

- ・第3次計画を策定するにあたり、町民の地域福祉に関する意識や地域活動等への参加状況、地域福祉推進における課題等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として町民意識調査を実施した。

2. 調査の実施方法

(1) 調査の対象者

- ・本調査の対象者は、町内在住の20歳以上とし、町の住民基本台帳より3,100人を無作為に抽出。

(2) 調査方法

- ・郵送による配布・回収およびWebアンケート

(3) 調査期間

- ・令和5年2月2日～令和5年2月24日

(4) 回収率

- ・調査対象者数：3,100件 総回収数：1,165件 回収率 37.6%

うち

紙による調査の回収状況 回収数：784件 回収率 25.3%

Webによる回収状況 回収数：381件 回収率 12.3%

(5) 調査項目

- ・基本的なことについて（小学校区、性別、年齢、職業、世帯構成、住宅の種類 など）
- ・地域との関わりについて（居住年数、自治会への加入、住みごころ、近所付き合い、孤立 など）
- ・困っていることや相談について（生活の不安、相談相手 など）
- ・福祉への関心と情報について（地域の福祉情報の入手方法 など）
- ・地域福祉の推進について（地域福祉を実現していく上での問題点、学びの機会の参加の有無、参加したい内容、福祉の充実で必要なこと）
- ・福祉サービスの利用について（不都合や不満の有無、内容 など）
- ・地域福祉に関連する用語について（社会福祉協議会、民生委員・児童委員の周知状況 など）
- ・成年後見制度等について（成年後見制度、日常生活自立支援事業の認知度 など）

3. 標本誤差について

調査票の有効回収数は、母集団に対し、どの程度の誤差を持つかによって決まります。母集団を推定する際のサンプル数(有効回収数)とのずれの大きさ(標本誤差率)は、下式によって求められます。

$$\text{標本誤差率} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \times \pm 1.96 \times 100\%$$

N = 母集団の大きさ(調査対象となる20歳以上の人口)
n = サンプルの大きさ(ここでは有効回収数とする)
P = 回答率(通常は0.5を用いる)
±1.96 = 標準化補正值

N	n (有効回収数)	P	標本誤差率
29,996	1,165	0.5	±2.81

N(母集団) : 令和4年4月1日現在の20歳以上の人口

一般的に、許容できる標本誤差率の範囲は±4%未満の範囲までであり、今回の調査の有効回収数は1,165件、標本誤差率は±2.81で、回収件数として問題はないと言えます。

4. 集計・表示について

- (1)集計は単純集計、回答者の属性とのクロス集計及び必要に応じて設問間のクロス集計を行いました。
- (2)比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率を合計しても100.0%とにならないことがあります。
- (3)複数回答の設問については、比率の合計が100%を超えることがあります。
- (4)「無回答」には回答がなかったもの及び回答の判別が困難(不明)なものを含みます。
- (5)帯グラフの左端の()内は回答者実数を表します。
- (6)報告書の文章や図表において、選択肢の一部を省略して記載している場合があります。
- (7)クロス集計では、原則として表側の各属性等の「無回答」を表示していません。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいます。

調査結果の報告

Ⅱ 調査結果の報告

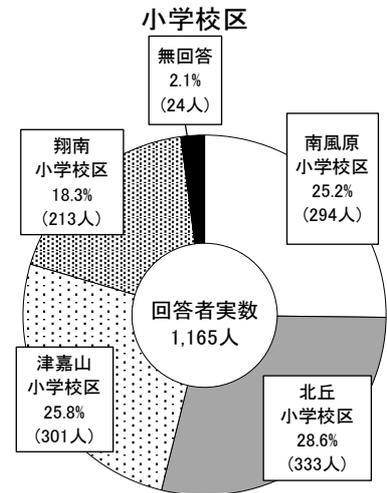
1. 基本的なことについて

(1) 小学校区

問2 あなたがお住まいの小学校区はどこですか。

現在住んでいる地域(小学校区)は、「北丘小学校区」が28.6%と最も高く、次いで「津嘉山小学校区」が25.8%、「南風原小学校区」が25.2%、「翔南小学校区」が18.3%となっています。

年代別でみると、「20代」、「30代」、「40代」といった比較的若い世代の割合は「津嘉山小学校区」で高く、「50代」、「60代」、「70代」、「80代以上」の割合は「北丘小学校区」で高くなっています。



住んでいる地域（年代別）

	回答者実数	南風原小学校区	北丘小学校区	津嘉山小学校区	翔南小学校区	無回答
20代	115人	20.9% (24人)	20.9% (24人)	41.7% (48人)	13.9% (16人)	2.6% (3人)
30代	198人	23.7% (47人)	24.7% (49人)	34.8% (69人)	15.2% (30人)	1.5% (3人)
40代	226人	26.1% (59人)	25.7% (58人)	30.5% (69人)	16.8% (38人)	0.9% (2人)
50代	180人	28.9% (52人)	31.7% (57人)	22.8% (41人)	15.6% (28人)	1.1% (2人)
60代	186人	25.3% (47人)	33.9% (63人)	16.1% (30人)	23.1% (43人)	1.6% (3人)
70代	164人	28.0% (46人)	29.9% (49人)	18.9% (31人)	19.5% (32人)	3.7% (6人)
80代以上	94人	20.2% (19人)	35.1% (33人)	13.8% (13人)	27.7% (26人)	3.2% (3人)

●前回アンケート結果より

- ・小学校区は、「北丘小学校区」が30.8%と高く、次に「津嘉山小学校区」が25.6%、「南風原小学校区」が23.5%となっています。また、「翔南小学校区」が18.0%と最も低くなっています。

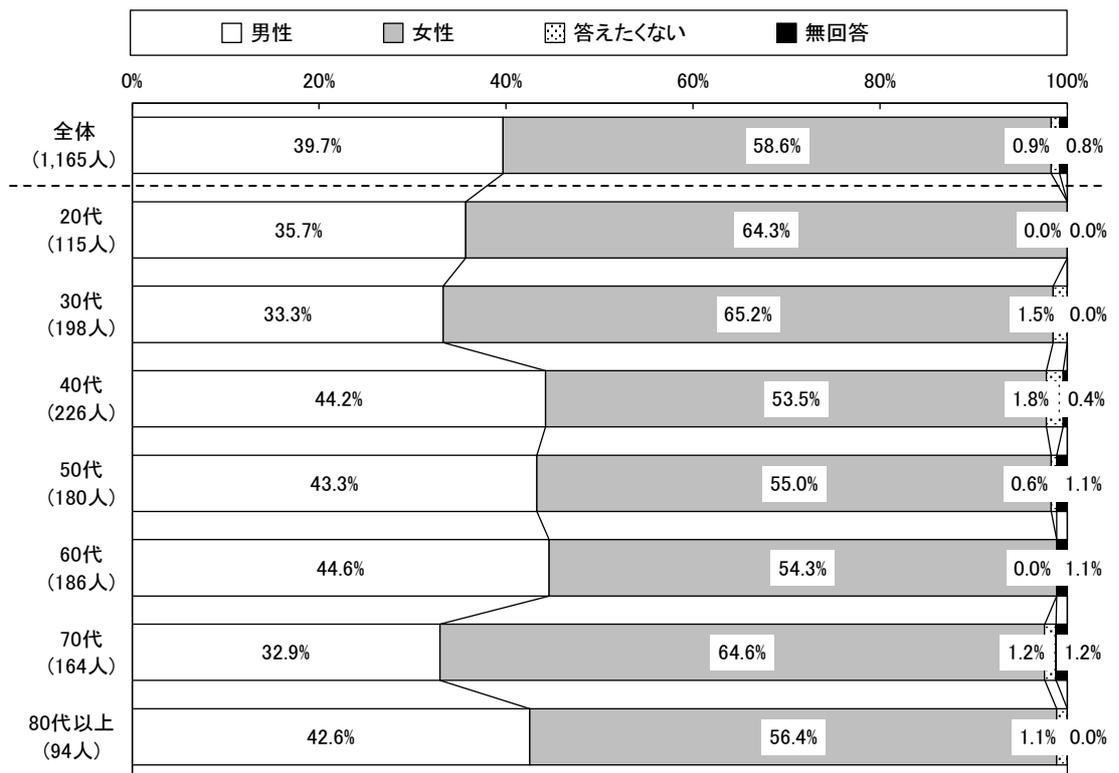
(2) 性別

問3 あなたの性別を教えてください。

性別は、「男性」の割合が39.7%、「女性」の割合が58.6%で、「女性」が18.9ポイント上回っています。

年代別にみると、「20代」、「30代」、「70代」では「男性」が30%台半ば、「女性」が60%台半ばとなっています。その他の年代では、「男性」が40%台半ば、「女性」が50%台半ばで、「20代」、「30代」、「70代」と比較すると男性の比率が少し高くなっています。

性別（全体・年代別）



●前回アンケート結果より

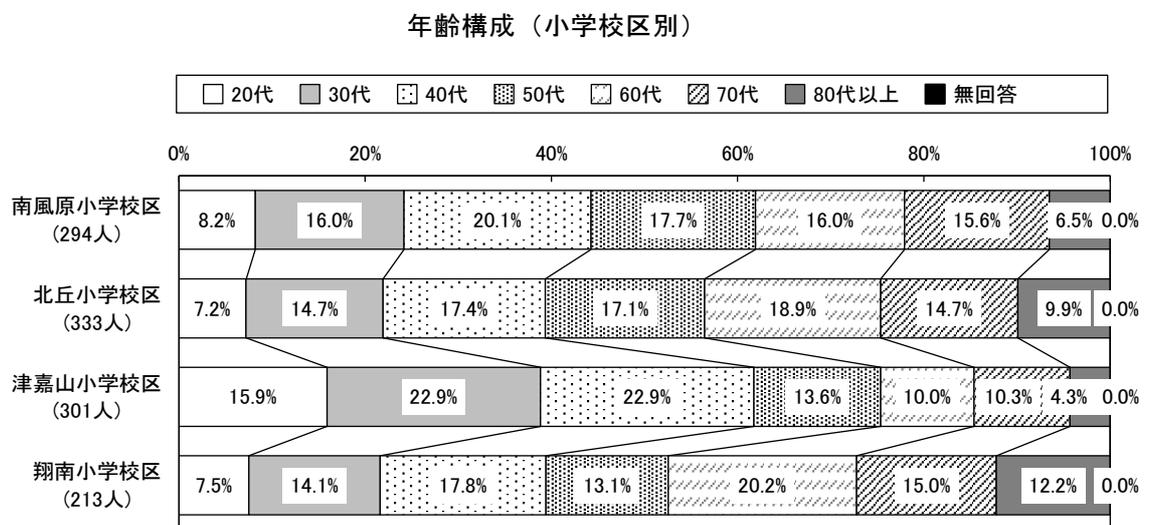
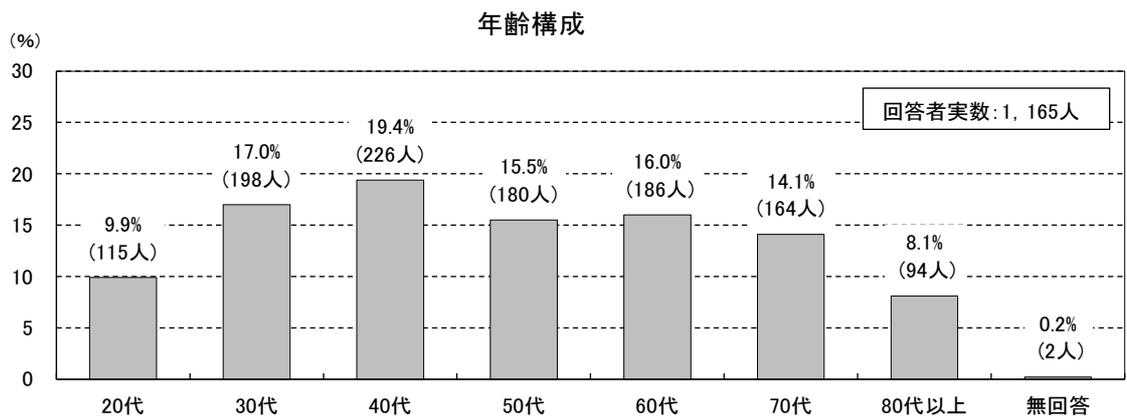
・性別は、「男性」が39.4%、「女性」が60.1%で、「女性」が20.7ポイント上回ります。

(3) 年齢構成

問4 あなたの年齢（令和5年1月1日現在）を教えてください。

年齢構成は、「40代」の割合が19.4%と最も高く、次いで「30代」が17.0%、「60代」が16.0%、と続いており、「40代」と「30代」で全体の36.4%を占めています。

小学校区別にみると、「南風原小学校区」、「北丘小学校区」、「翔南小学校区」では「20代」の割合が低く「70代」以上が2割を超えています。「津嘉山小学校区」では「40代」以下が61.7%と6割以上を占める一方、「70代」以上は14.6%と1割台で他の小学校区と比較して「20代」から「40代」の割合が高くなっています。



●前回アンケート結果より

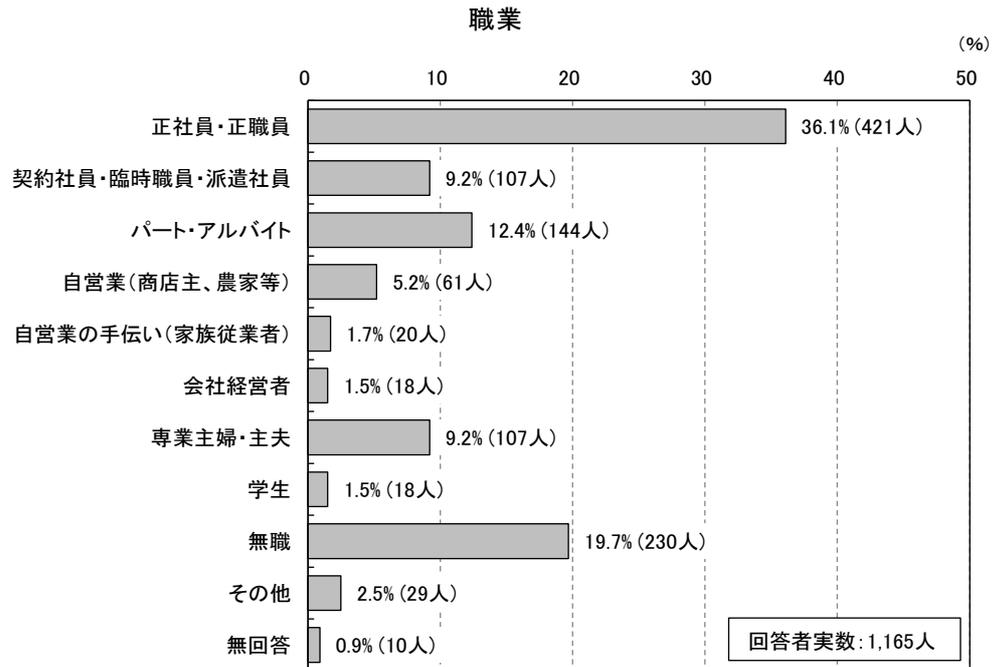
- ・年齢構成は、「40代」が20.7%と最も高く、「20代」と「80代以上」が10%未満と低くなっています。そのほかの年代は10%台で、大きな違いはありません。
- ・小学校区別にみると、各小学校区とも「20代」、「80代」が低く、「南風原小学校区」と「翔南小学校区」は「60代」、「北丘小学校区」は「40代」、「津嘉山小学校区」では「30代」、「40代」が高くなっています。

(4) 職業

問5 あなたの職業を教えてください。

職業は、「正社員・正職員」の割合が36.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が12.4%、「契約社員・臨時職員・派遣社員」と「専業主婦・主夫」が共に9.2%と続きます。

また、「専業主婦・主夫」、「学生」、「無職」を合わせると30.4%で、仕事を持っていない人が約3割を占めています。

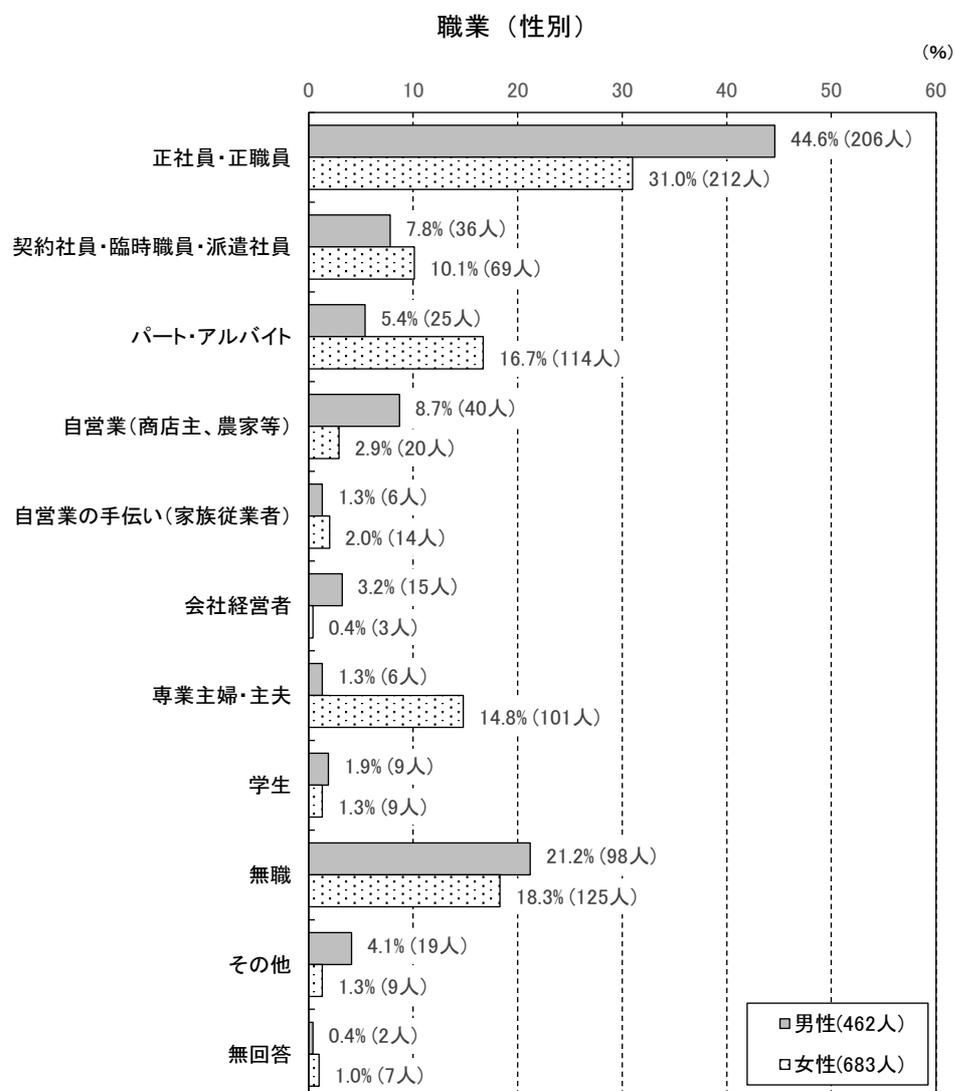


●前回アンケート結果より

- ・職業は、「正社員・正職員」が33.7%と最も高く、次に「無職」が20.5%となっています。続いて「パート・アルバイト」が11.2%、「専業主婦・主夫」が10.8%、「契約社員・臨時職員・派遣社員」が9.5%となっています。「専業主婦・主夫」、「学生」、「無職」を合わせると、特に仕事を持っていない人が32.5%を占めます。

性別でみると、「正社員・正職員」の割合は「男性」が44.6%、「女性」が31.0%と「男性」の割合が「女性」より高くなっています。また、「自営業(商店主、農家等)」、「会社経営者」、「学生」、「無職」でも「女性」より「男性」の割合が高くなっています。

一方、「パート・アルバイト」と「専業主婦・主夫」の割合は「女性」の方が「男性」より10ポイント以上高く、また、「自営業の手伝い」でも「女性」がわずかに高くなっています。



●前回アンケート結果より

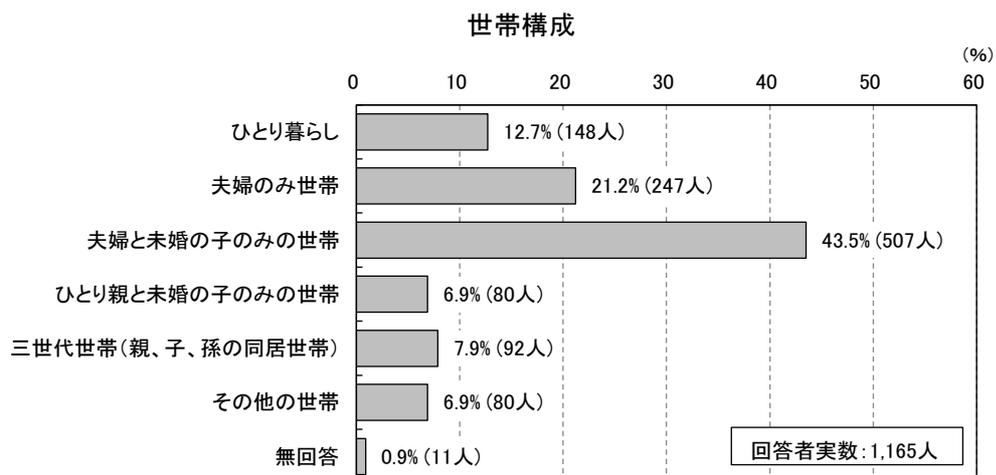
- ・性別でみると、「正社員・正職員」は「男性」が38.7%、「女性」が30.4%と「男性」が「女性」を上回ります。また、「自営業(商店主、農家等)」、「会社経営者」、「無職」も「男性」が高くなっていますが、中でも「会社経営者」、「無職」は60代以上が大半を占めます。「パート・アルバイト」は「男性」が4.7%、「女性」が15.6%と「女性」が「男性」を大きく上回ります。また、「自営業の手伝い」と「専業主婦・主夫」も「女性」の割合が高くなっています。

(5) 世帯構成

問6 あなたの世帯構成は次のどれですか。

世帯構成は、「夫婦と未婚の子のみの世帯」の割合が43.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が21.2%、「ひとり暮らし」が12.7%と続きます。

※以下、世帯構成の表記は、「夫婦のみ世帯」を「夫婦のみ」、「夫婦と未婚の子のみの世帯」を「夫婦と子」、「ひとり親と未婚の子のみの世帯」を「ひとり親と子」、「三世帯世帯(親、子、孫の同居世帯)」を「親・子・孫」、「その他の世帯」を「その他」とします。



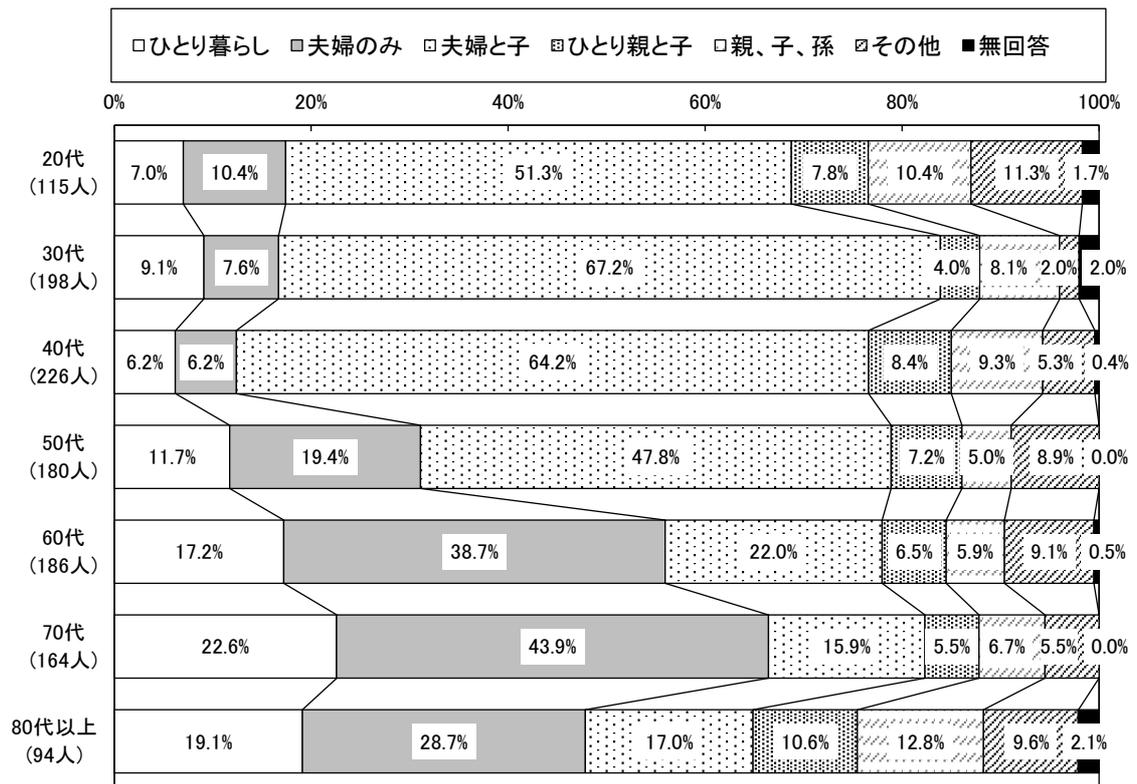
●前回アンケート結果より

- ・世帯構成は、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が40.7%と最も高く、これに「ひとり親と未婚の子のみの世帯」の7.0%を合わせると、核家族世帯が全体の47.7%を占めます。続いて「夫婦のみ世帯」が18.9%、「ひとり暮らし」が15.0%、「三世帯世帯(親、子、孫の同居世帯)」が8.3%となっています。

年代別にみると、「夫婦と子」世帯の割合は年代が高くなるほどおおむね低くなる傾向にあり、特に「50代」から「60代」にかけて大きく低下しています。

「夫婦のみ」と「ひとり暮らし」世帯の割合は、40代から70代にかけて年代が上がるとともに高くなる傾向があり、「夫婦のみ」世帯は、「40代」では6.2%だったものが「70代」では43.9%に、「ひとり暮らし」世帯も、「40代」で6.2%であったものが「70代」では22.6%となっています。

世帯構成（年代別）



● 前回アンケート結果より

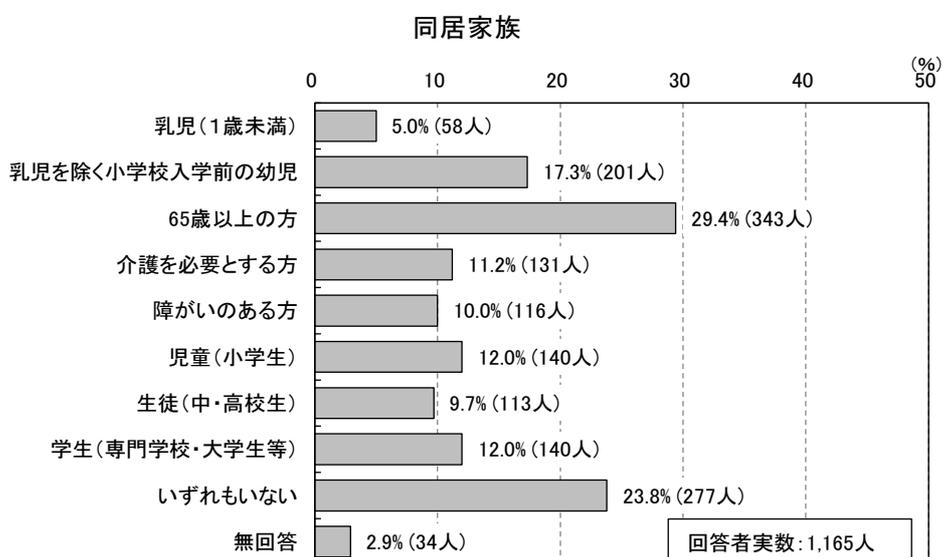
- ・「夫婦と子」は、年代が高いほど割合は低くなる傾向にあり、特に「50代」から大きく低下します。
- ・「夫婦のみ」は、年代が高いほど割合は高くなる傾向にあり、「40代」までは10%未満ですが、「50代」以降では20%以上あります。特に、「60代」が39.3%と最も高くなっています。
- ・「ひとり暮らし」も年代が高いほど割合も高く、「50代」、「60代」で10%半ば、70代以上の割合が20%以上と高くなり、中でも「80代」は28.8%となっています。

(6) 同居家族（複数回答）

問7 あなた自身、または同居している家族に、次のような方はいますか。

同居家族をみると、「65歳以上の方」の割合が29.4%と最も高く、次いで「乳児を除く小学校入学前の幼児」が17.3%、「児童（小学生）」と「学生（専門学校・大学生等）」がそれぞれ12.0%と続いています。また、「介護を必要とする方」、「障がいのある方」といった、支援を必要とする人と同居している人の割合は、それぞれ1割程度となっています。なお、「いずれもない」人の割合は23.8%となっています。

※以下、同居家族の表記は、「乳児（1歳未満）」を「乳児」、「乳児を除く小学校入学前の幼児」を「幼児」、「65歳以上の方」を「高齢者」、「介護を必要とする方」を「要介護者」、「障がいのある方」を「障がい者」、「児童（小学生）」を「小学生」、「生徒（中・高校生）」を「中・高校生」、「学生（専門学校・大学生等）」を「専門・大学生」とします。



小学校区別にみると、すべての小学校区で「高齢者」の割合が最も高く、「南風原小学校区」が32.3%、「北丘小学校区」が31.2%、「津嘉山小学校区」が26.2%、「翔南小学校区」が29.6%となっており、「南風原小学校区」と「北丘小学校区」では「高齢者」の割合が3割を超えています。

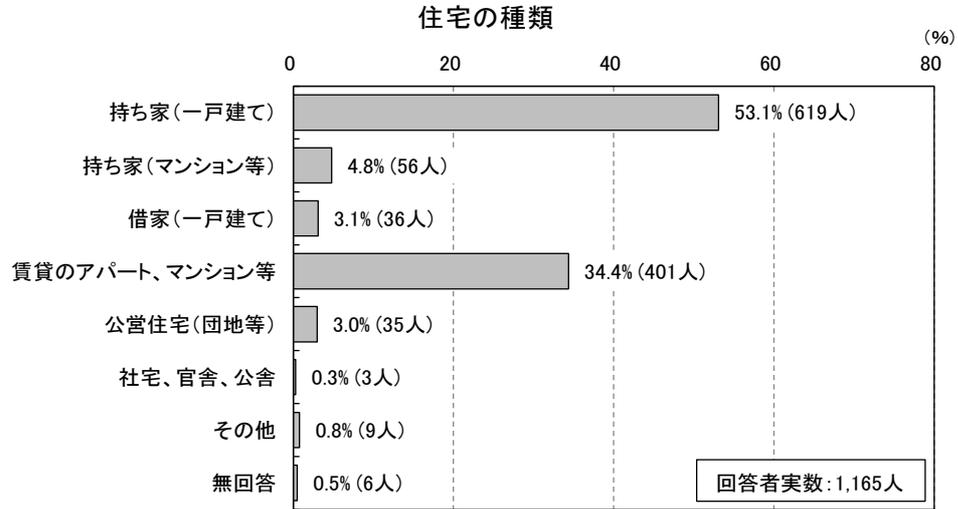
同居家族（小学校区別）

	回答者実数	乳児	幼児	高齢者	要介護者	障がい者	小学生	中・高校生	専門・大学生	いずれもない	無回答
南風原小学校区	294人	4.4% (13人)	16.7% (49人)	32.3% (95人)	11.6% (34人)	8.2% (24人)	12.6% (37人)	9.9% (29人)	12.2% (36人)	22.4% (66人)	2.7% (8人)
北丘小学校区	333人	5.4% (18人)	13.8% (46人)	31.2% (104人)	9.0% (30人)	10.5% (35人)	13.8% (46人)	10.5% (35人)	9.6% (32人)	23.4% (78人)	3.9% (13人)
津嘉山小学校区	301人	7.0% (21人)	22.6% (68人)	26.2% (79人)	11.6% (35人)	8.0% (24人)	10.6% (32人)	8.0% (24人)	13.3% (40人)	25.9% (78人)	1.7% (5人)
翔南小学校区	213人	2.3% (5人)	16.9% (36人)	29.6% (63人)	13.6% (29人)	13.1% (28人)	11.3% (24人)	11.7% (25人)	13.1% (28人)	23.0% (49人)	2.3% (5人)

(7) 住宅の種類

問8 あなたがお住まいの住宅は次のうちどれですか。

現在の住まいは、「持ち家(一戸建て)」の割合が53.1%と最も高く、次に「賃貸のアパート、マンション等」が34.4%となっています。



●前回アンケート結果より

- ・住宅の種類は、「持ち家(一戸建て)」が52.1%と最も高く、次に「賃貸のアパート、マンション等」が36.3%となっています。

住宅の種類を年代別にみると、「持ち家(一戸建て)」の割合は、他の年代に比べれば、「20代」と「30代」が3割前後と低いものの、「40代」以降は年代が上がるほど高くなり、「80代以上」では8割を超えています。一方、「賃貸のアパート、マンション等」は「20代」(59.1%)と「30代」(60.1%)で半数以上を占めており、それに対し、「80代以上」では1割未満となっています。

住宅の種類 (年代別)

	回答者 実数	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション等)	借家 (一戸建て)	賃貸のア パート、マン ション等	公営住宅 (団地等)	社宅、官舎、 公舎	その他	無回答
20代	115人	32.2% (37人)	3.5% (4人)	0.9% (1人)	59.1% (68人)	2.6% (3人)	0.9% (1人)	0.0% (0人)	0.9% (1人)
30代	198人	27.8% (55人)	5.1% (10人)	4.0% (8人)	60.1% (119人)	2.5% (5人)	0.0% (0人)	0.5% (1人)	0.0% (0人)
40代	226人	47.8% (108人)	8.8% (20人)	2.7% (6人)	35.8% (81人)	2.2% (5人)	0.4% (1人)	2.2% (5人)	0.0% (0人)
50代	180人	50.0% (90人)	6.7% (12人)	5.0% (9人)	36.1% (65人)	1.7% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.6% (1人)
60代	186人	70.4% (131人)	2.7% (5人)	1.6% (3人)	19.9% (37人)	3.8% (7人)	0.5% (1人)	0.0% (0人)	1.1% (2人)
70代	164人	73.8% (121人)	1.8% (3人)	4.3% (7人)	12.8% (21人)	5.5% (9人)	0.0% (0人)	1.2% (2人)	0.6% (1人)
80代以上	94人	81.9% (77人)	2.1% (2人)	2.1% (2人)	9.6% (9人)	3.2% (3人)	0.0% (0人)	1.1% (1人)	0.0% (0人)

●前回アンケート結果より

- ・年代別にみると、「持家(一戸建て)」は「20代」から「40代」が20～30%台と低く、「50代」以降年代が高いほど割合も高くなり、「80代」では82.2%となっています。
- ・「賃貸のアパート、マンション等」は若い世代で割合は高く、特に「20代」が60.4%、「30代」は62.1%と半数以上を占めています。それに対し、「80代」では8.2%となっています。

住宅の種類を小学校区別でみると、「持家(一戸建て)」の割合は「翔南小学校区」が64.3%と最も高く、次いで「北丘小学校区」が62.2%、「南風原小学校区」が57.1%、「津嘉山小学校区」が32.6%と続き、「津嘉山小学校区」では「持家(一戸建て)」の割合が低くなっています。

「賃貸のアパート、マンション等」は「津嘉山小学校区」が53.5%と最も高く、次いで「南風原小学校区」が30.6%、「北丘小学校区」が27.3%、「翔南小学校区」が23.0%と続きます。

住宅の種類（小学校区別）

	回答者 実数	持家 (一戸建て)	持家 (マンション等)	借家 (一戸建て)	賃貸のア パート、マン ション等	公営住宅 (団地等)	社宅、官舎、 公舎	その他	無回答
南風原 小学校区	294人	57.1% (168人)	6.1% (18人)	3.7% (11人)	30.6% (90人)	0.3% (1人)	0.3% (1人)	1.0% (3人)	0.7% (2人)
北丘 小学校区	333人	62.2% (207人)	5.1% (17人)	4.5% (15人)	27.3% (91人)	0.0% (0人)	0.3% (1人)	0.3% (1人)	0.3% (1人)
津嘉山 小学校区	301人	32.6% (98人)	5.6% (17人)	0.7% (2人)	53.5% (161人)	6.3% (19人)	0.0% (0人)	0.7% (2人)	0.7% (2人)
翔南 小学校区	213人	64.3% (137人)	1.9% (4人)	2.8% (6人)	23.0% (49人)	6.1% (13人)	0.5% (1人)	1.4% (3人)	0.0% (0人)

●前回アンケート結果より

- ・小学校区別では、「持家(一戸建て)」は「翔南小学校区」が65.1%と最も高く、次に「北丘小学校区」の59.2%、「南風原小学校区」は58.0%となっています。「津嘉山小学校区」が29.8%と最も低くなっています。
- ・「賃貸のアパート、マンション等」は「津嘉山小学校区」が52.5%と最も高く、次に「北丘小学校区」の34.5%、「南風原小学校区」は32.9%となっています。「翔南小学校区」が20.4%と最も少なくなっています。

住宅の種類を世帯構成別にみると、「持ち家(一戸建て)」の割合は「親・子・孫」の三世代世帯が82.6%と最も高く、続いて「夫婦のみ」の世帯が68.4%、「その他」の世帯が55.0%となっています。また、「ひとり暮らし」が31.1%と最も低くなっています。

一方、「賃貸のアパート、マンション等」は「ひとり暮らし」が49.3%と最も高く、次に「夫婦と子」のいる世帯が40.2%、「ひとり親と子」のいる世帯が33.8%となっています。また、「親・子・孫」の三世代世帯が7.6%と最も低くなっています。

住宅の種類（世帯構成別）

	回答者 実数	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション等)	借家 (一戸建て)	賃貸のア パート、マン ション等	公営住宅 (団地等)	社宅、官舎、 公舎	その他	無回答
ひとり暮らし	148人	31.1% (46人)	3.4% (5人)	7.4% (11人)	49.3% (73人)	5.4% (8人)	0.0% (0人)	2.0% (3人)	1.4% (2人)
夫婦のみ	247人	68.4% (169人)	1.6% (4人)	2.4% (6人)	23.9% (59人)	2.4% (6人)	0.4% (1人)	0.8% (2人)	0.0% (0人)
夫婦と子	507人	47.1% (239人)	6.9% (35人)	2.6% (13人)	40.2% (204人)	2.4% (12人)	0.4% (2人)	0.4% (2人)	0.0% (0人)
ひとり親と子	80人	51.2% (41人)	5.0% (4人)	0.0% (0人)	33.8% (27人)	7.5% (6人)	0.0% (0人)	2.5% (2人)	0.0% (0人)
親・子・孫	92人	82.6% (76人)	3.3% (3人)	4.3% (4人)	7.6% (7人)	2.2% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
その他	80人	55.0% (44人)	6.3% (5人)	2.5% (2人)	33.8% (27人)	1.3% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	1.3% (1人)

●前回アンケート結果より

- ・世帯構成別にみると、「持家(一戸建て)」は「親・子・孫」の三世代世帯が84.9%と最も高く、続いて「その他」の世帯が65.9%、「夫婦のみ」の世帯が65.3%となっています。また、「ひとり暮らし」が34.2%と最も低くなっています。
- ・「賃貸のアパート、マンション等」は「ひとり暮らし」が54.2%と最も高く、次に「ひとり親と子」のいる世帯が43.1%、「夫婦と子」のいる世帯が42.8%で、「親・子・孫」の三世代世帯が9.3%と最も低くなっています。

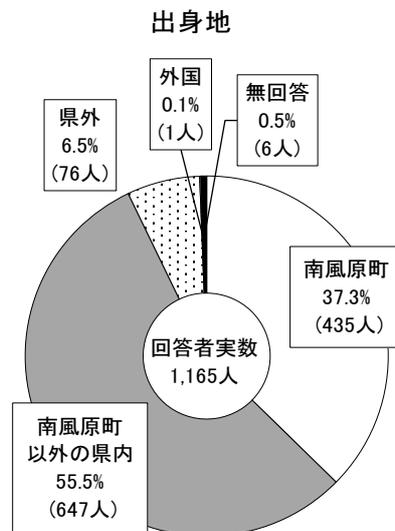
(8) 出身地

問9 あなたの出身地を教えてください。

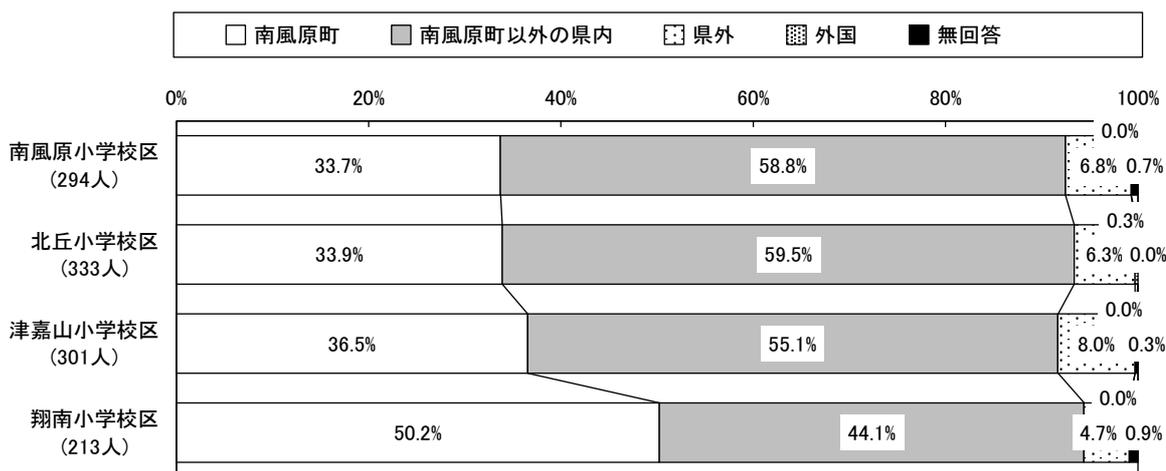
出身地は、「南風原町以外の県内」の割合が55.5%と最も高く、次いで「南風原町」が37.3%、「県外」が6.5%、「外国」が0.1%となっています。

小学校区別にみると、「南風原町」の出身者の割合は、「翔南小学校区」が50.2%、「津嘉山小学校区」が36.5%、「北丘小学校区」が33.9%、「南風原小学校区」が33.7%で、「翔南小学校区」が最も高くなっています。

一方、「南風原町以外の県内」の出身者は「北丘小学校区」が59.5%、「南風原小学校区」が58.8%と高く、「翔南小学校区」が44.1%と最も低くなっています。また、「県外」出身者の割合は「津嘉山小学校区」が8.0%と最も高くなっています。



出身地 (小学校区別)



●前回アンケート結果より

- ・「南風原町」が37.5%となっております。町外出身者では、「南風原町以外の県内」が55.8%と最も高く、「県外」の6.1%、「外国」の0.2%を合わせると全体の62.1%を占めます。
- ・小学校区別にみると、「南風原町」の出身者は「翔南小学校区」が50.0%と最も高く、次に「津嘉山小学校区」が37.4%となっております。また、「南風原小学校区」が33.7%と最も低くなっています。
- ・「南風原町以外の県内」の出身者は「北丘小学校区」が57.7%、「南風原小学校区」が57.6%と高く、「翔南小学校区」が46.2%と最も低くなっています。また、「県外」の出身者は「南風原小学校区」が8.2%と最も高くなっています。

2. 地域との関わりについて

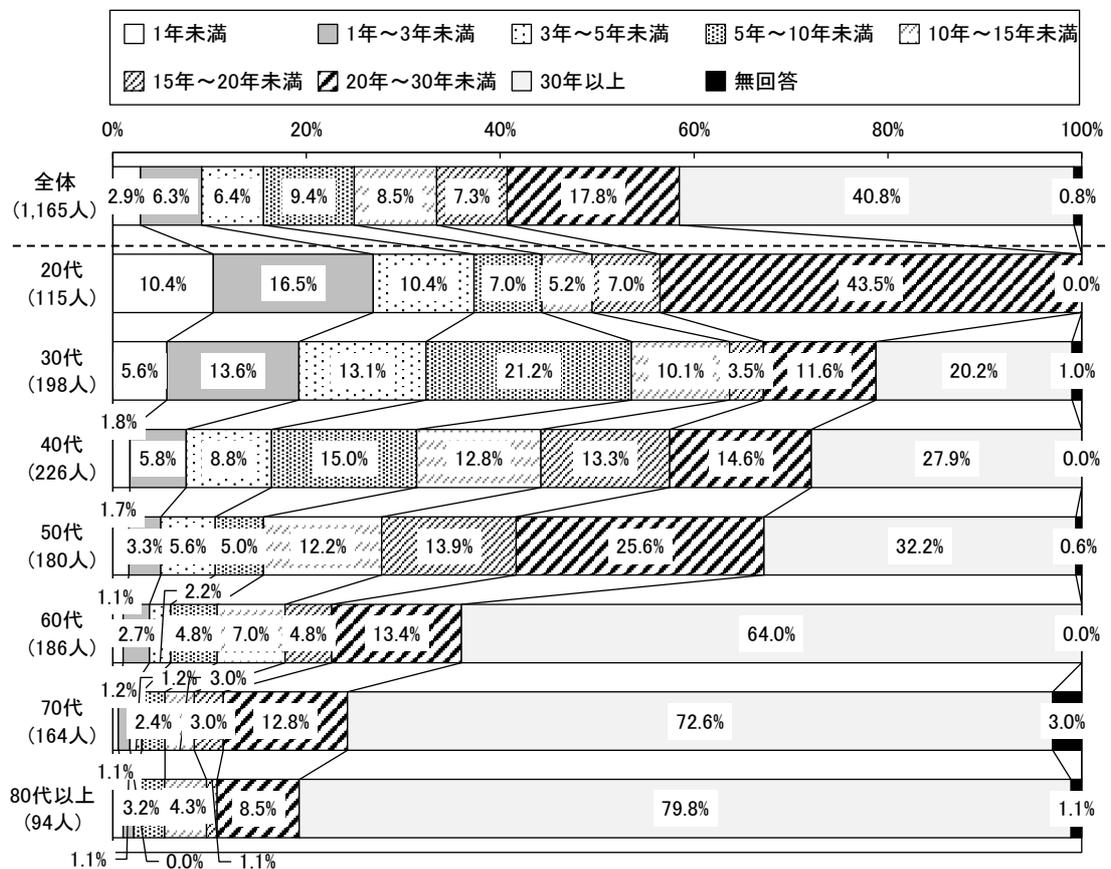
(1) 居住年数

問10 あなたは、南風原町に何年（令和5年1月1日現在）ほどお住まいですか。

南風原町における居住年数について、全体では、「30年以上」の割合が40.8%と最も高く、次いで「20年～30年未満」が17.8%、「5年～10年未満」が9.4%と続いています。

年代別にみると、居住年数が「30年以上」の割合は年代が上がるとともに高くなる傾向にあり、「30代」から「50代」は20～30%台ですが、「60代」では60%半ば、「70代」以上では70%台となっています。また、「20年～30年未満」の割合は「20代」が43.5%と最も高く、次に「50代」が25.6%となっているほか、「1年未満」と「1～3年未満」の割合は年代が高いほど低くなる傾向があります。

居住年数（全体・年代別）

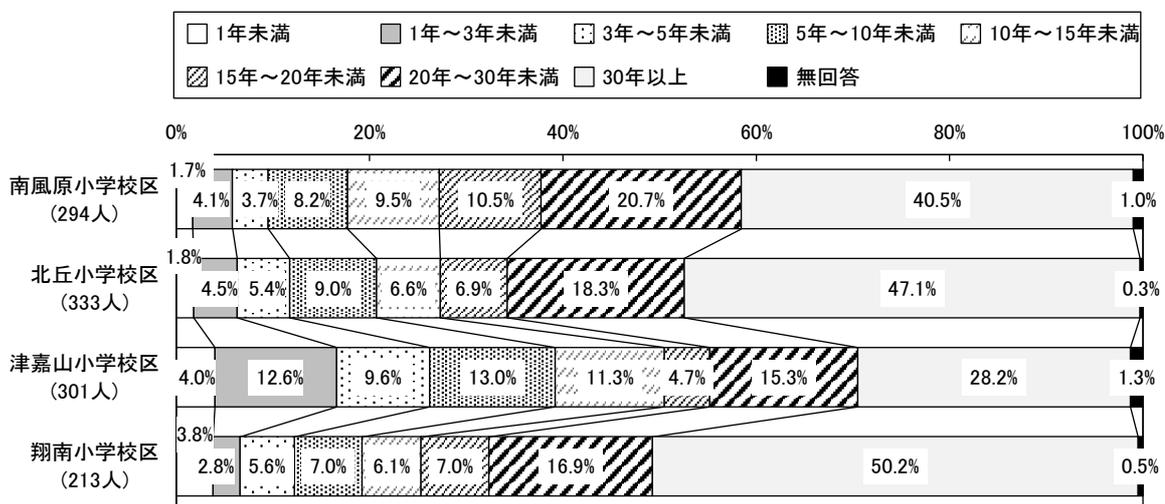


●前回アンケート結果より

- ・居住年数については、「30年以上」が43.3%と最も高く、次に「20年～30年未満」が14.2%となっています。20年以上住んでいる方は57.5%、10年以上住んでいる方は72.9%います。
- ・「30年以上」は年代が上がるとともに高くなる傾向にあり、「30代」から「50代」は20～30%台ですが、「60代」、「70代」は70%台、「80代」は最も高く84.9%となっています。
- ・「20年～30年未満」は「20代」が44.8%と最も高く、次に「50代」が20.7%となっています。
- ・「1年未満」、「1～3年未満」は年代が高いほど割合は低くなっています。

小学校区別にみると、居住年数が「30年以上」の割合は、「翔南小学校区」が50.2%と最も高く、次いで「北丘小学校区」が47.1%、「南風原小学校区」が40.5%の順で、「津嘉山小学校区」は28.2%と最も低くなっています。なお、居住年数が「20年～30年未満」の割合は「南風原小学校区」が20.7%と最も高く、次に「北丘小学校区」が18.3%となっています。

居住年数（小学校区別）



●前回アンケート結果より

- ・小学校区別にみると、「30年以上」は、「翔南小学校区」が54.8%と高く、次に「北丘小学校区」が44.5%、「南風原小学校区」が42.4%となり、「津嘉山小学校区」が35.5%と最も低くなっています。
- ・「20年～30年未満」は「北丘小学校区」が19.1%と最も高く、次に「南風原小学校区」が14.8%となっています。

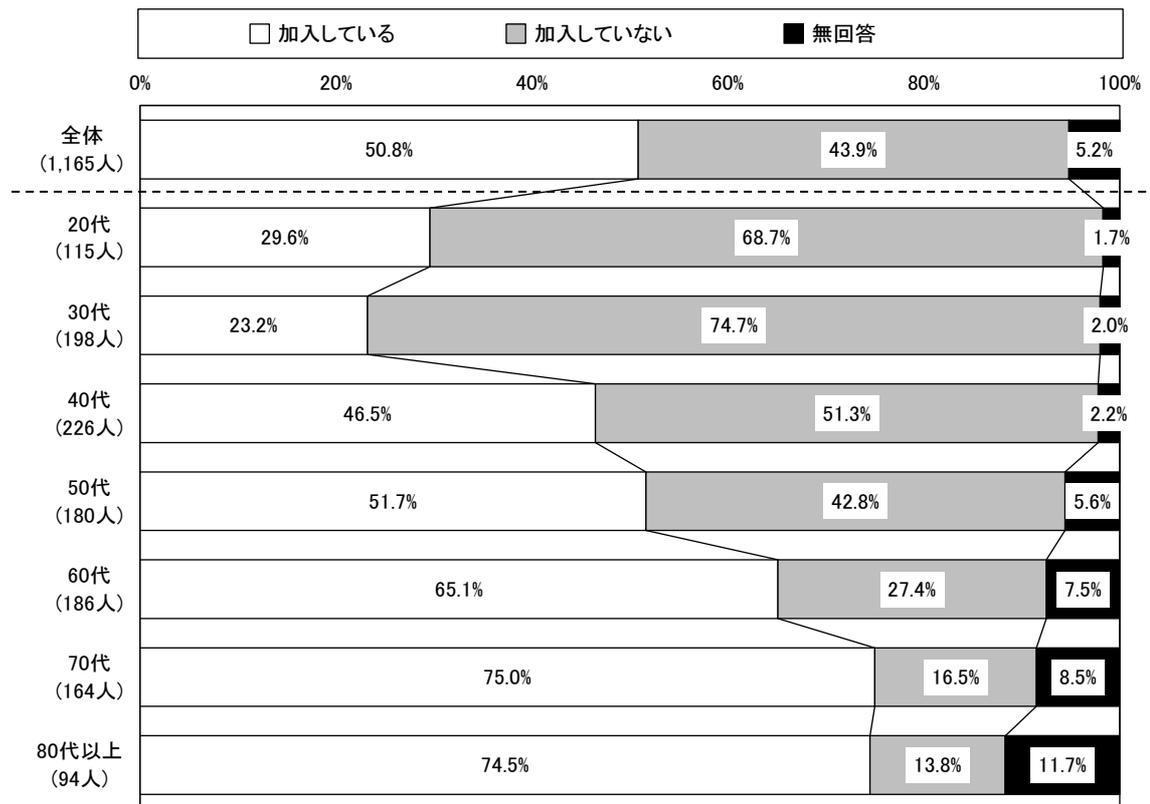
(2) 自治会への加入状況

問11 あなたの世帯は、地域の自治会に加入していますか。

自治会への加入について、全体では、「加入している」割合が50.8%、「加入していない」割合が43.9%と加入世帯が約半数を占めています。

年代別にみると、「加入している」割合は、おおむね年代が上がると高くなる傾向にあり、特に「30代」と「40代」との間で急激に高くなっています。なお、最も低い「30代」が23.2%であるのに対し、「70代」では75.0%と世代間で加入状況に大きな違いがあります。

自治会への加入状況（全体・年代別）



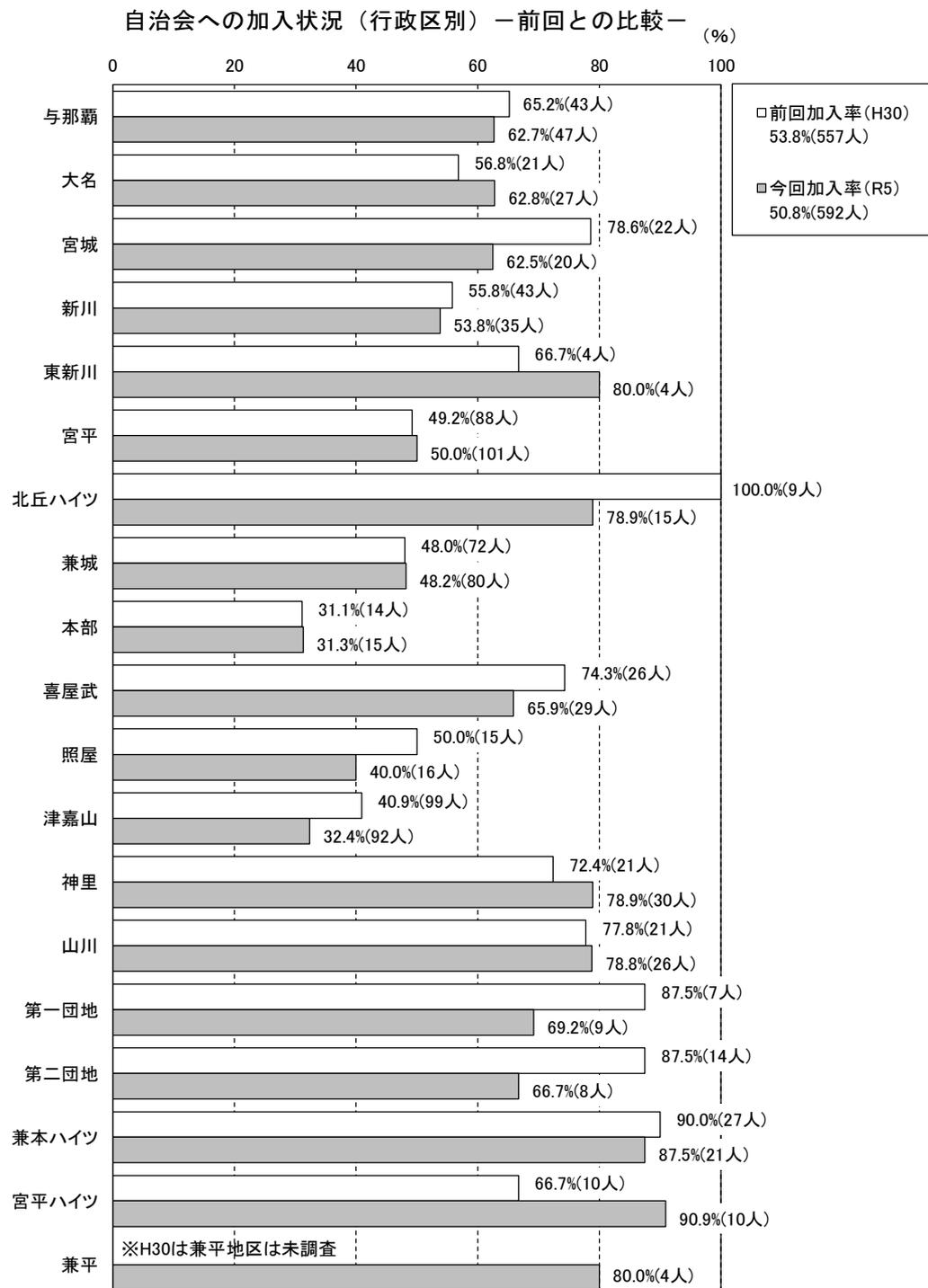
●前回アンケート結果より

- ・自治会への加入については、「加入している」が53.8%、「加入していない」が35.1%と加入世帯が半数を占めます。
- ・年代別にみると、「加入している」は年代があがると割合も高くなり、「20代」が28.1%であるのに対し、「80代」では82.2%となっています。逆に、「加入していない」は年代が高くなるほど割合は低くなる傾向にあります

行政区別に自治会加入率(「加入している」の割合)をみると、今回調査では「宮平 Heights」が90.9%と最も高く、次いで「兼本 Heights」が87.5%と続いています。そのほか、「東新川」と「兼平」以外の行政区では全てが80%未満で、加入率が最も低い「本部」は31.3%となっています。

●前回アンケート結果より

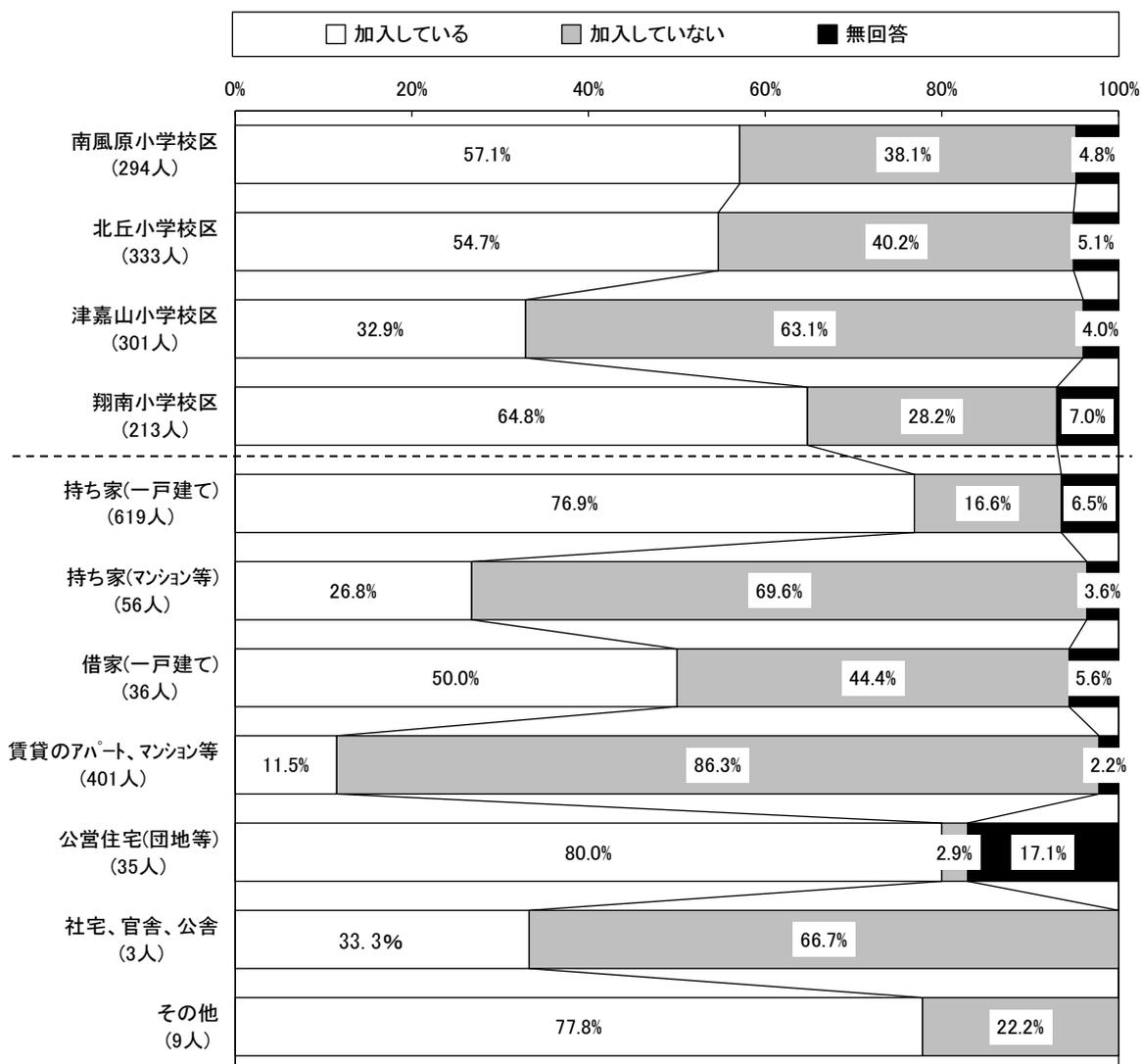
- ・行政区別に自治会加入率(「加入している」の割合)をみると、「北丘 Heights」が対象者が少ないものの100.0%となっています。次いで「兼本 Heights」が90.0%、「第一団地」、「第二団地」が87.5%、そのほかの行政区は80%未満となっています。加入率が最も低いのは「本部」で31.1%となっています。



自治会への加入状況を小学校区別にみると、自治会へ「加入している」割合は、「翔南小学校区」が64.8%と最も高く、「南風原小学校区」と「北丘小学校区」は50%台、「津嘉山小学校区」が32.9%で、「津嘉山小学校区」の自治会加入率が低いことが見てとれます。

住宅の種類別にみると、自治会へ「加入している」割合は、「持ち家(一戸建て)」、「公営住宅(団地等)」で、それぞれ70%以上と高く、次に「借家(一戸建て)」が50.0%となっています。また、「賃貸のアパート、マンション等」では加入率が11.5%と最も低くなっており、賃貸住宅入居者に対し自治会加入を促進する必要性がうかがえます。

自治会への加入状況（小学校区別・住宅の種類別）



●前回アンケート結果より

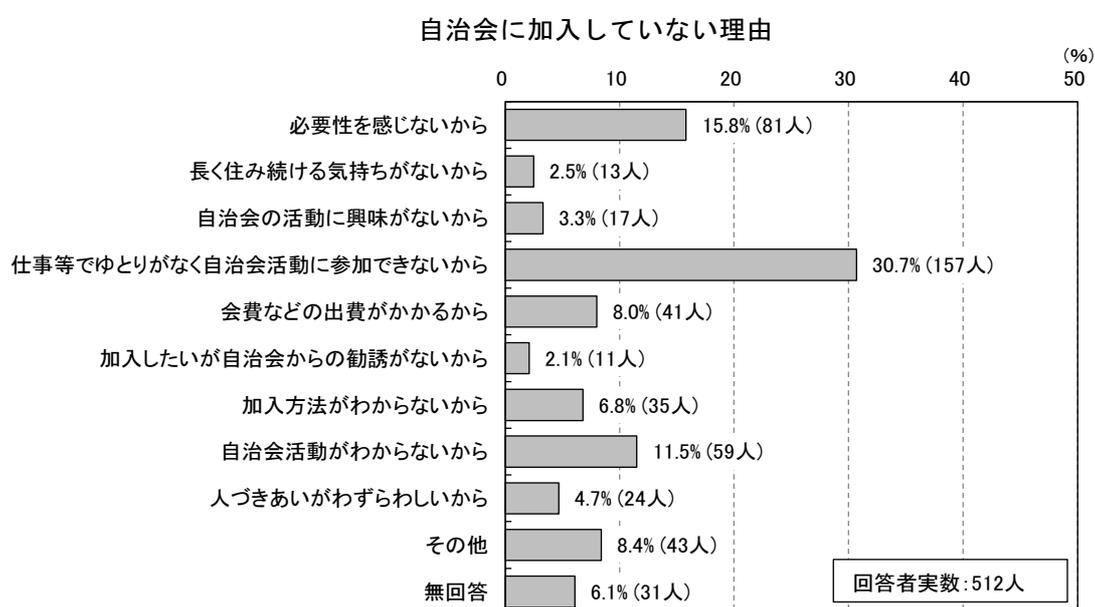
- ・住宅の種類別に加入率をみると「公営住宅(団地等)」90.0%と最も高く、公営住宅によっては規約等で自治会への加入が定められていることがうかがえます。次に「持ち家(一戸建て)」が78.3%、「社宅・官舎、公舎」が42.9%、「借家(一戸建て)」が40.0%となっています。

(3) 自治会に加入していない理由

問12 自治会に「加入していない」のはどうしてですか。

「(2)自治会への加入状況」で、「加入していない」と答えた方にその理由を尋ねたところ、「仕事等でゆとりがなく自治会活動に参加できないから」の割合が30.7%と最も高く、次いで「必要性を感じないから」が15.8%、「自治会活動がわからないから」が11.5%と続きます。

なお、「加入方法がわからないから」が6.8%、「加入したいが自治会からの勧誘がないから」が2.1%、合わせると1割弱の方が加入の意志はあるが機会を得られず加入していない可能性があり、問い合わせ先の周知や加入促進策の推進が必要な状況がうかがえます。



●前回アンケート結果より

- ・自治会に「加入していない」理由については、「仕事等でゆとりがなく自治会活動に参加できないから」が35.3%と最も高くなっています。続いて「必要性を感じないから」が13.8%、「自治会活動がわからないから」が9.6%で比較的高くなっています。

自治会に加入していない理由を世帯構成別にみると、「仕事等でゆとりがなく自治会活動に参加できないから」の割合が全体的に高くなっていますが、「夫婦と子」世帯、「親・子・孫」世帯は特に高く、いずれも3割台半ばとなっています。

そのほか、「必要性を感じないから」の割合が、「ひとり暮らし」で24.4%、「夫婦のみ」で21.5%と比較的高く、「自治会活動がわからないから」は「夫婦のみ」、「夫婦と子」、「ひとり親と子」、「親・子・孫」でそれぞれ1割台半ばとやや高くなっています。

自治会に加入していない理由（世帯構成別）

	回答者実数	必要性を感じないから	長く住み続ける気持ちがないから	自治会の活動に興味がないから	仕事等でゆとりがなく自治会活動に参加できないから	会費などの出費がかかるから	加入したいが自治会からの勧誘がないから	加入方法がわからないから	自治会活動がわからないから	人づきあいがわずらわしいから	その他	無回答
ひとり暮らし	82人	24.4% (20人)	3.7% (3人)	2.4% (2人)	19.5% (16人)	11.0% (9人)	4.9% (4人)	7.3% (6人)	4.9% (4人)	6.1% (5人)	7.3% (6人)	8.5% (7人)
夫婦のみ	65人	21.5% (14人)	1.5% (1人)	3.1% (2人)	23.1% (15人)	7.7% (5人)	1.5% (1人)	3.1% (2人)	13.8% (9人)	6.2% (4人)	10.8% (7人)	7.7% (5人)
夫婦と子	264人	12.9% (34人)	1.9% (5人)	4.2% (11人)	36.7% (97人)	7.2% (19人)	1.9% (5人)	6.8% (18人)	14.0% (37人)	2.7% (7人)	6.8% (18人)	4.9% (13人)
ひとり親と子	39人	10.3% (4人)	5.1% (2人)	5.1% (2人)	15.4% (6人)	10.3% (4人)	2.6% (1人)	10.3% (4人)	12.8% (5人)	10.3% (4人)	12.8% (5人)	5.1% (2人)
親・子・孫	22人	0.0% (0人)	9.1% (2人)	0.0% (0人)	36.4% (8人)	9.1% (2人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	13.6% (3人)	9.1% (2人)	13.6% (3人)	9.1% (2人)
その他	34人	23.5% (8人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	35.3% (12人)	5.9% (2人)	0.0% (0人)	14.7% (5人)	2.9% (1人)	2.9% (1人)	11.8% (4人)	2.9% (1人)

●前回アンケート結果より

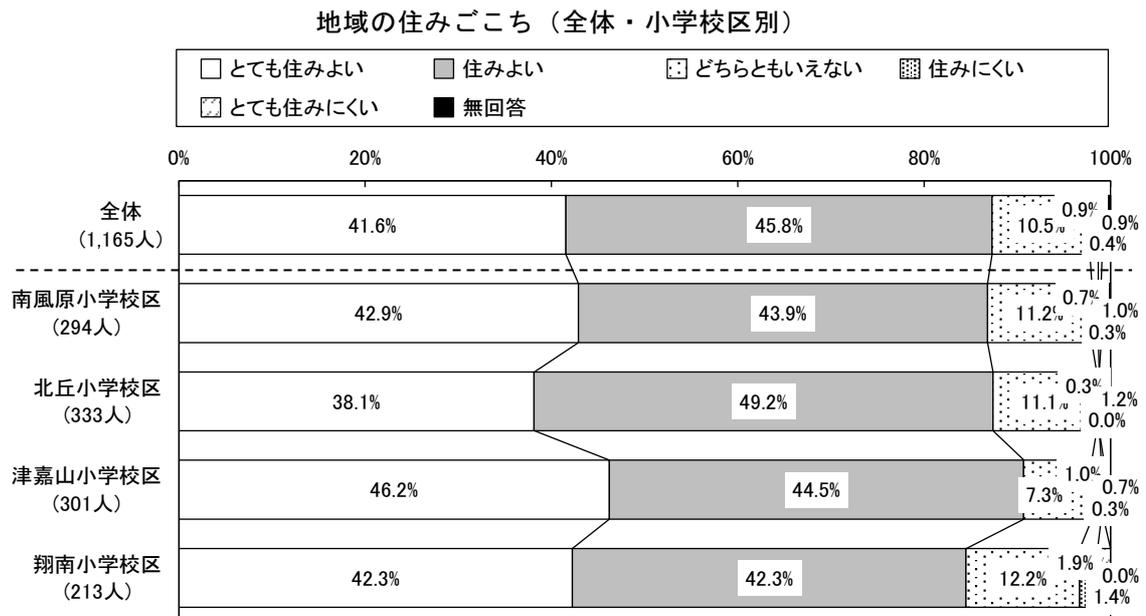
- ・世帯構成でみると、「仕事等でゆとりがなく自治会活動に参加できないから」では「ひとり親と子」と「夫婦と子」が高く、40%半ばあります。
- ・「必要性を感じないから」は、「ひとり暮らし」が18.7%と最も高く、次に「夫婦のみ」が18.4%となっています。

(4) 地域の住みごち

問13 あなたは、南風原町の住みごちについてどう思いますか。

南風原町の住みごちについて尋ねたところ、「住みよい」の割合が45.8%と最も高く、次いで「とても住みよい」が41.6%、「どちらともいえない」が10.5%と続いています。

小学校区別にみると「とても住みよい」と「住みよい」を合わせた割合は、「津嘉山小学校区」が90.7%と最も高く、「南風原小学校区」、「北丘小学校区」、「翔南小学校区」はそれぞれ80%台となっています。



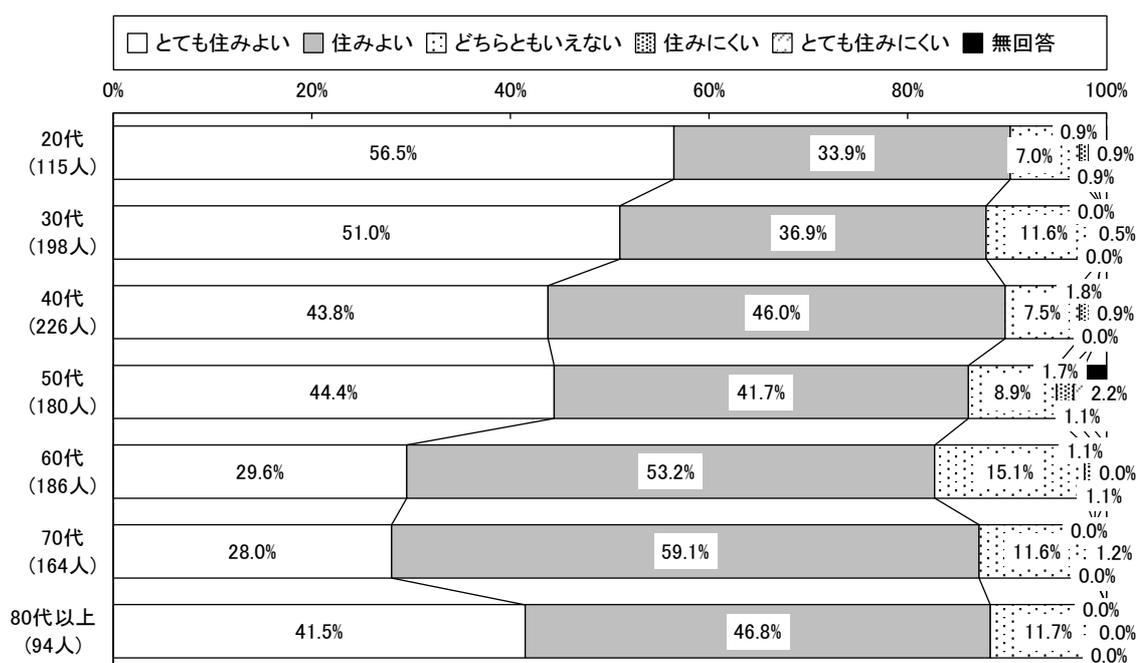
● 前回アンケート結果より

- ・南風原町の住みごちについてどう思うかについては、「住みよい」が48.2%と最も高く、「とても住みよい」が39.9%で、合わせると88.1%の方が住みよいと答えています。一方、「どちらともいえない」が10.2%、「住みにくい」は0.8%と答えています。
- ・小学校区別にみると「とても住みよい」と「住みよい」を合わせた割合に大きな違いはありませんが、「とても住みよい」は、「南風原小学校区」が46.5%、次いで「津嘉山小学校区」が43.0%と高く、「翔南小学校区」と「北丘小学校区」では30%台となっています。

年代別にみると、「とても住みよい」と回答した人の割合が高いのは「20代」と「30代」で半数以上を占めています。一方、「60代」と「70代」ではいずれも3割弱と他の年代と比較すると低くなっています。

「住みよい」と「とても住みよい」を合わせると、最も高い「20代」で9割以上に達し、他の年代でも全て8割を超えています。

地域の住みごち（年代別）



●前回アンケート結果より

- ・「とても住みよい」が高いのは「20代」から「40代」で半数程度ありますが、50代以上は30%程度となっています。
- ・「住みよい」と「とても住みよい」を合わせた割合が高いのは「40代」で91.6%、「20代」、「30代」と「80代」でも80%台後半～90%程度と高くなっており、そのほかの年代でも85%程度となっています。

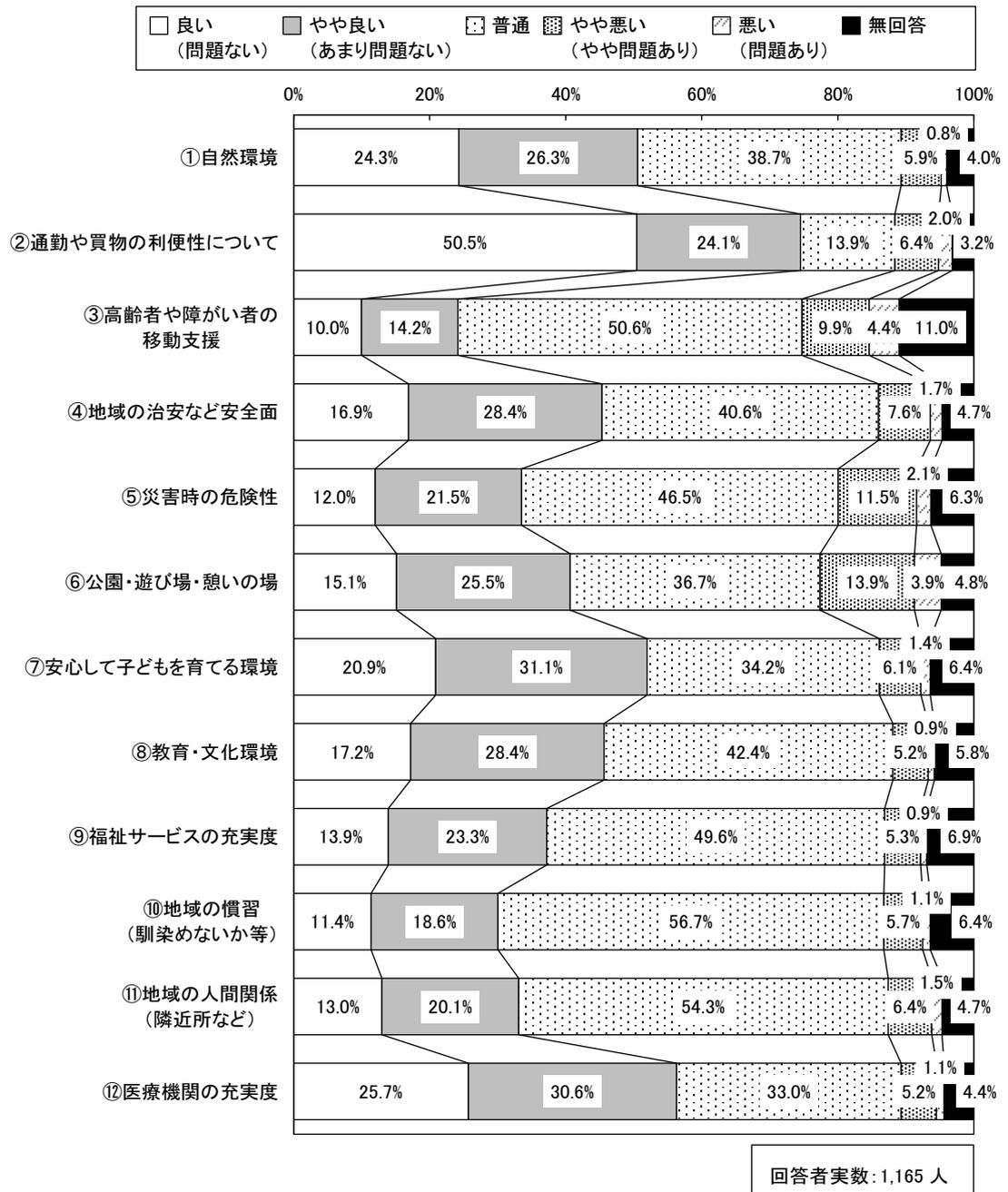
(5) 南風原町の地域環境

問14 あなたは、南風原町の地域環境について、どのように感じていますか。

南風原町の地域環境について、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が最も高いのは、「通勤や買物の利便性について」で74.6%、次いで「医療機関の充実度」の56.3%となっています。

「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高いのは、「公園・遊び場・憩いの場」で17.8%となっています。

南風原町の地域環境

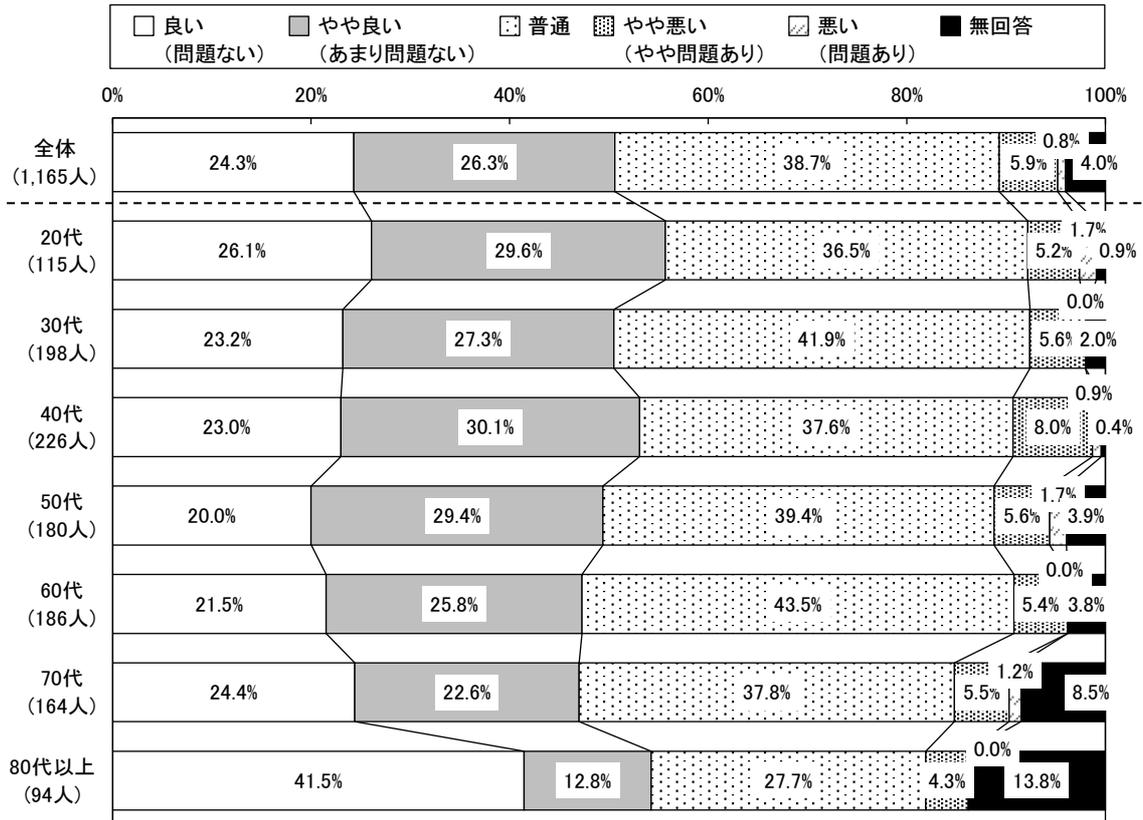


① 自然環境

「自然環境」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は50.6%で、半数以上の方が「自然環境」が良いと感じています。

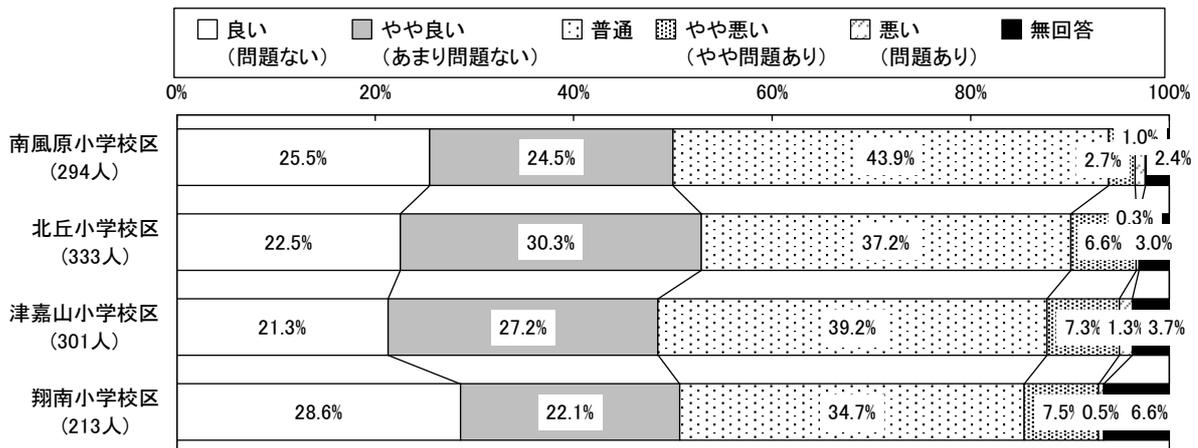
年代別にみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は、「20代」で55.7%と最も高く、「50代」までは5割前後ですが「60代」と「70代」でやや低下する傾向があります。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は総じて低くなっていますが、「40代」は他の年代よりもやや高くなっています。

自然環境（全体・年代別）



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は全ての小学校区で半数前後となっており、小学校区による大きな違いはありません。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は「津嘉山小学校区」が8.6%で、他の小学校区より高くなっています。

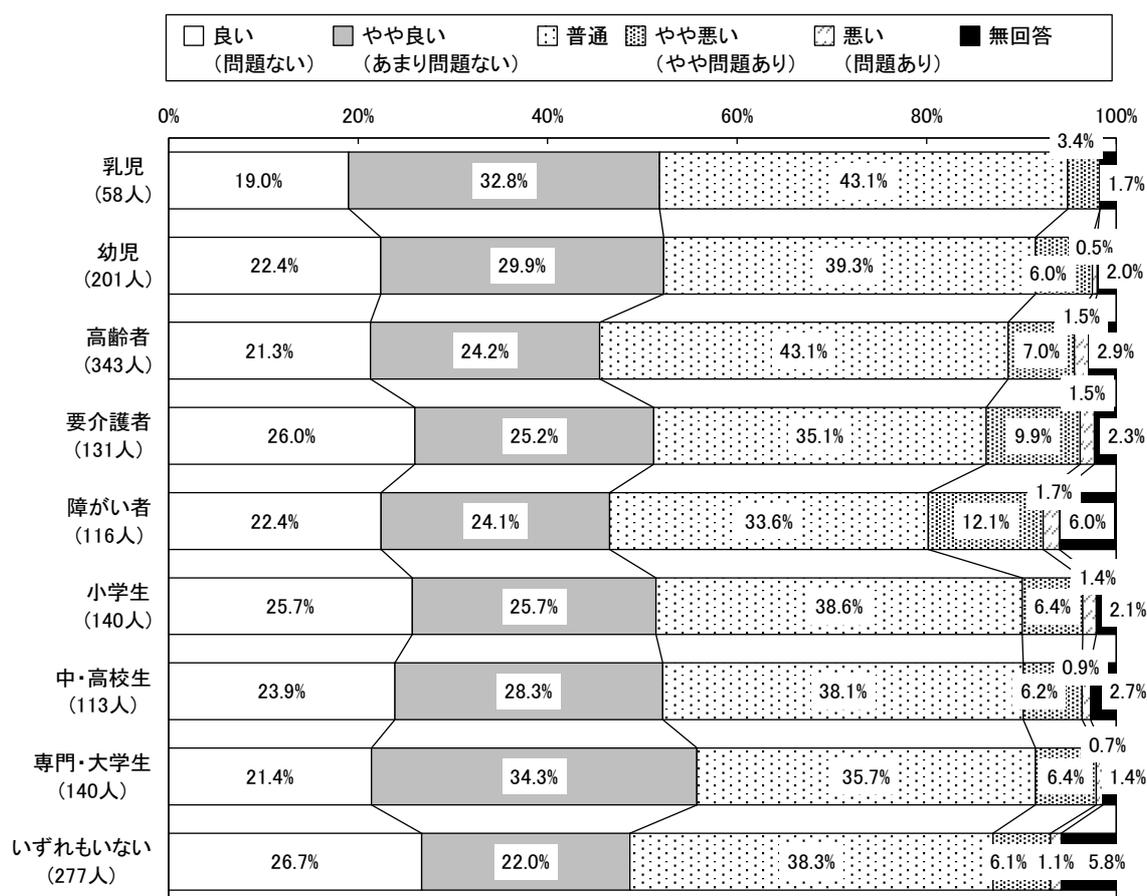
自然環境（小学校区別）



同居家族別でみると、「専門・大学生」のいる世帯では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が55.7%と最も高く、次いで「幼児」のいる世帯が52.3%、「中・高校生」のいる世帯が52.2%となっています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「障がい者」のいる世帯が13.8%と最も高く、次いで「要介護者」のいる世帯が11.4%、「高齢者」のいる世帯が8.5%と続いており、問題を感じている方は障がい者や高齢者のいる世帯で多くなっています。

自然環境（同居家族別）

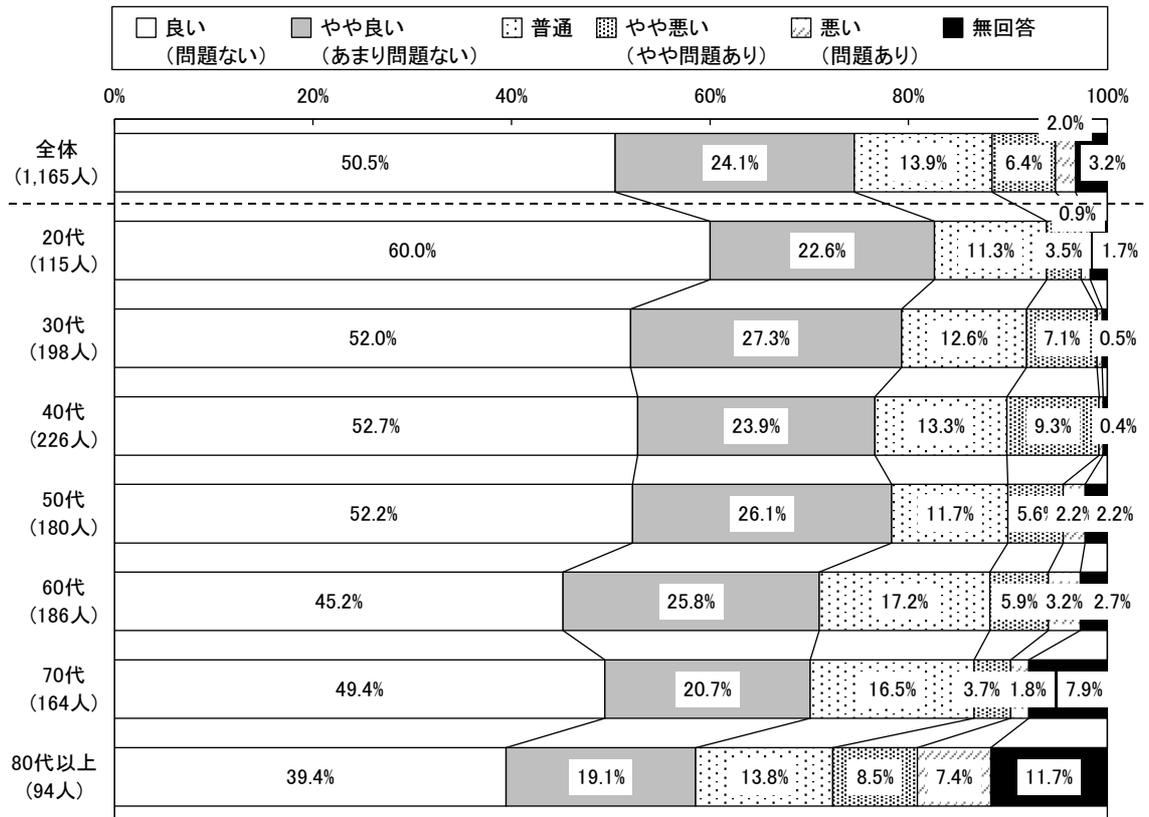


② 通勤や買物の利便性について

「通勤や買物の利便性」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が74.6%と、多くの人は問題を感じていません。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は8.4%で、何らかの問題を感じている人も一定数存在しています。

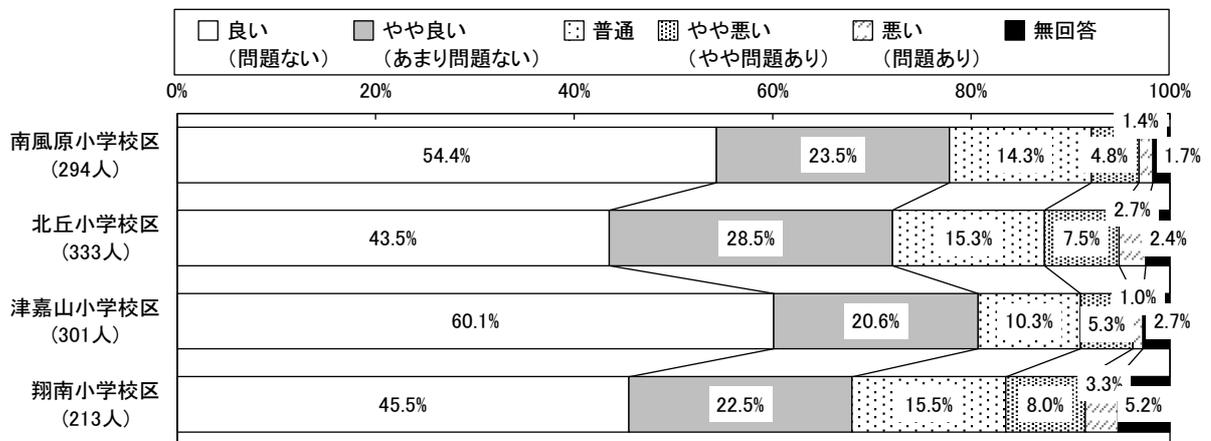
年代別でも全体と同様の傾向ですが、「80代以上」では「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が15.9%となっており、問題を感じている人の割合が増える傾向があります。

通勤や買物の利便性について（全体・年代別）



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「津嘉山小学校区」で80.7%と最も高く、最も低い「翔南小学校区」(68.0%)とは12.7ポイントの差がみられます。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は「翔南小学校区」が11.3%と最も高くなっています。

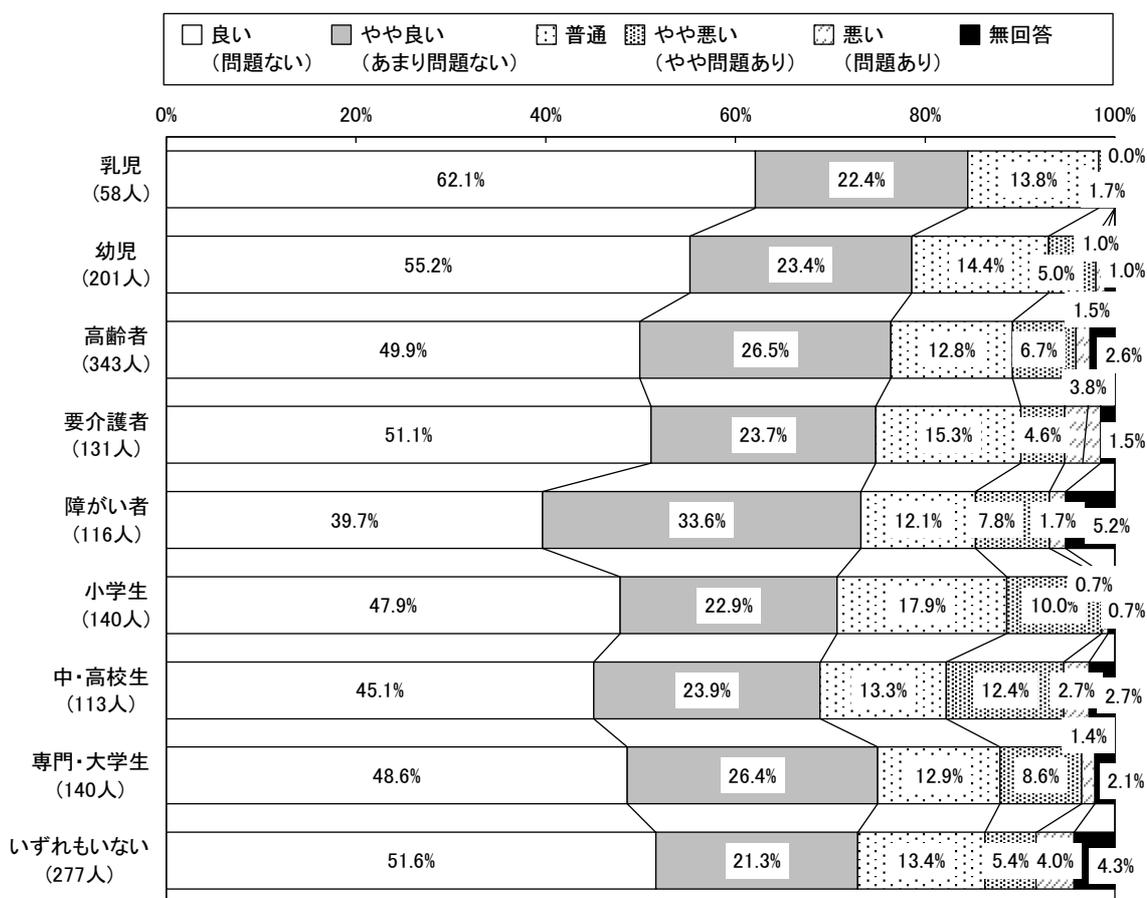
通勤や買物の利便性について（小学校区別）



同居家族別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が最も高いのは「乳児」のいる世帯で84.5%となっています。次いで「幼児」のいる世帯が78.6%、「高齢者」のいる世帯が76.4%の順となっており、最も低かったのは「中・高校生」のいる世帯の69.0%と、「乳児」のいる世帯とは15.5ポイントの差があります。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「中・高校生」のいる世帯が15.1%と最も高く、次いで「小学生」が10.7%、「専門・大学生」が10.0%と続いています。

通勤や買物の利便性について（同居家族別）

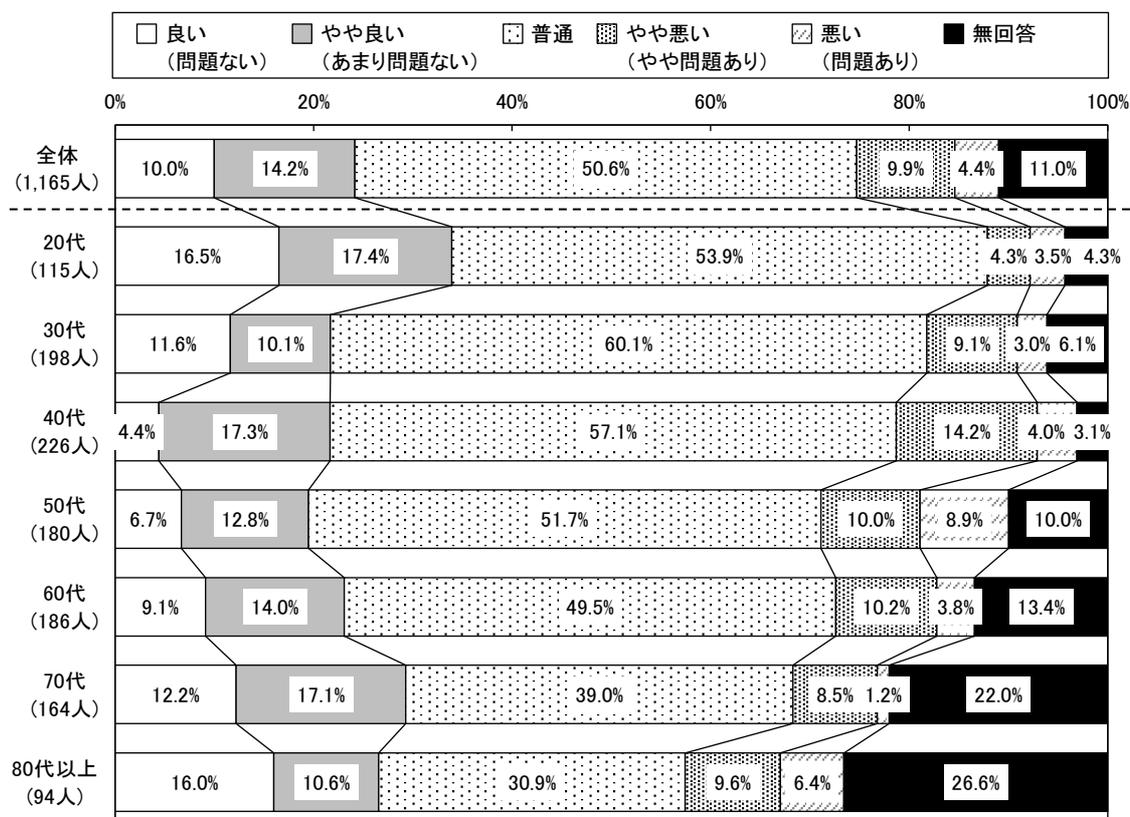


③ 高齢者や障がい者の移動支援

「高齢者や障がい者の移動支援」について、全体では、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が24.2%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が14.3%となっています。

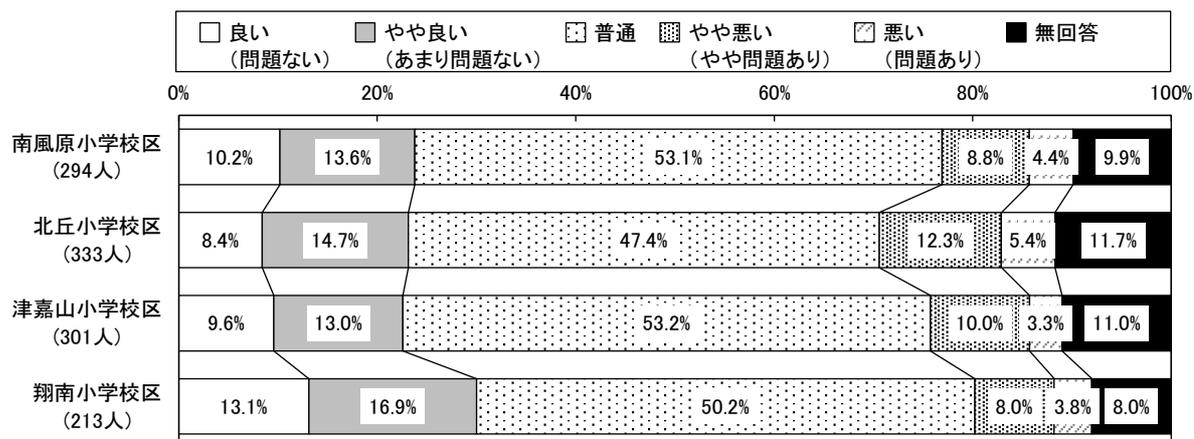
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「20代」の33.9%が最も高く、最も低いのが「50代」の19.5%となっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「40代」が18.2%、「50代」が18.9%で、「40代」、「50代」とも他の世代と比較して高くなっています。

高齢者や障がい者の移動支援（全体・年代別）



小学校区別にみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「翔南小学校区」で30.0%と最も高く、その他の小学校区は2割台半ばとなっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は「北丘小学校区」が17.7%と最も高くなっています。

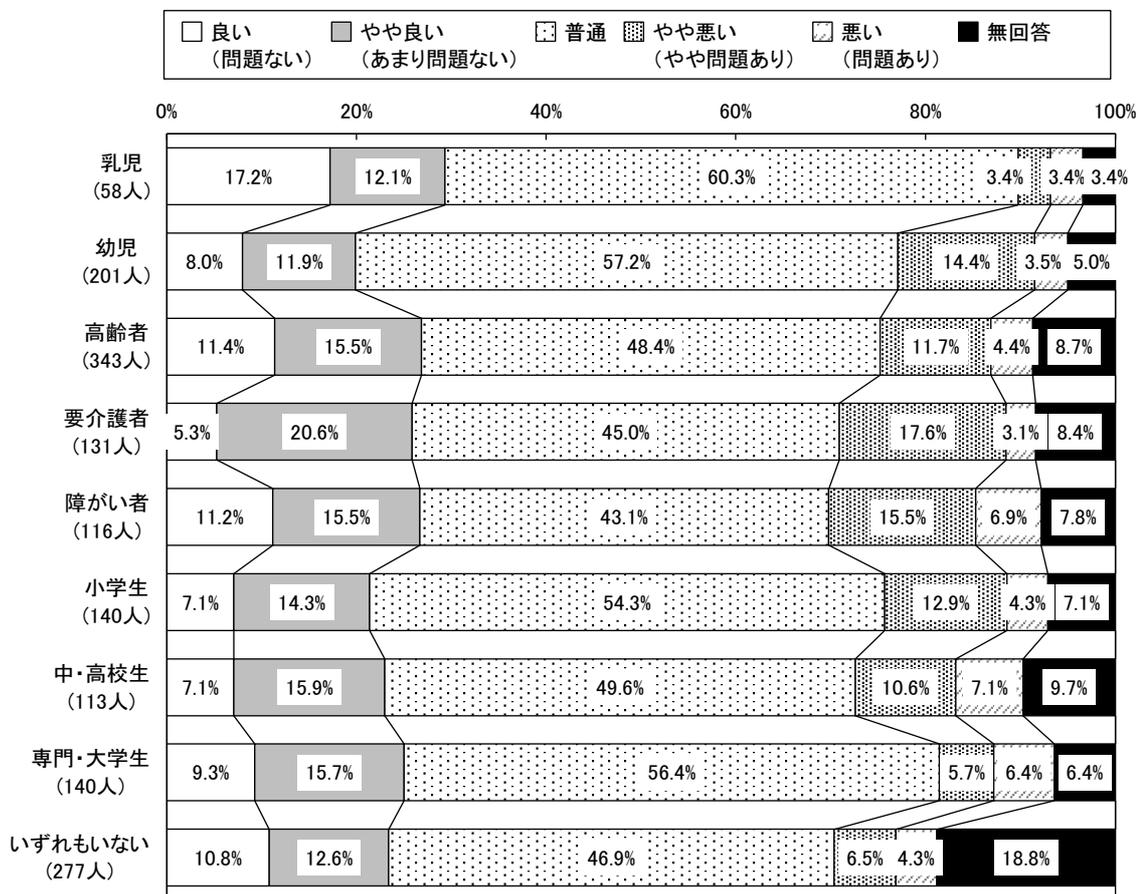
高齢者や障がい者の移動支援（小学校区別）



同居家族別では、「乳児」のいる世帯で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が29.3%と最も高く、次いで「高齢者」のいる世帯の26.9%、「障がい者」のいる世帯の26.7%と続きます。割合が最も低いのは「幼児」のいる世帯で19.9%、次いで「小学生」のいる世帯の21.4%となっています。

「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」の割合が最も高いのは「障がい者」のいる世帯で22.4%、次いで「要介護者」のいる世帯が20.7%となっています。

高齢者や障がい者の移動支援（同居家族別）

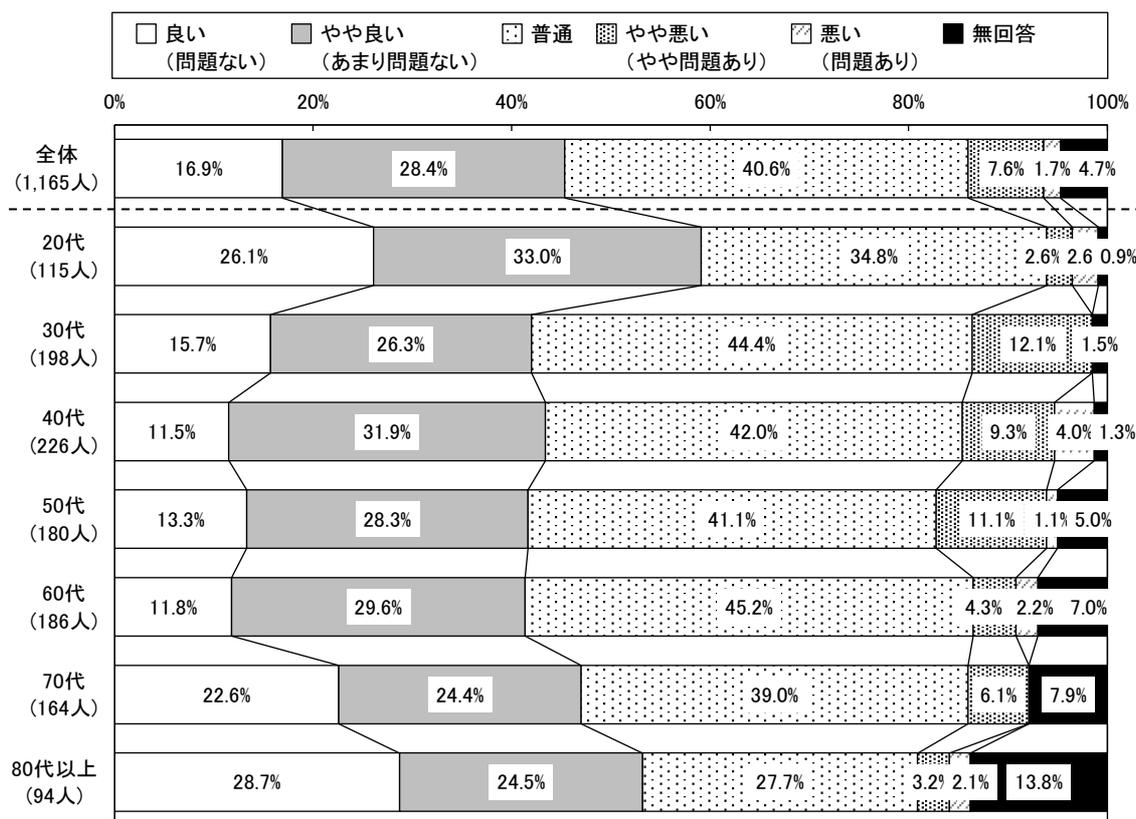


④ 地域の治安など安全面

「地域の治安など安全面」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が45.3%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は9.3%となっています。

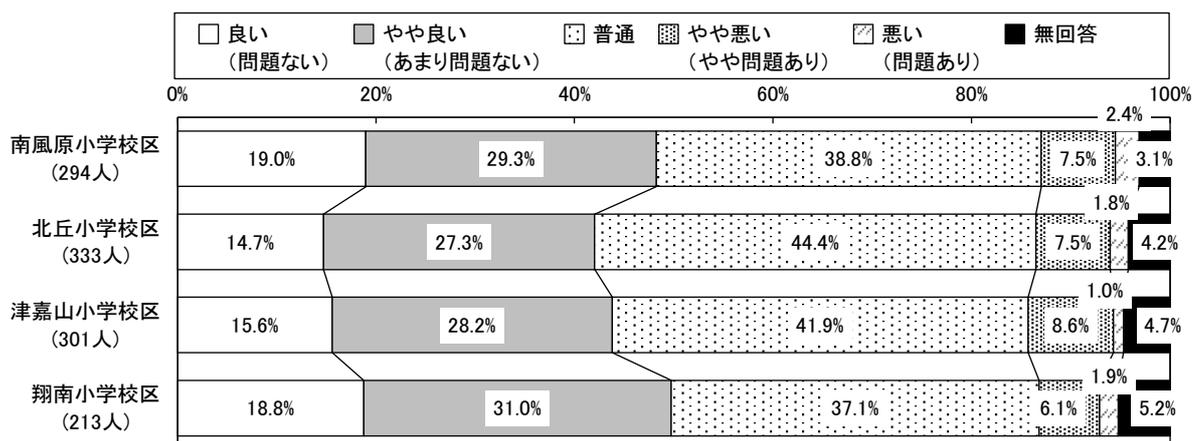
年代別でみると、「20代」と「80代以上」では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が50%を超えている一方、「30代」、「50代」、「60代」では相対的に割合がやや低くなっています。「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は「30代」、「40代」、「50代」で他の年代よりも高い傾向があります。

地域の治安など安全面（全体・年代別）



小学校区別でみると、「南風原小学校区」と「翔南小学校区」では、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が5割弱と高く、最も低かったのは、「北丘小学校区」で42.0%となっています。

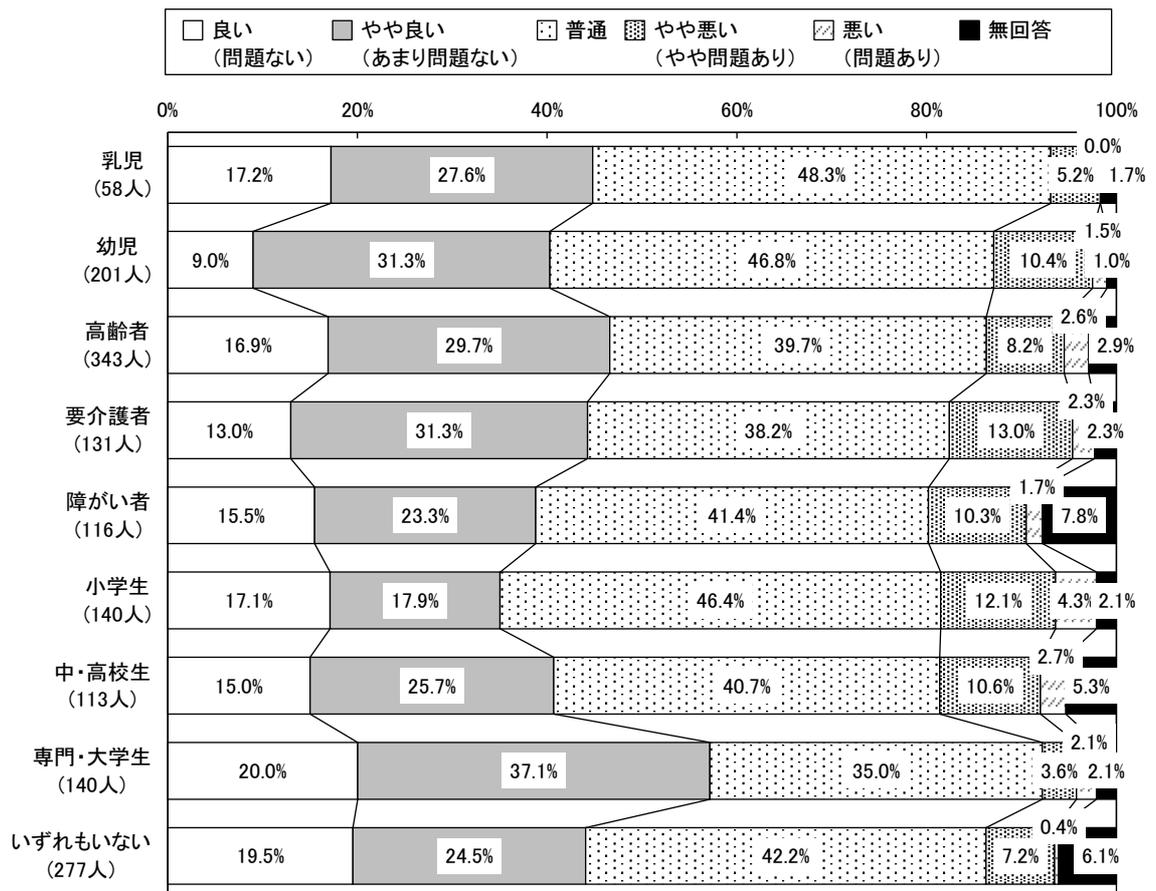
地域の治安など安全面（小学校区別）



同居家族別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「専門・大学生」のいる世帯で57.1%と半数以上を占めています。最も低いのは「小学生」のいる世帯で35.0%、次いで「障がい者」のいる世帯が38.8%となっています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは「小学生」のいる世帯で16.4%、次いで「要介護者」のいる世帯で15.3%となっています。

地域の治安など安全面（同居家族別）

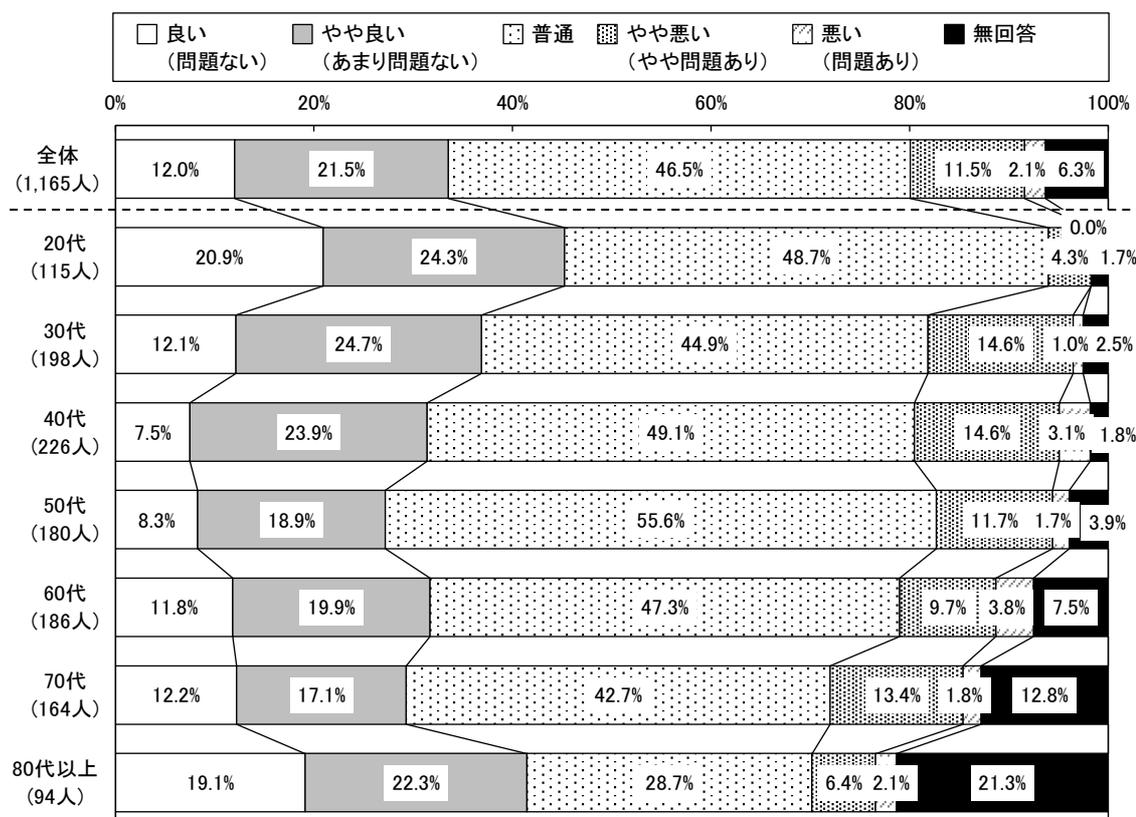


⑤ 災害時の危険性

「災害時の危険性」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は33.5%と、3人に1人はおおむね問題がないと感じています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は13.6%となっています。

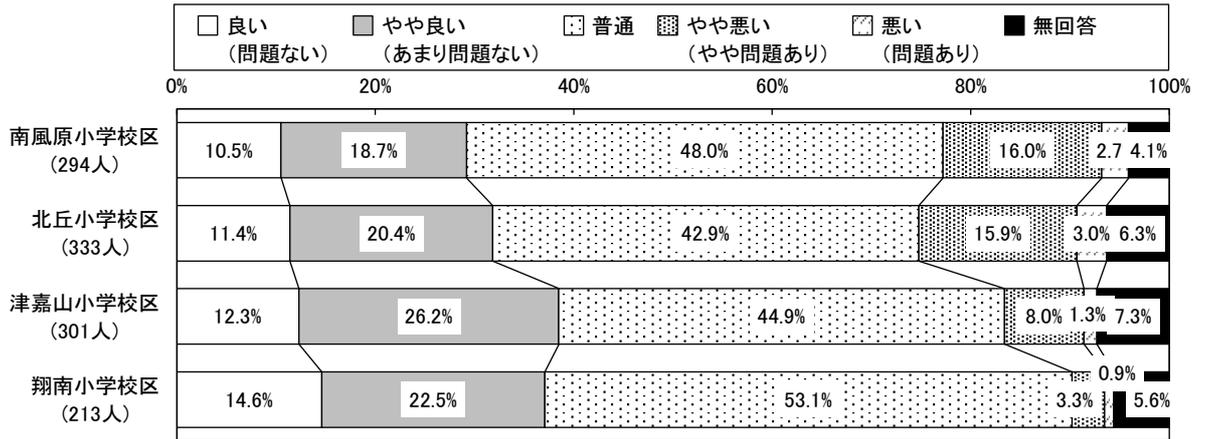
年代別に「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合を見ると、「20代」が45.2%と最も高く、次いで「80代以上」の41.4%となっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「30代」と「40代」で高くなっています。

災害時の危険性（全体・年代別）



小学校区別に「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「津嘉山小学校区」が38.5%と最も高く、次いで「翔南小学校区」が37.1%、「北丘小学校区」が31.8%と続き、「南風原小学校区」が29.2%と最も低くなっています。「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「南風原小学校区」と「北丘小学校区」で高くなっています。

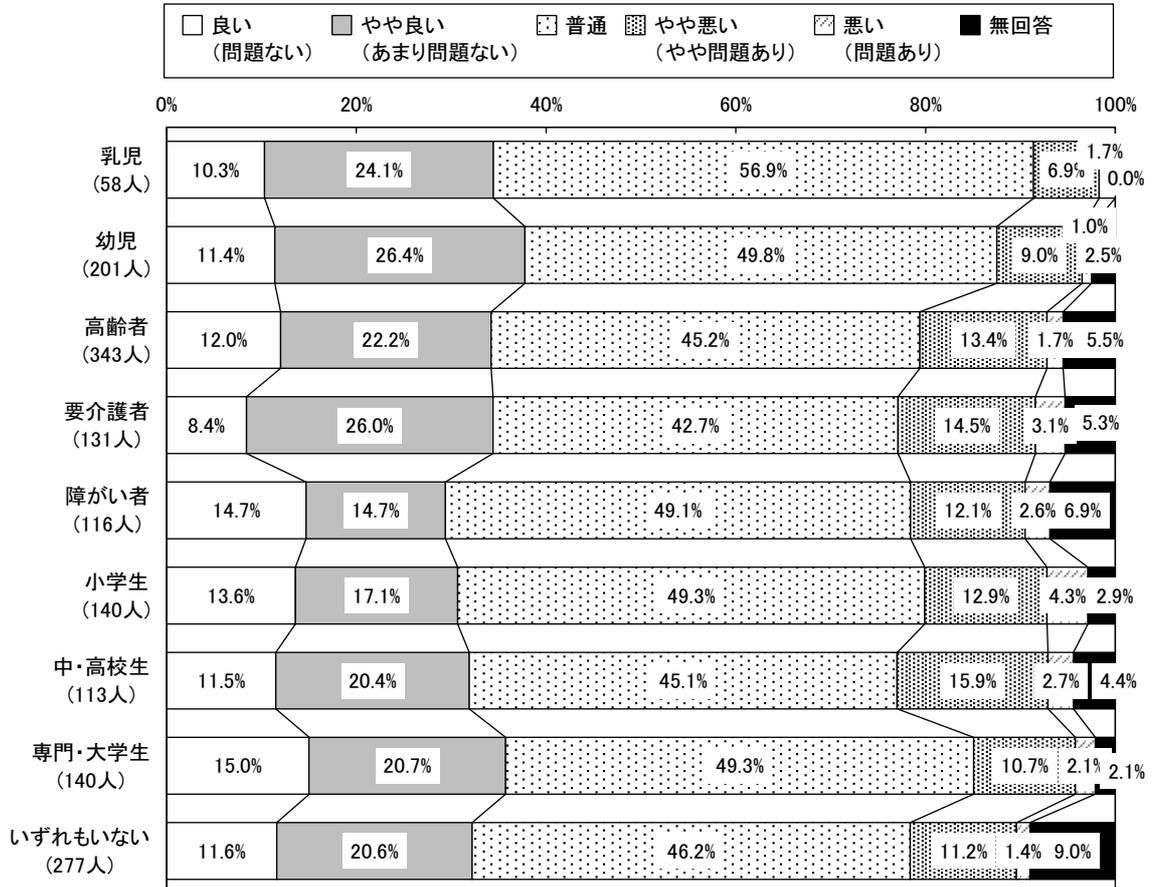
災害時の危険性（小学校区別）



同居家族別で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「幼児」のいる世帯が37.8%と最も高く、次いで、「専門・大学生」が35.7%、「要介護者」が34.4%、「高齢者」が34.2%といずれも3割台半ばで続いています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは「中・高校生」のいる世帯で18.6%、次いで「要介護者」のいる世帯が17.6%、「小学生」のいる世帯が17.2%、の順となっています。

災害時の危険性（同居家族別）

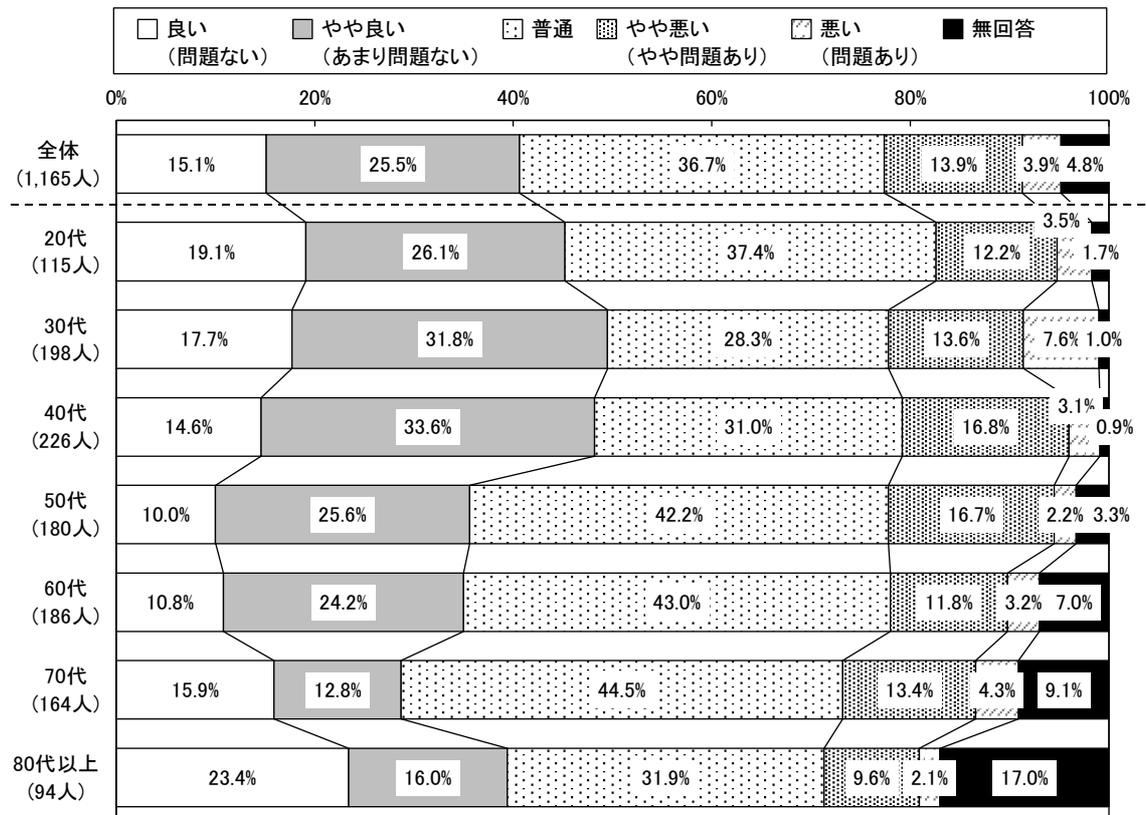


⑥ 公園・遊び場・憩いの場

「公園・遊び場・憩いの場」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は40.6%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が17.8%となっています。

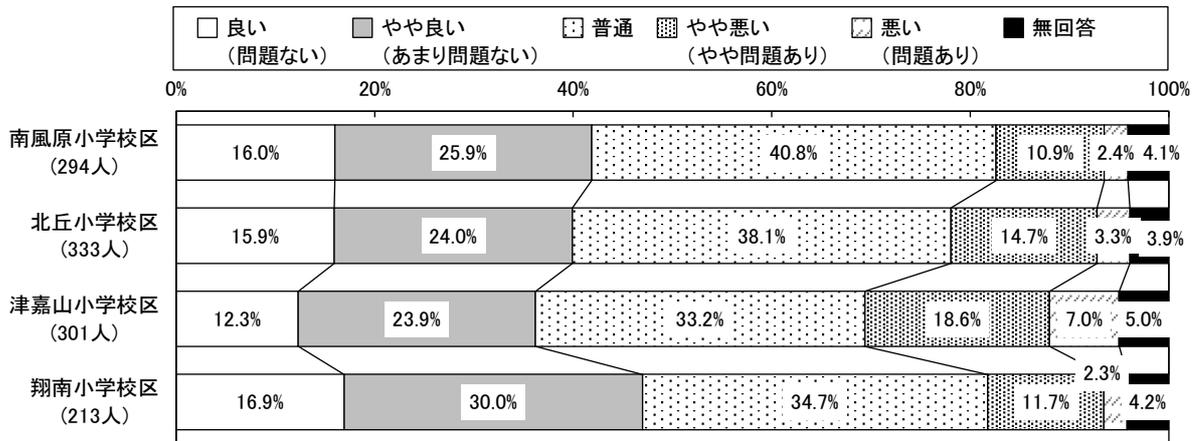
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「30代」が最も高く49.5%となっており、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「30代」が21.2%と最も高く、次いで「40代」が19.9%、「50代」が18.9%の順となっています。

公園・遊び場・憩いの場 (全体・年代別)



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は、「翔南小学校区」で46.9%と最も高く、次いで「南風原小学校区」が41.9%、「北丘小学校区」が39.9%と続き、「津嘉山小学校区」は36.2%と最も低くなっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「津嘉山小学校区」で25.6%と最も高くなっています。

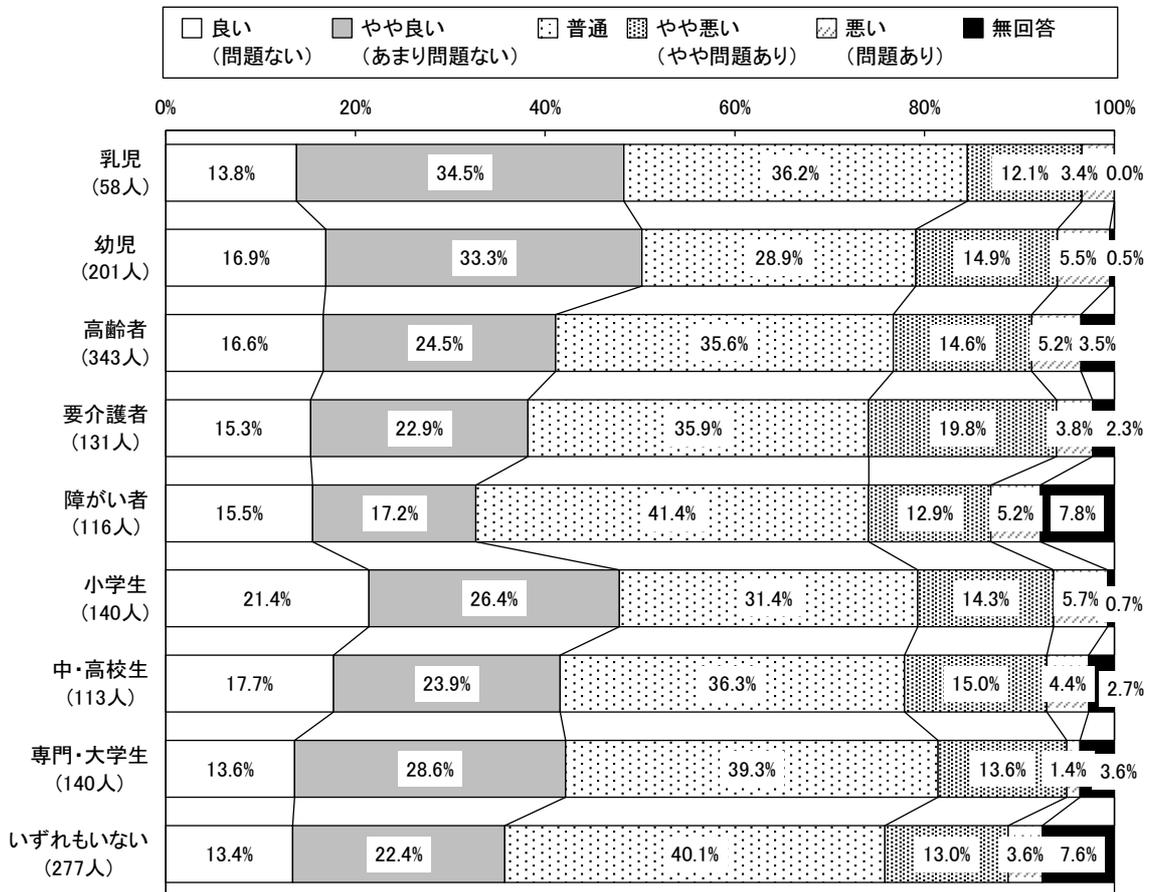
公園・遊び場・憩いの場（小学校区別）



同居家族別で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「幼児」のいる世帯が50.2%と最も高く、次いで、「乳児」のいる世帯が48.3%、「小学生」のいる世帯が47.8%、の順となっています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは、「要介護者」のいる世帯で23.6%、次いで、「幼児」のいる世帯が20.4%、「小学生」のいる世帯が20.0%、「高齢者」のいる世帯が19.8%、「中・高校生」のいる世帯が19.4%と、いずれも2割前後で続いています。

公園・遊び場・憩いの場（同居家族別）

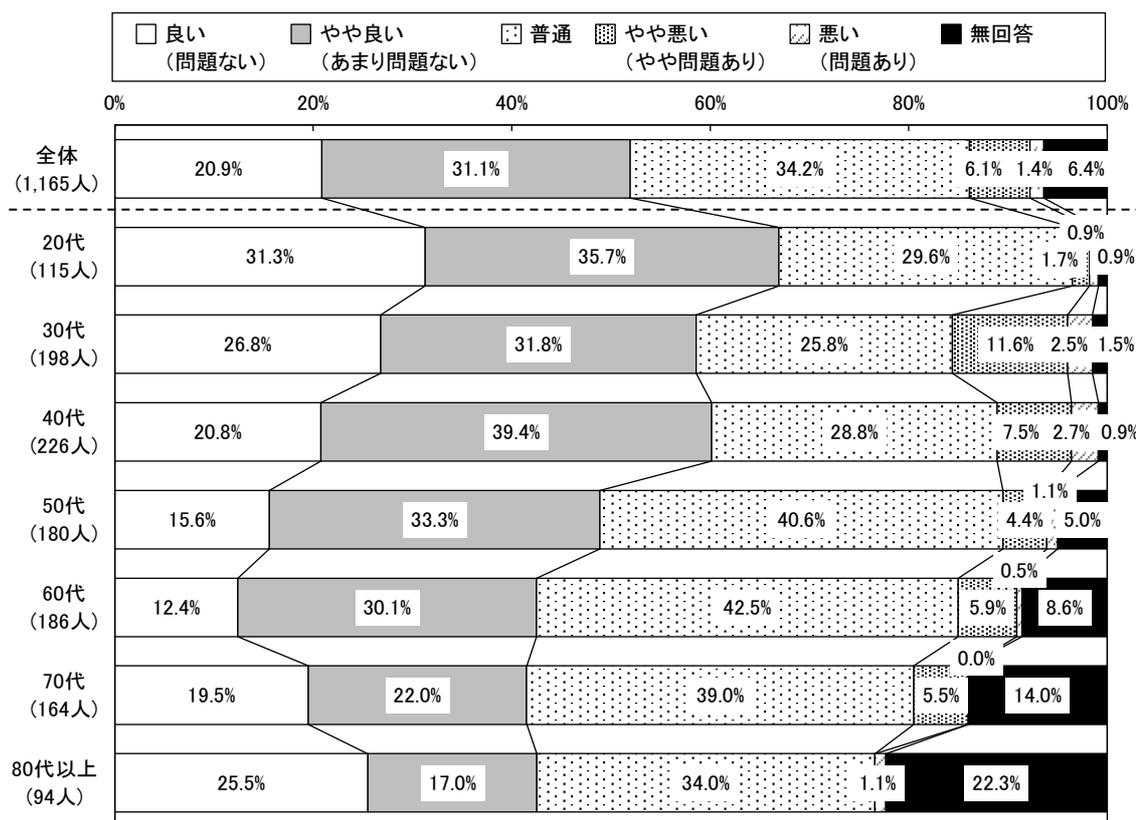


⑦ 安心して子どもを育てる環境

「安心して子供を育てる環境」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が52.0%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は7.5%となっています。

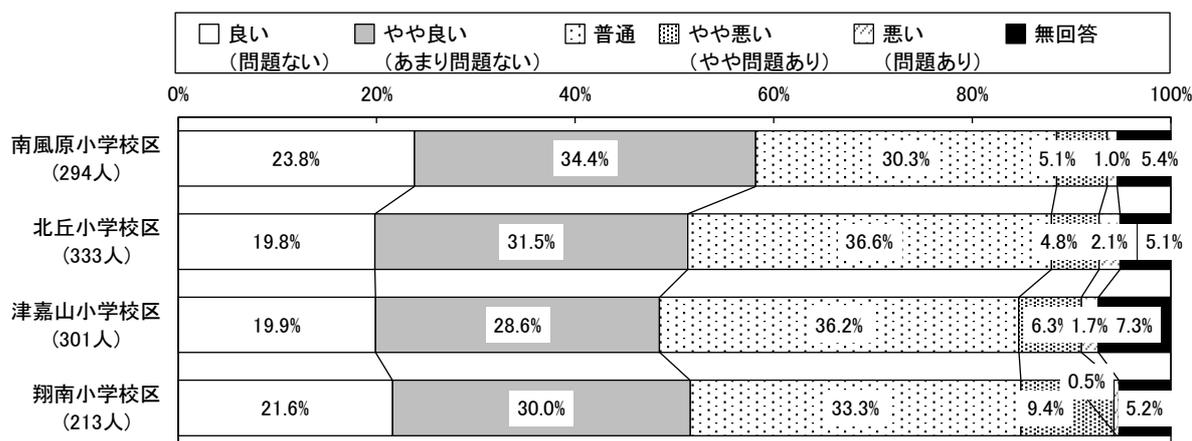
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「20代」が67.0%と最も高く、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「30代」が14.1%と最も高く「40代」が10.2%が続いています。

安心して子どもを育てる環境 (全体・年代別)



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は、「南風原小学校区」で58.2%と最も高く、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「翔南小学校区」で9.9%と他の小学校区と比べてやや高くなっています。

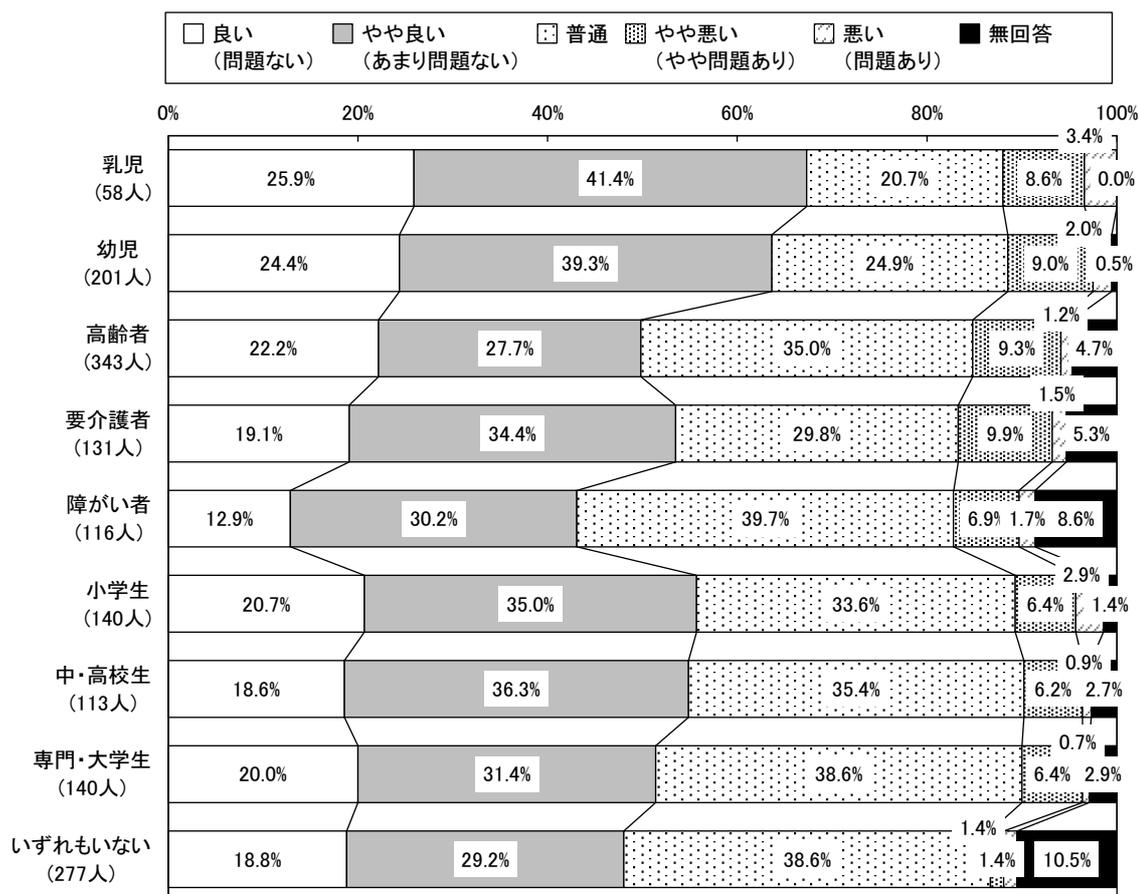
安心して子どもを育てる環境 (小学校区別)



同居家族別で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「乳児」のいる世帯が67.3%と最も高く、次いで、「幼児」のいる世帯が63.7%、「小学生」のいる世帯が55.7%と続いています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは、「乳児」のいる世帯で12.0%、次いで、「要介護者」がいる世帯が11.4%、「幼児」のいる世帯が11.0%、「高齢者」のいる世帯が10.5%と、いずれも1割前後となっています。

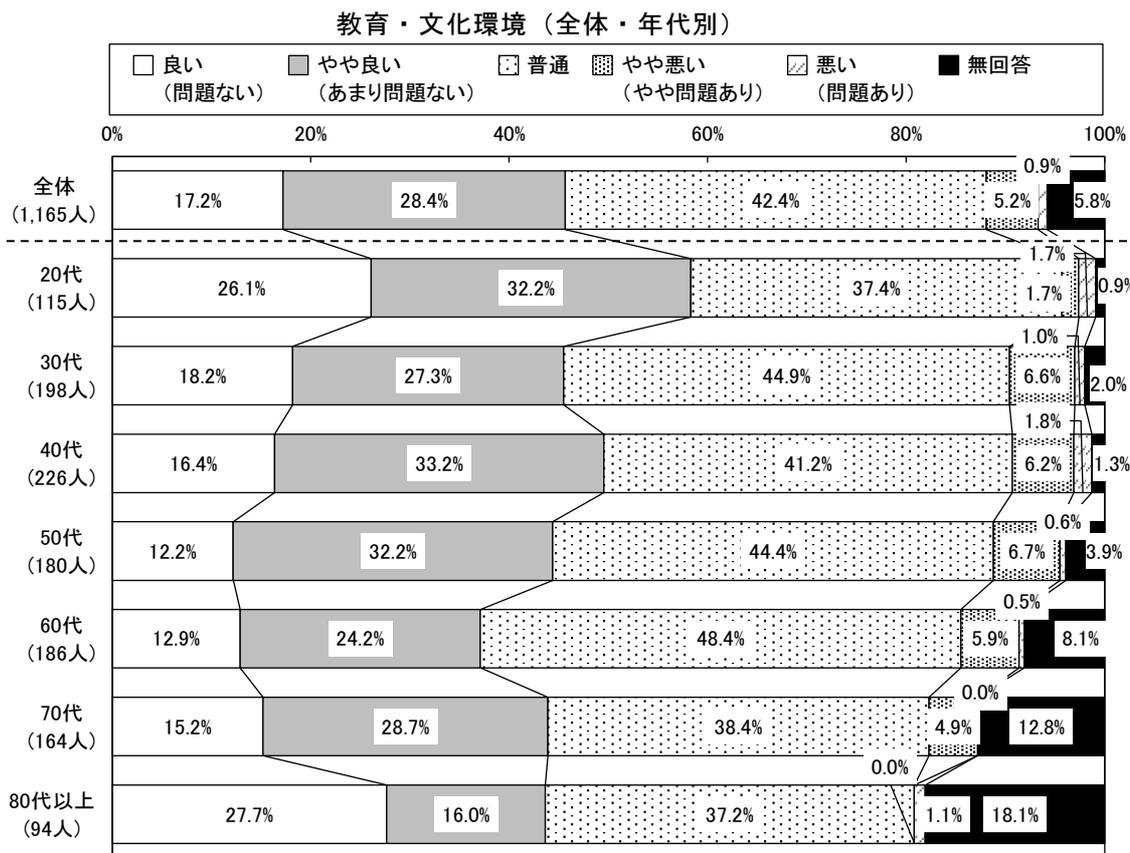
安心して子どもを育てる環境（同居家族別）



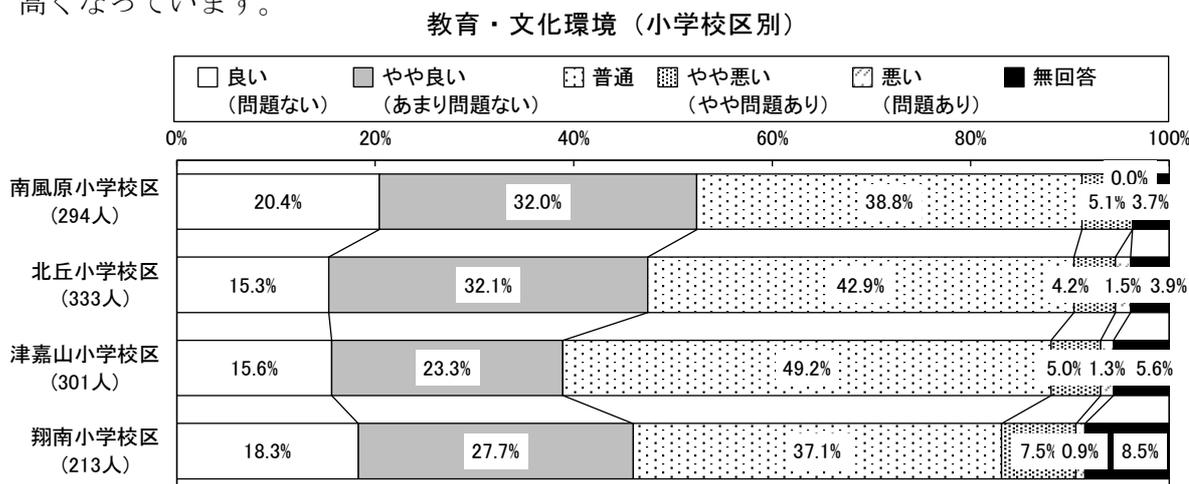
⑧ 教育・文化環境

「教育・文化環境」について、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が45.6%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は6.1%となっています。

年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「20代」が58.3%と最も高くなっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「40代」が8.0%と最も高く、次いで「30代」が7.6%、「50代」が7.3%と続いています。



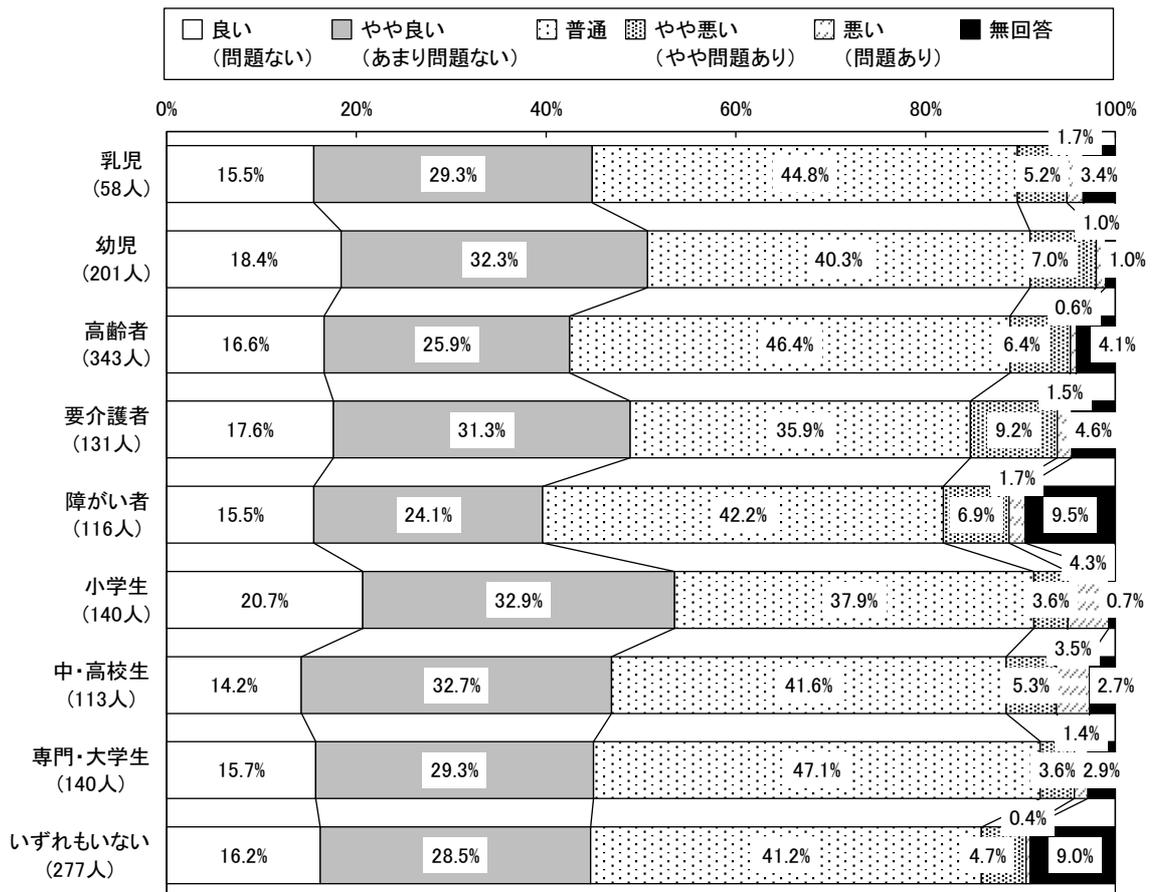
小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「南風原小学校区」で52.4%と最も高く、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「翔南小学校区」で8.4%と、他の小学校区と比較してやや高くなっています。



同居家族別で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「小学生」のいる世帯が53.6%と最も高く、次いで、「幼児」のいる世帯が50.7%、「要介護者」のいる世帯が48.9%と続いています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは、「要介護者」のいる世帯で10.7%、次いで、「中・高校生」が8.8%、「障がい者」のいる世帯が8.6%、「幼児」のいる世帯が8.0%と続いています。

教育・文化環境（同居家族別）

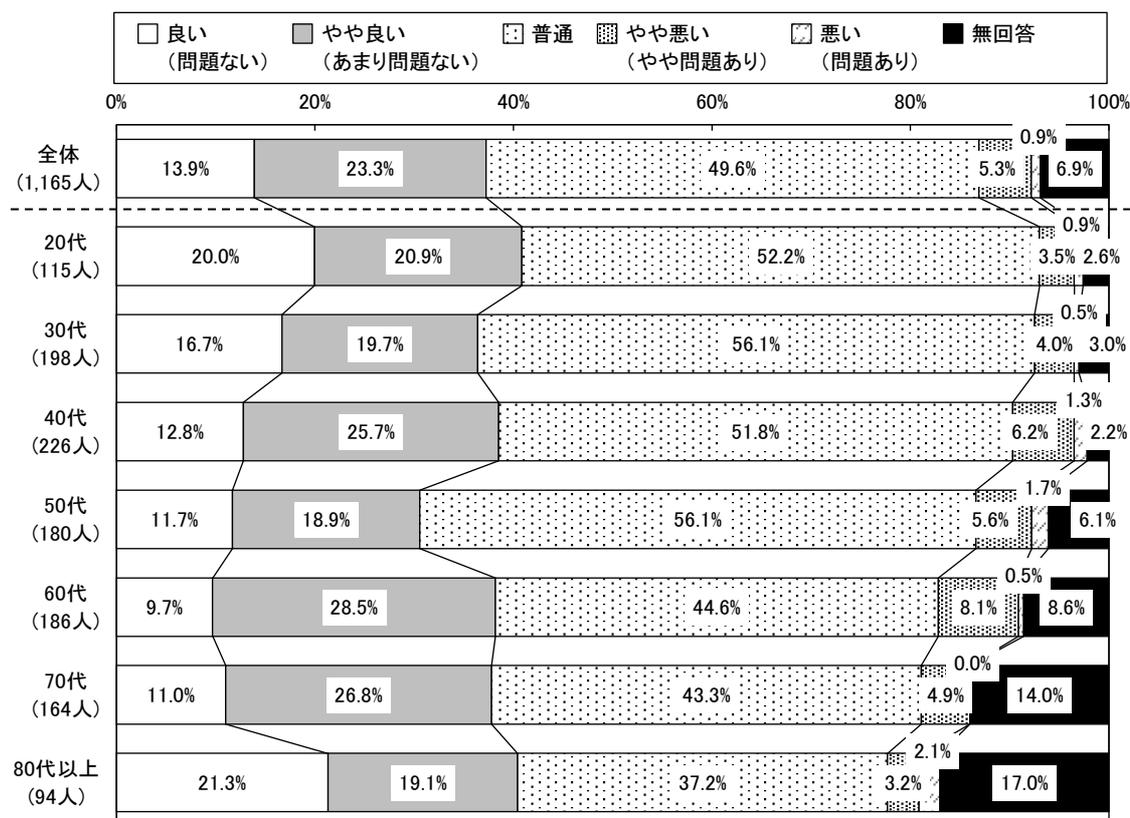


⑨ 福祉サービスの充実度

「福祉サービスの充実度」について、全体では、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が37.2%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は6.2%となっています。

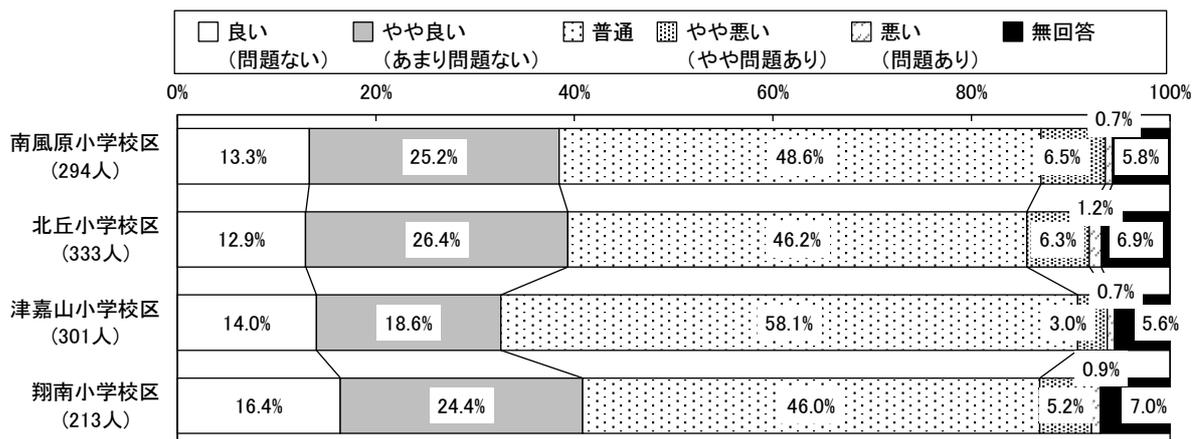
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は年代によらずおおむね4割前後ですが、「50代」が30.6%と他の年代と比較して低くなっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「60代」が8.6%と最も高く、次いで「40代」が7.5%、「50代」が7.3%と続いています。

福祉サービスの充実度（全体・年代別）



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「翔南小学校区」で40.8%と最も高く、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「北丘小学校区」が7.5%で他の小学校区と比較してやや高くなっています。

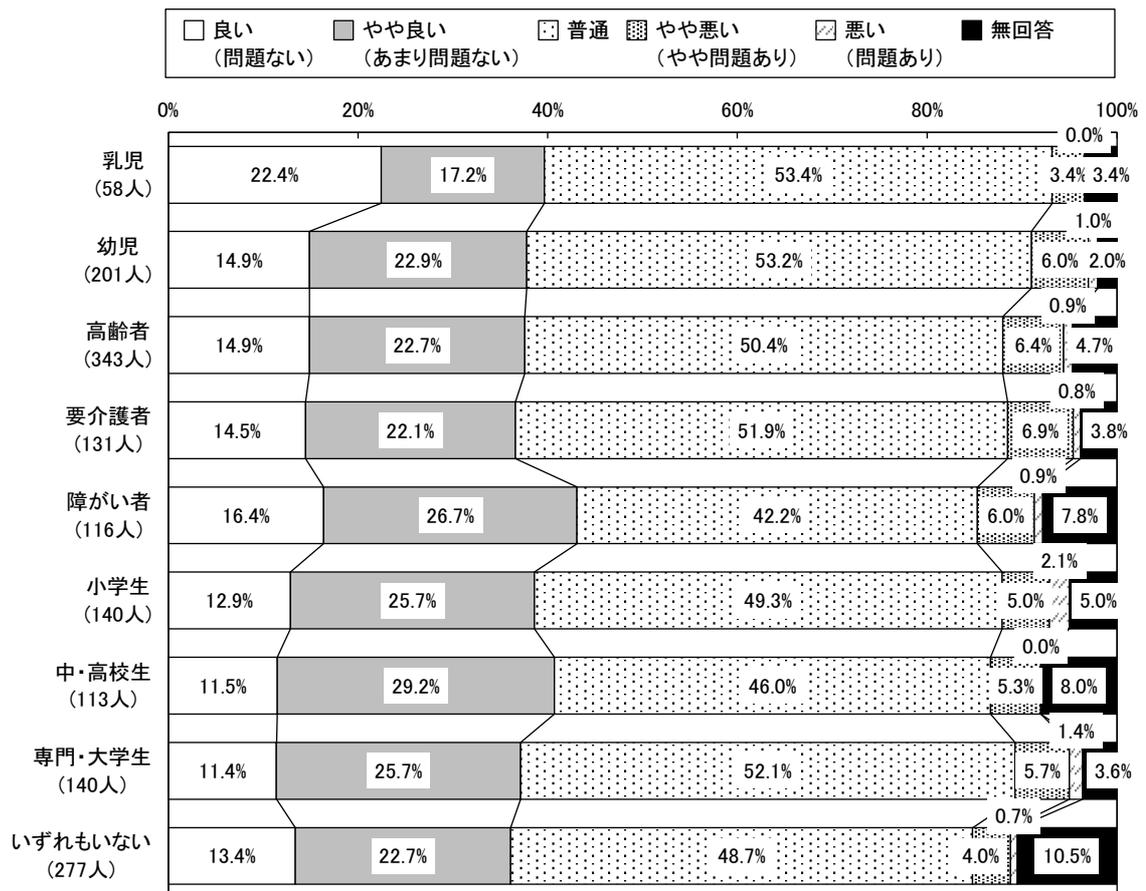
福祉サービスの充実度（小学校区別）



同居家族別で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「障がい者」のいる世帯が43.1%と最も高く、次いで、「中・高校生」のいる世帯が40.7%、「乳児」のいる世帯が39.6%と続いています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは、「要介護者」のいる世帯で7.7%、次いで、「高齢者」が6.4%、「小学生」が5.0%、「障がい者」のいる世帯が4.7%、「中・高校生」が3.6%と続いています。

福祉サービスの充実度（同居家族別）

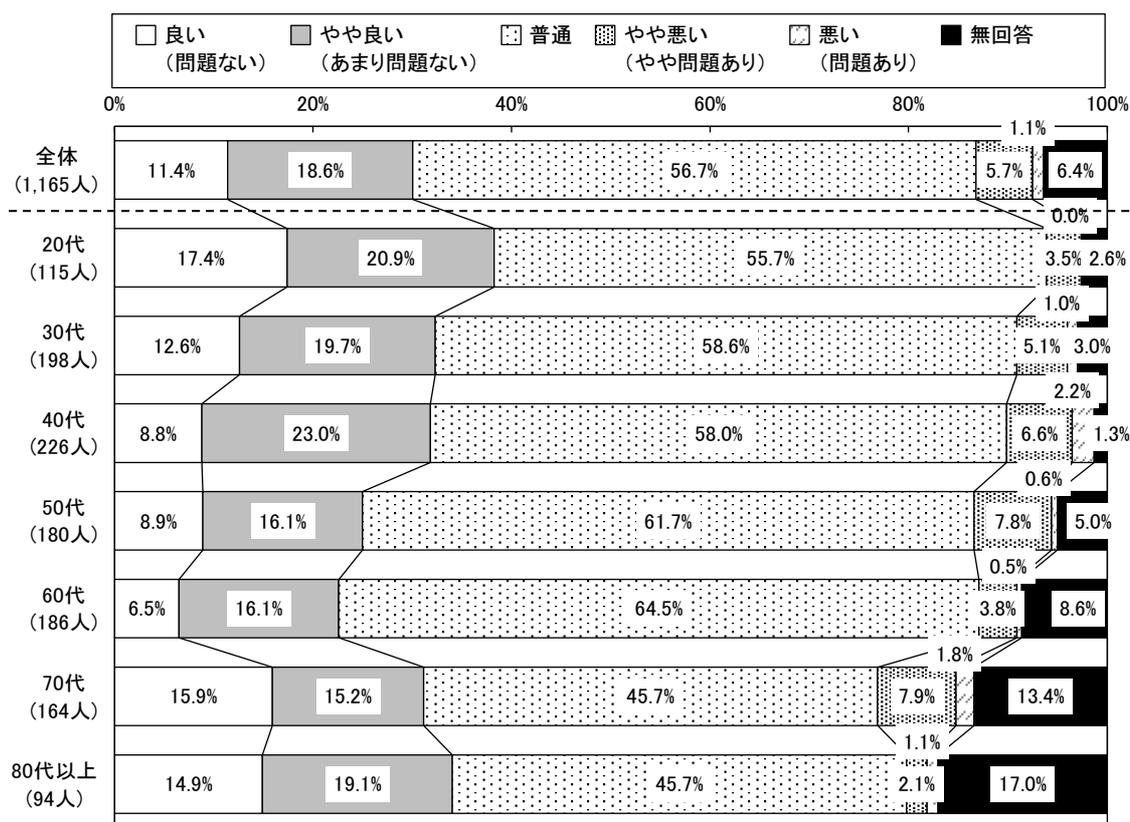


⑩ 地域の慣習（馴染めないか等）

「地域の慣習」について、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は30.0%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は6.8%となっています。

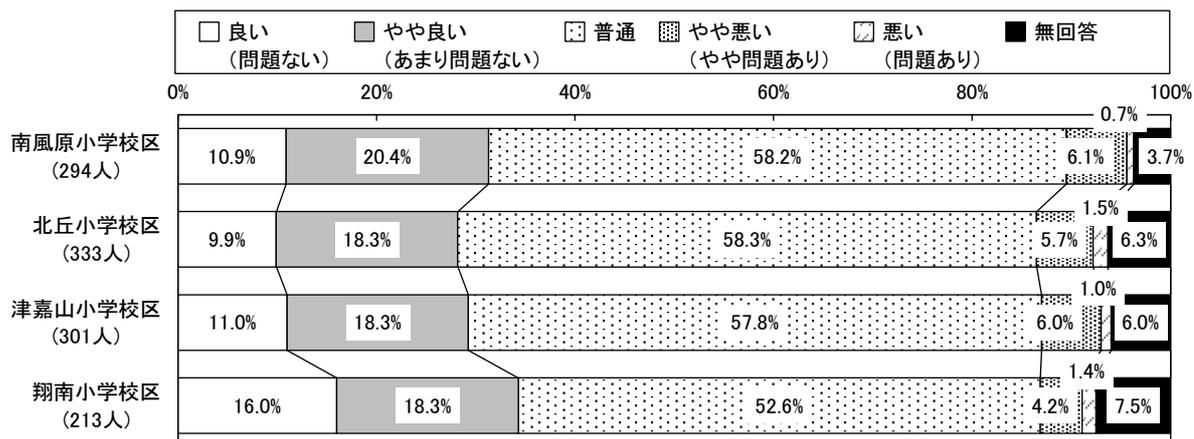
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「20代」が38.3%と最も高く、次いで「80代以上」が34.0%、「30代」が32.3%と続いています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「70代」が9.7%と最も高く、次いで「40代」が8.8%、「50代」が8.4%と続いています。

地域の慣習（馴染めないか等）（全体・年代別）



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「翔南小学校区」で34.3%と最も高く、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「北丘小学校区」で7.2%とやや高いものの、小学校区による差はわずかとなっています。

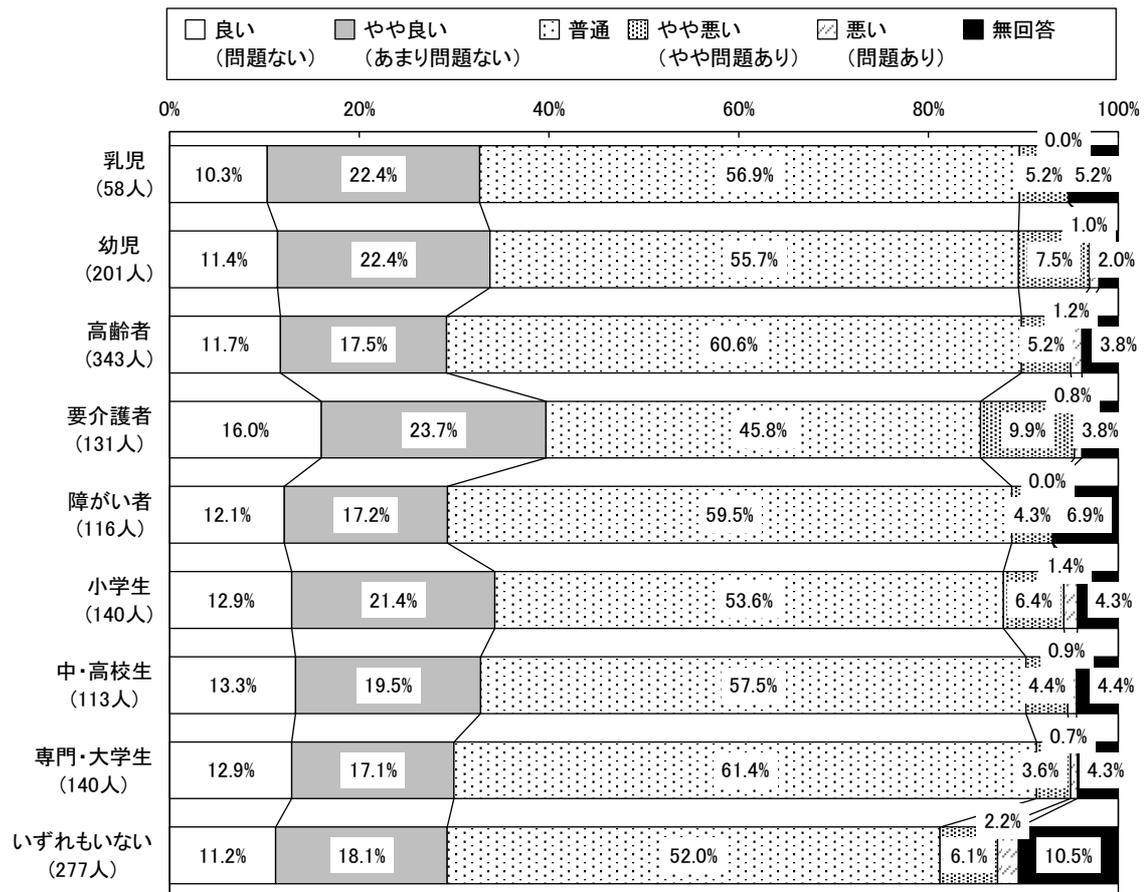
地域の慣習（馴染めないか等）（小学校区別）



同居家族別で、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「要介護者」のいる世帯が39.7%と最も高く、次いで、「小学生」のいる世帯が34.3%、「幼児」のいる世帯が33.8%の順となっています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは「要介護者」のいる世帯で10.7%、次いで、「幼児」のいる世帯が8.5%、「いずれもない」世帯が8.3%と続いています。

地域の慣習(馴染めないか等) (同居家族別)

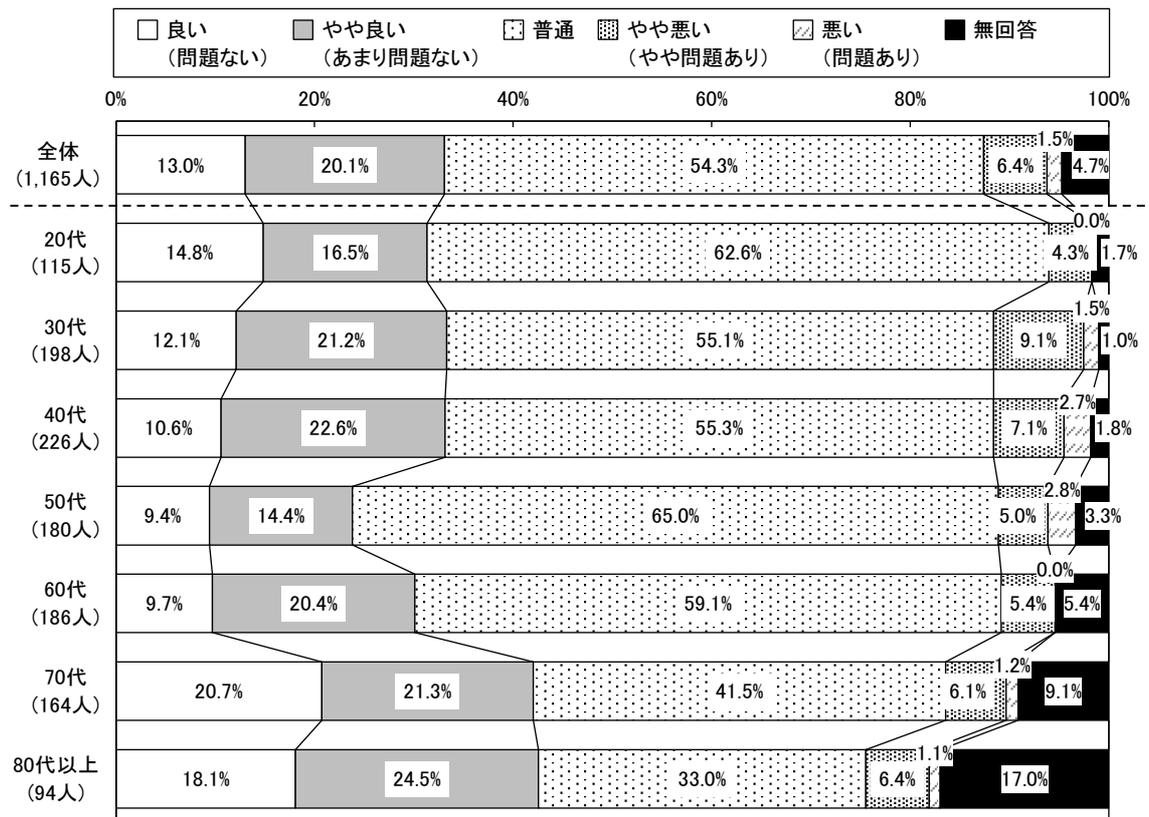


⑪ 地域の人間関係（隣近所など）

「地域の人間関係」について、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が33.1%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が7.9%となっています。

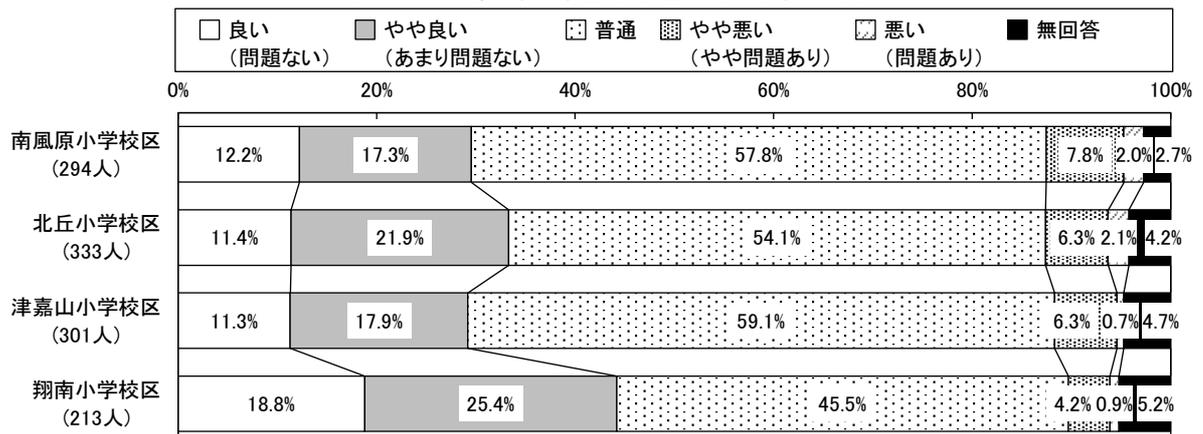
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「80代以上」が42.6%と最も高く、次いで「70代」が42.0%と続いています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「30代」が10.6%と最も高く、次いで「40代」が9.8%、「50代」が7.8%と続いています。

地域の人間関係(隣近所など) (全体・年代別)



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「翔南小学校区」で44.2%と最も高くなっています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「南風原小学校区」で9.8%と最も高く、次いで「北丘小学校区」が8.4%、「津嘉山小学校区」が7.0%、「翔南小学校区」が5.1%と続いています。

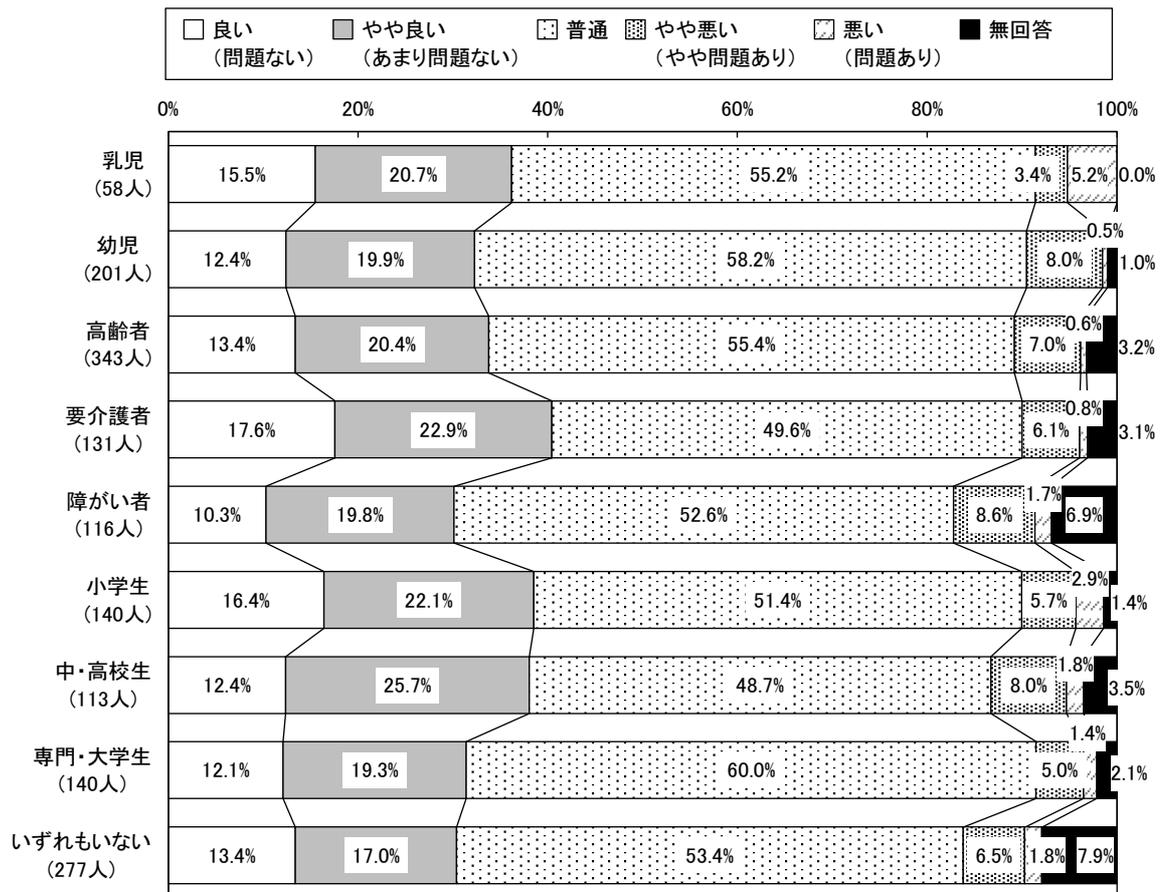
地域の人間関係(隣近所など) (小学校区別)



同居家族別で、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「要介護者」のいる世帯が40.5%と最も高く、次いで、「小学生」のいる世帯が38.5%、「中・高校生」のいる世帯が38.1%の順となっています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは「障がい者」のいる世帯で10.3%、次いで「中・高校生」のいる世帯が9.8%、「乳児」のいる世帯が8.6%、「小学生」のいる世帯が8.6%、「幼児」のいる世帯が8.5%と続いています。

地域の間人関係(隣近所など)(同居家族別)

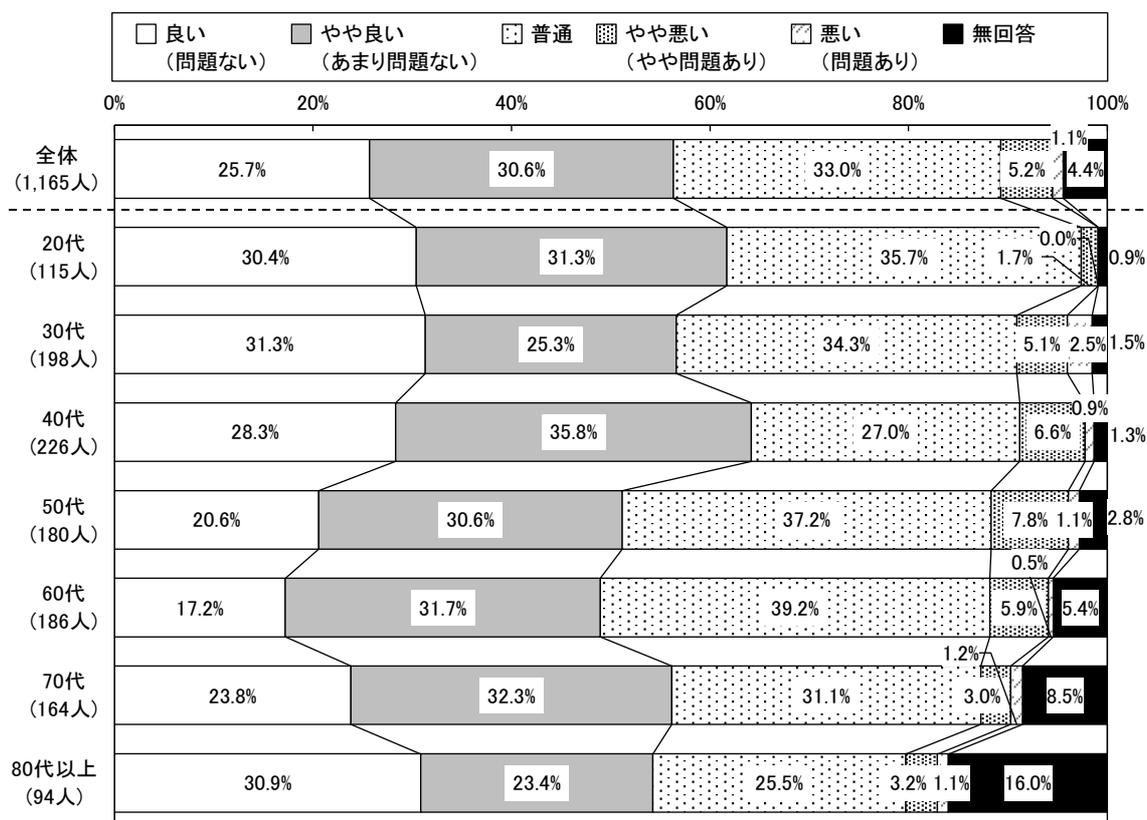


⑫ 医療機関の充実度

「医療機関の充実度」について、全体では「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合が56.3%、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は6.3%となっています。

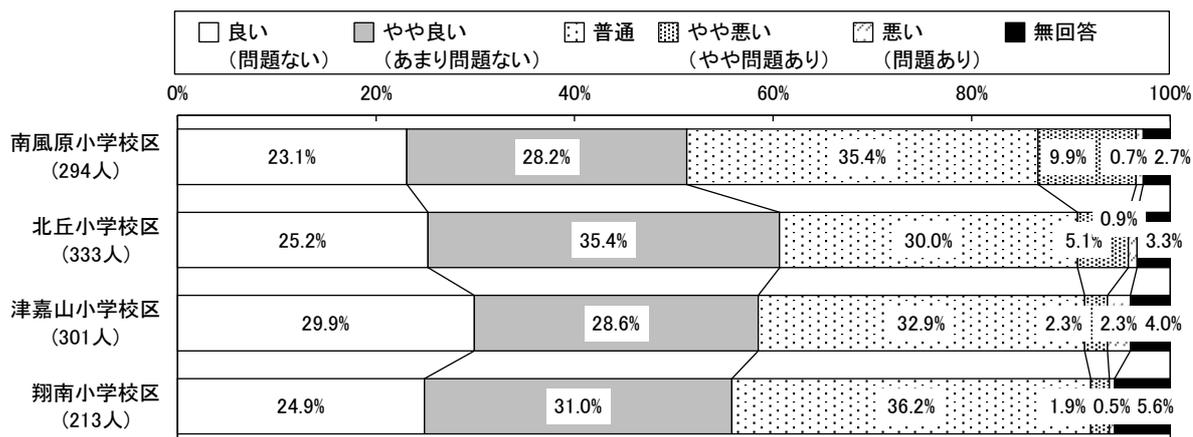
年代別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「40代」が64.1%と最も高く、次いで「20代」が61.7%、「30代」が56.8%と続いています。一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「50代」が8.9%と最も高く、次いで「30代」が7.6%、「40代」が7.5%と続いています。

医療機関の充実度（全体・年代別）



小学校区別でみると、「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合は「北丘小学校区」で60.6%と最も高く、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合は、「南風原小学校区」で10.6%と他の小学校区と比較してやや高くなっています。

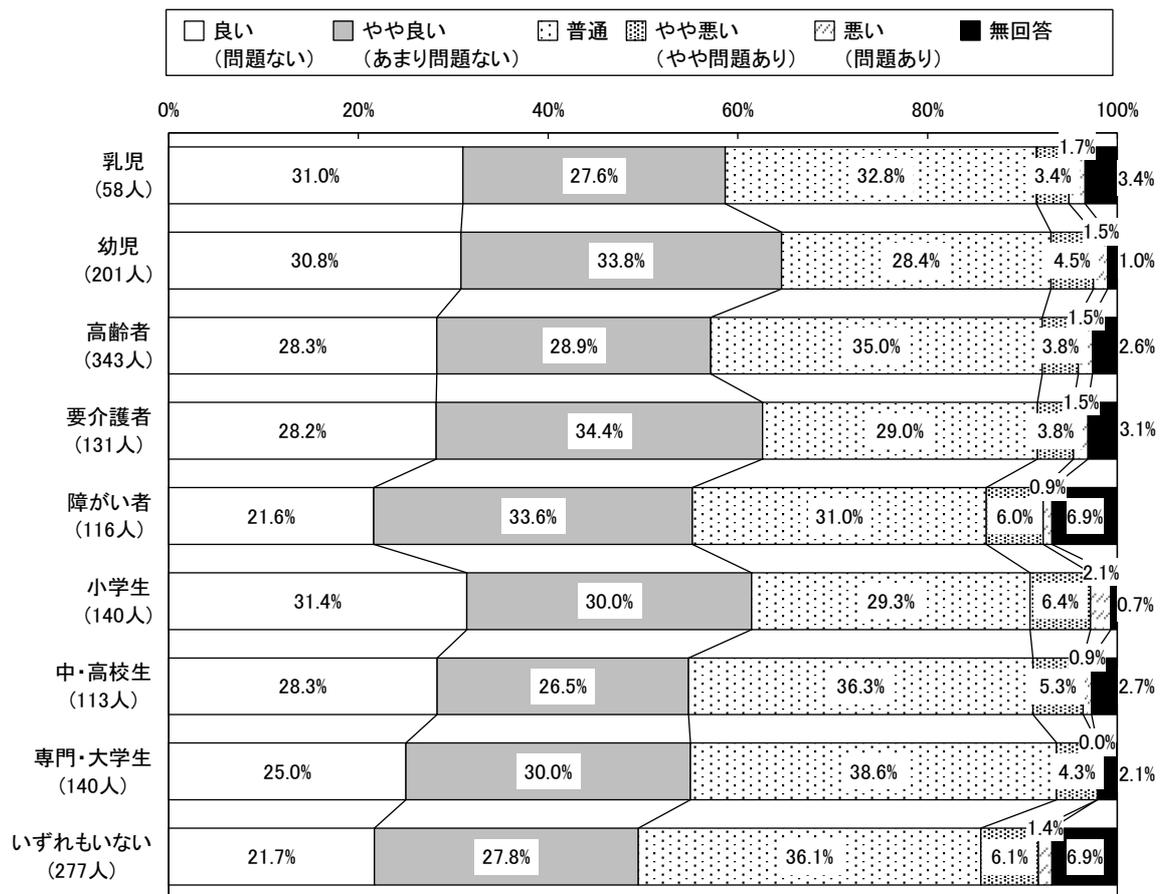
医療機関の充実度（小学校区別）



同居家族別で「良い(問題ない)」と「やや良い(あまり問題ない)」を合わせた割合をみると、「幼児」のいる世帯が64.6%と最も高く、次いで、「要介護者」のいる世帯が62.6%、「小学生」のいる世帯が61.4%の順となっています。

一方、「やや悪い(やや問題あり)」と「悪い(問題あり)」を合わせた割合が最も高かったのは、「小学生」のいる世帯で8.5%、次いで、「いずれもない」世帯が7.5%、「障がい者」のいる世帯が6.9%と続いています。

医療機関の充実度（同居家族別）

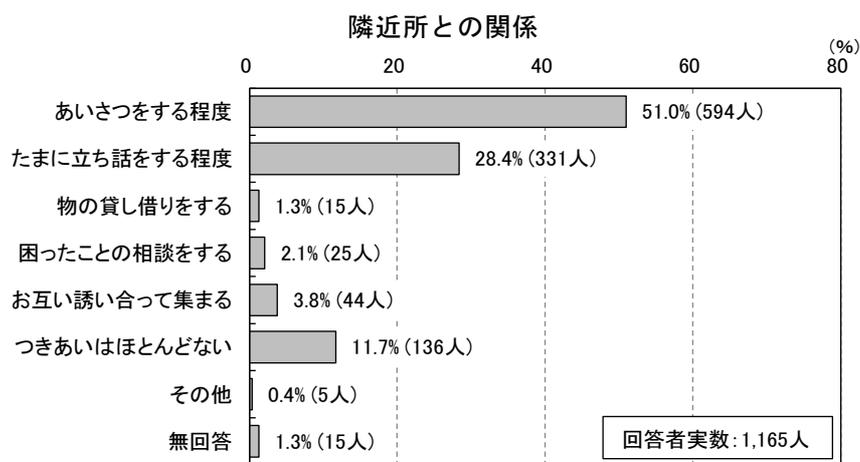


(6) 隣近所との関係

問15 あなたと隣近所との関係は次のどれに近いですか。

隣近所との関係について尋ねたところ、「あいさつをする程度」の割合が51.0%と最も高く、「たまに立ち話をする程度」の28.4%と合わせると79.4%となり、本町民の多くは、あいさつやたまに立ち話をする程度の近所つきあいをしていることが分かります。。なお、「つきあいはほとんどない」人の割合は1割強となっています。

一方、「お互い誘い合って集まる」の割合は3.8%、「困ったことの相談をする」が2.1%、「物の貸し借りをする」が1.3%と、比較的親密な近所づきあいのある人は少数であることがうかがえます。



●前回アンケート結果より

- ・隣近所とのつきあいの状況は、「あいさつをする程度」が52.1%と最も高く、次に「たまに立ち話をする程度」が29.1%で、合わせると81.2%と大半の方はさらりとした近所づきあいとなっています。
- ・「お互い誘い合って集まる」が4.4%、「困ったことの相談をする」が2.1%、「物の貸し借りをする」が1.6%、と親密なつきあいのある方が8.1%となっています。
- ・「つきあいはほとんどない」は7.3%となっています。

年代別にみると、「60代」以下の年代では、「あいさつをする程度」の割合が最も高く、「20代」から「50代」では6割前後、「60代」で5割弱となっています。また、「70代」以上の年代では、「たまに立ち話をする程度」の割合が最も高く、「70代」、「80代以上」ともに5割前後となっています。

また、「つきあいはほとんどない」と回答した人の割合は、「20代」が最も高く21.7%となっています。「つきあいはほとんどない」と回答した人の割合は、年代が下がるにつれ高くなっているため、将来さらに近所づきあいが希薄化していくことを示唆している可能性があります。

隣近所との関係（年代別）

	回答者 実数	あいさつを する程度	たまに立 ち話をす る程度	物の貸し借 りをする	困ったこ との相談 をする	お互い誘 い合っ て集まる	つきあい はほとん どない	その他	無回答
20代	115人	59.1% (68人)	13.9% (16人)	1.7% (2人)	1.7% (2人)	0.9% (1人)	21.7% (25人)	0.0% (0人)	0.9% (1人)
30代	198人	59.6% (118人)	18.2% (36人)	1.0% (2人)	2.0% (4人)	1.5% (3人)	17.2% (34人)	0.5% (1人)	0.0% (0人)
40代	226人	61.1% (138人)	21.2% (48人)	0.4% (1人)	0.9% (2人)	2.7% (6人)	12.8% (29人)	0.4% (1人)	0.4% (1人)
50代	180人	61.1% (110人)	24.4% (44人)	0.0% (0人)	0.6% (1人)	2.8% (5人)	10.0% (18人)	0.6% (1人)	0.6% (1人)
60代	186人	47.3% (88人)	33.9% (63人)	2.2% (4人)	2.2% (4人)	6.5% (12人)	6.5% (12人)	0.0% (0人)	1.6% (3人)
70代	164人	31.1% (51人)	46.3% (76人)	1.8% (3人)	3.0% (5人)	6.7% (11人)	7.3% (12人)	1.2% (2人)	2.4% (4人)
80代 以上	94人	21.3% (20人)	51.1% (48人)	3.2% (3人)	7.4% (7人)	6.4% (6人)	5.3% (5人)	0.0% (0人)	5.3% (5人)

●前回アンケート結果より

- ・年代別にみると、あいさつをする程度のつきあいは、「20代」が67.7%、「30代」が65.7%、「40代」が64.0%と高くなっていますが、年代が高くなるほど割合は低くなっています。
- ・たまに立ち話をする程度のつきあいは、「20代」が10.4%と低く、年代が高くなるほど割合は概ね高くなり「70代」、「80代」は40%台となっています。
- ・「つきあいはほとんどない」は、「20代」が17.7%と高く、それ以外の年代では10%未満と低くなっています。

小学校区別にみると、小学校区で大きな傾向の差はありません。いずれの小学校区でも「あいさつをする程度」と回答した人の割合が最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度」、「つきあいはほとんどない」と続いています。

隣近所との関係（小学校区別）

	回答者 実数	あいさつを する程度	たまに立 ち話をす る程度	物の貸し借 りをする	困ったこ との相談 をする	お互い誘 い合っ て集まる	つきあい はほとん どない	その他	無回答
南風原 小学校区	294人	55.4% (163人)	26.9% (79人)	1.0% (3人)	2.0% (6人)	2.0% (6人)	10.9% (32人)	0.7% (2人)	1.0% (3人)
北丘 小学校区	333人	47.1% (157人)	30.6% (102人)	1.5% (5人)	2.1% (7人)	4.8% (16人)	11.4% (38人)	0.6% (2人)	1.8% (6人)
津嘉山 小学校区	301人	56.8% (171人)	25.2% (76人)	1.0% (3人)	2.7% (8人)	1.7% (5人)	11.6% (35人)	0.0% (0人)	1.0% (3人)
翔南 小学校区	213人	43.2% (92人)	32.9% (70人)	1.9% (4人)	1.9% (4人)	7.0% (15人)	12.7% (27人)	0.5% (1人)	0.0% (0人)

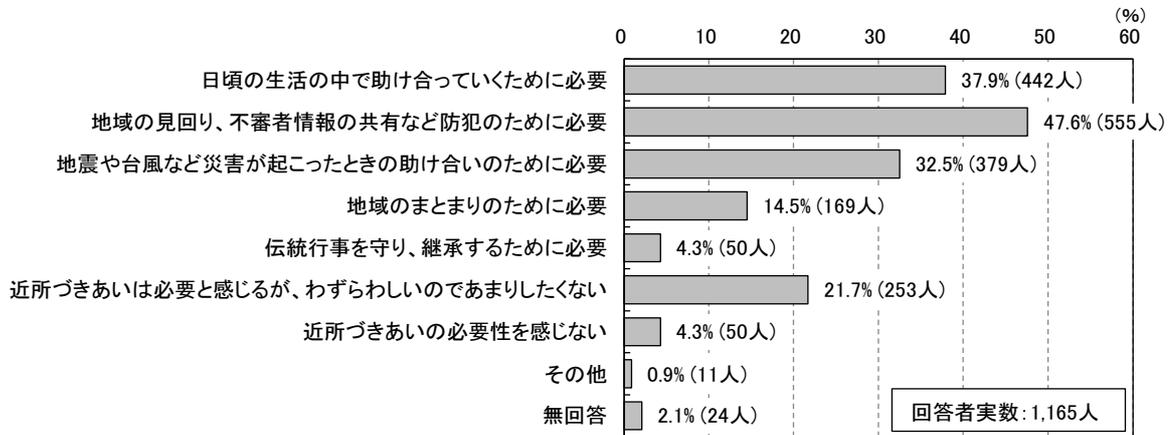
(7) 近所づきあいの考え方 (複数回答)

問16 あなたは、近所づきあいについて、どのように考えていますか。

近所づきあいの考え方について尋ねたところ、「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」が47.6%と最も高く、次いで「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」が37.9%、「地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要」が32.5%、「近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」が21.7%と、防犯や災害に対する危機意識(危険から身を守るために必要)から、近所づきあいの必要性をあげる方が多くなっています。

一方、「近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」と考えている人が21.7%いる他、4.3%が「近所づきあいの必要性を感じない」と答えています。

近所づきあいの考え方



●前回アンケート結果より

- ・「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」が45.1%と最も高く、次に「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」が41.7%と2つが40%以上を占め、「地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要」が32.0%となっており、防犯や災害に対する危機意識(危険から身を守るために必要)から、近所づきあいの必要性をあげる方が多くなっています。
- ・「近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」が20.7%、「近所づきあいの必要性を感じない」が5.0%と近所づきあいに否定的な考えの方が、25.7%と少なくとも4分の1程度います。

年代別にみると、「20代」から「50代」では「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」、「60代」以上の年代では「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」と回答した人の割合が最も高くなっています。

近所づきあいの考え方（年代別）

	回答者実数	日頃の生活の中で助け合っていくために必要	地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要	地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要	地域のまとまりのために必要	伝承行事を守り、継承するために必要	近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしいのであまりしたくない	近所づきあいの必要性を感じない	その他	無回答
20代	115人	33.0% (38人)	40.0% (46人)	32.2% (37人)	7.8% (9人)	0.9% (1人)	21.7% (25人)	7.0% (8人)	0.9% (1人)	2.6% (3人)
30代	198人	28.3% (56人)	53.0% (105人)	30.3% (60人)	8.1% (16人)	1.5% (3人)	30.8% (61人)	4.0% (8人)	2.5% (5人)	1.0% (2人)
40代	226人	29.6% (67人)	55.3% (125人)	38.1% (86人)	8.8% (20人)	5.3% (12人)	26.1% (59人)	3.5% (8人)	0.9% (2人)	0.9% (2人)
50代	180人	30.0% (54人)	50.0% (90人)	35.0% (63人)	11.7% (21人)	5.0% (9人)	24.4% (44人)	3.9% (7人)	0.0% (0人)	1.7% (3人)
60代	186人	47.8% (89人)	41.4% (77人)	31.7% (59人)	22.6% (42人)	7.5% (14人)	15.1% (28人)	3.8% (7人)	0.5% (1人)	3.2% (6人)
70代	164人	51.8% (85人)	43.9% (72人)	29.3% (48人)	24.4% (40人)	1.8% (3人)	17.7% (29人)	6.7% (11人)	0.6% (1人)	1.8% (3人)
80代以上	94人	56.4% (53人)	40.4% (38人)	25.5% (24人)	22.3% (21人)	8.5% (8人)	7.4% (7人)	1.1% (1人)	1.1% (1人)	5.3% (5人)

●前回アンケート結果より

- ・年代別にみると、「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」は若い世代が高く、「20代」から「40代」が50%台となっており、そのほかでは「80代」が高く、43.8%となっています。
- ・「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」は年代が上がるとともに割合は高くなり、「20代」から「40代」では30%台ですが、70代以上では50%以上と高くなっています。
- ・「地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要」は年代による差はあまりみられません、比較的若い世代が高く「30代」が37.4%となっています。
- ・「近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」は、「30代」が26.3%と最も高く、「80代」が4.1%と最も低くなっています。
- ・「地域のまとまりのために必要」は年代が高いほど割合も高く、50代以上では20%以上の割合となっています。

小学校区別にみると、小学校区で結果に大きな傾向の差はなく、「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」、「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」、「地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要」と回答した人の割合が高く、いずれの小学校区でも上位3項目を占めています。

上位3項目以外では、「近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」と回答した人の割合が高く、各小学校区とも2割前後となっています。

近所づきあいの考え方（小学校区別）

	回答者実数	日頃の生活の中で助け合っていくために必要	地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要	地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要	地域のまとまりのために必要	伝統行事を守り、継承するために必要	近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない	近所づきあいの必要性を感じない	その他	無回答
南風原小学校区	294人	38.1% (112人)	48.3% (142人)	31.6% (93人)	14.3% (42人)	3.7% (11人)	23.8% (70人)	4.1% (12人)	1.0% (3人)	1.7% (5人)
北丘小学校区	333人	39.3% (131人)	53.5% (178人)	33.3% (111人)	15.0% (50人)	3.3% (11人)	17.7% (59人)	4.2% (14人)	1.2% (4人)	2.4% (8人)
津嘉山小学校区	301人	34.2% (103人)	43.9% (132人)	35.2% (106人)	11.0% (33人)	2.7% (8人)	24.9% (75人)	5.6% (17人)	1.0% (3人)	2.3% (7人)
翔南小学校区	213人	40.8% (87人)	45.5% (97人)	28.6% (61人)	18.8% (40人)	9.4% (20人)	20.2% (43人)	2.3% (5人)	0.5% (1人)	0.9% (2人)

●前回アンケート結果より

- ・「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」は、「翔南小学校区」は39.2%と他小学校区より低くなっておりませんが、そのほかの小学校区では40%台後半と高くなっておりま。
- ・「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」は、「南風原小学校区」と「翔南小学校区」で40%台後半と高くなっています。「地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要」は「北丘小学校区」、「津嘉山小学校区」が37%程度と高く、「南風原小学校区」と「翔南小学校区」は20%台と低くなっておりま。
- ・近所づきあいに否定的な「近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」、「近所づきあいの必要性を感じない」を合わせた割合は、「北丘小学校区」が30.4%と最も高く、次に「津嘉山小学校区」が24.2%、「翔南小学校区」が23.1%、「南風原小学校区」が23.0%となっています。「地域のまとまりのために必要」は「翔南小学校区」が27.4%と最も高くなっています。

同居家族別にみると、いずれの同居家族の場合でも結果に大きな傾向の差はなく、「日頃の生活の中で助け合っていくために必要」、「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要」、「地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要」と回答した人の割合が高く、いずれの場合でも上位3項目を占めています。

上位3項目以外では、「近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない」と回答した人の割合が高く、いずれの同居家族の場合においても、1割台後半から2割台後半の割合となっています。

近所づきあいの考え方（同居家族別）

	回答者実数	日頃の生活の中で助け合っていくために必要	地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要	地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要	地域のまとまりのために必要	伝統行事を守り、継承するために必要	近所づきあいは必要とを感じるが、わずらわしいのであまりしたくない	近所づきあいの必要性を感じない	その他	無回答
乳児	58人	29.3% (17人)	60.3% (35人)	34.5% (20人)	3.4% (2人)	1.7% (1人)	24.1% (14人)	0.0% (0人)	3.4% (2人)	1.7% (1人)
幼児	201人	30.3% (61人)	55.2% (111人)	29.4% (59人)	10.4% (21人)	5.0% (10人)	27.9% (56人)	2.5% (5人)	3.0% (6人)	2.5% (5人)
高齢者	343人	39.1% (134人)	51.9% (178人)	35.0% (120人)	14.6% (50人)	5.0% (17人)	21.3% (73人)	5% (17人)	0.0% (0人)	1.2% (4人)
要介護者	131人	40.5% (53人)	50.4% (66人)	35.1% (46人)	15.3% (20人)	9.2% (12人)	17.6% (23人)	3.8% (5人)	0.0% (0人)	1.5% (2人)
障がい者	116人	34.5% (40人)	42.2% (49人)	33.6% (39人)	14.7% (17人)	2.6% (3人)	25.9% (30人)	3.4% (4人)	0.9% (1人)	3.4% (4人)
小学生	140人	35.7% (50人)	51.4% (72人)	26.4% (37人)	12.9% (18人)	5.7% (8人)	23.6% (33人)	4.3% (6人)	1.4% (2人)	2.9% (4人)
中・高校生	113人	42.5% (48人)	52.2% (59人)	31.9% (36人)	13.3% (15人)	7.1% (8人)	19.5% (22人)	2.7% (3人)	0.0% (0人)	2.7% (3人)
専門・大学生	140人	32.1% (45人)	40.7% (57人)	29.3% (41人)	12.1% (17人)	5.0% (7人)	23.6% (33人)	4.3% (6人)	0.7% (1人)	2.1% (3人)
いずれもいない	277人	43.0% (119人)	40.8% (113人)	29.2% (81人)	18.1% (50人)	4.3% (12人)	19.9% (55人)	5.1% (14人)	1.1% (3人)	2.9% (8人)

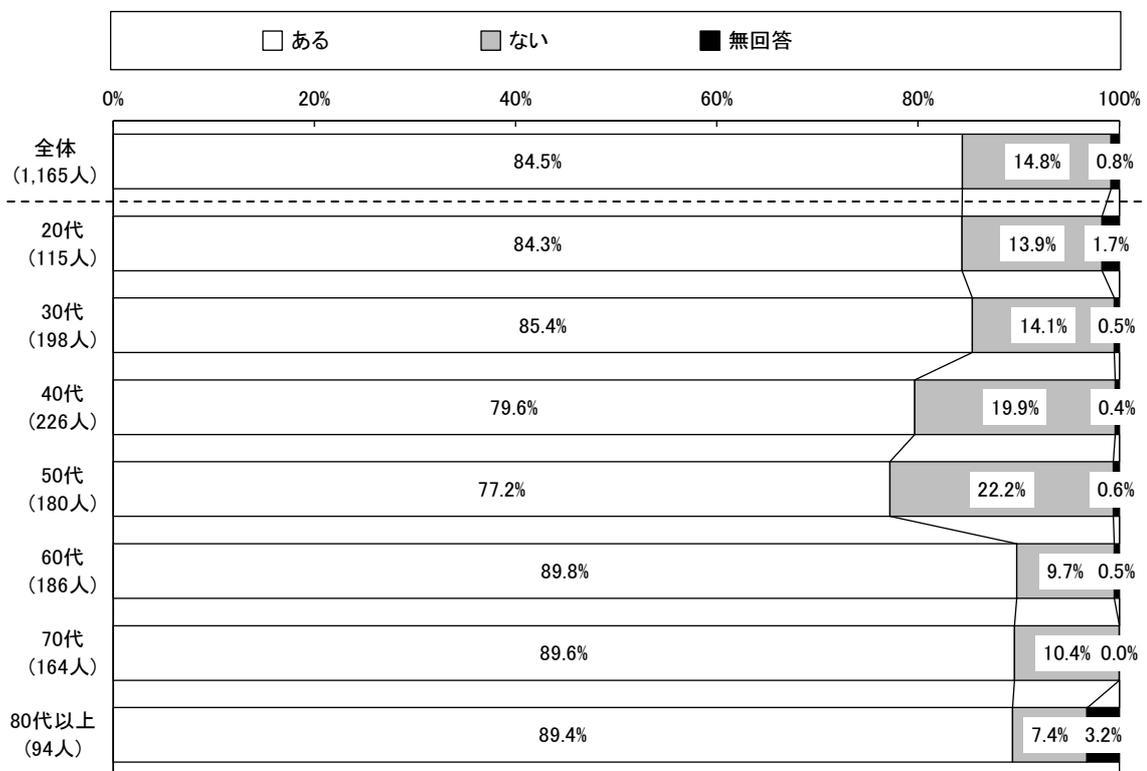
(8) 人とふれあう機会の有無

問17 日頃外出したり、誰かが訪ねてくるなど、人とふれあう機会はありますか。

日頃外出したり、誰か訪ねてくるなど、人とふれあう機会の有無について尋ねたところ、全体では「ある」と回答した人が84.5%と大半を占め、「ない」は14.8%となっています。

年代別にみると、「ある」と回答した人の割合は「40代」、「50代」でやや低いものの、その他の年代では全て8割以上を占めており、多くの方が人とふれあう機会があると答えています。一方、人とふれあう機会が「ない」と回答した人の割合は、「50代」が22.2%、「40代」が19.9%と他の年代と比べて高く、「20代」と「30代」も1割台半ばとやや高くなっています。

人とふれあう機会の有無（全体・年代別）



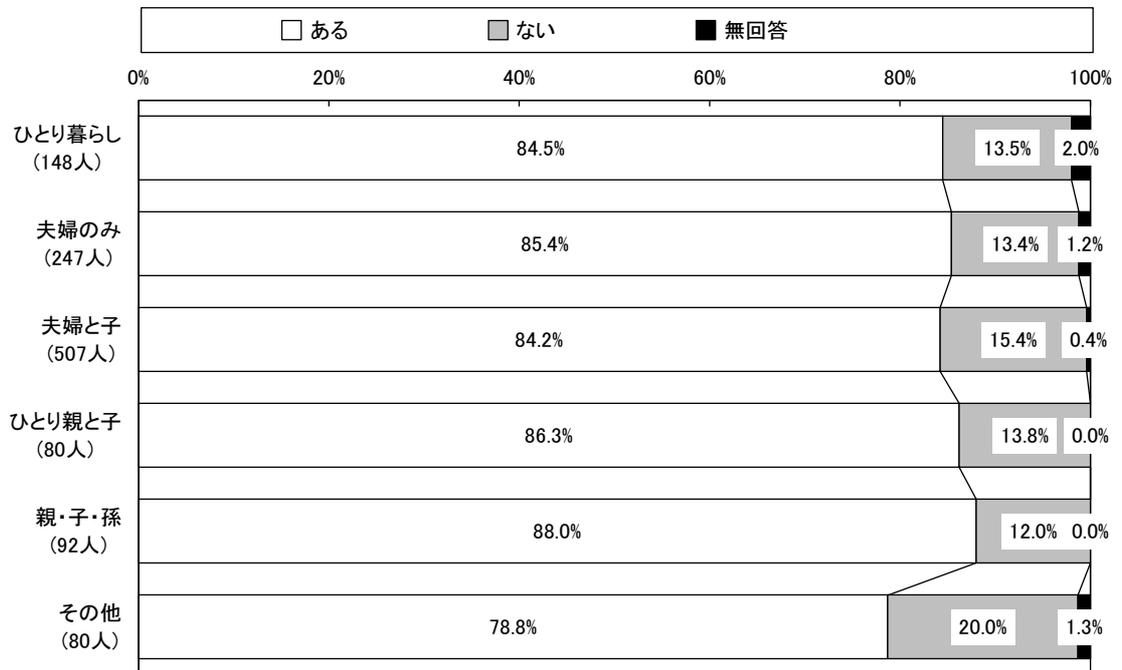
年代別・性別にみると、「ない」と答えた方の割合は男女ともに「40代」が最も高く、男性は26.8%、女性は26.4%となっています。男女差が最も大きいのは「20代」で、女性（12.6%）は男性（6.1%）に比べて6.5ポイント高くなっています。

人とふれあう機会が「ない」と答えた方（年代別×性別）

	全体数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
「ない」と答えた方	172人	9.3% (16人)	16.3% (28人)	26.2% (45人)	23.3% (40人)	10.5% (18人)	9.9% (17人)	4.1% (7人)
男性	82人	6.1% (5人)	17.1% (14人)	26.8% (22人)	22.0% (18人)	13.4% (11人)	12.2% (10人)	2.4% (2人)
女性	87人	12.6% (11人)	16.1% (14人)	26.4% (23人)	24.1% (21人)	8.0% (7人)	6.9% (6人)	5.7% (5人)

世帯構成別にみると、人とふれあう機会が「ある」と回答した人の割合は、ほとんどの世帯構成において8割以上を占めています。

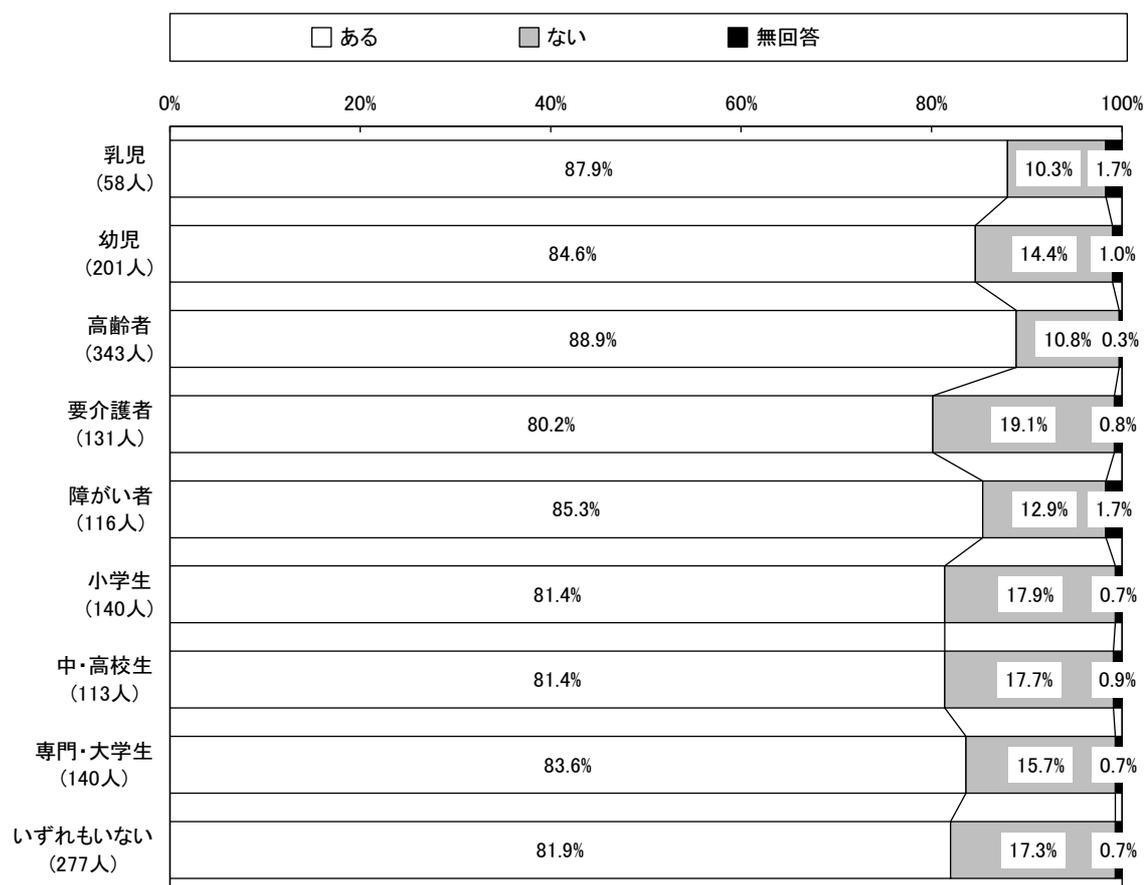
人とふれあう機会の有無（世帯構成別）



同居家族別にみると、いずれの同居家族の場合でも結果に大きな傾向の差はなく、人とふれあう機会が「ある」と回答した方の割合が8割以上を占めています。

一方、人とふれあう機会が「ない」と回答した人の割合に着目すると、「要介護者」のいる世帯が19.1%と最も高く、次いで「小学生」が17.9%、「中・高校生」が17.7%と続いています。

人とふれあう機会の有無（同居家族別）



性別・同居家族別で、人とふれあう機会が「ない」と答えた方の割合をみると、「女性」では「障がい者」のいる世帯が66.7%と最も高く、次に「中・高校生」のいる世帯の65.0%となっています。「男性」では「要介護者」のいる世帯が52.0%と最も高く、次に「幼児」がいる世帯の51.7%となっています。

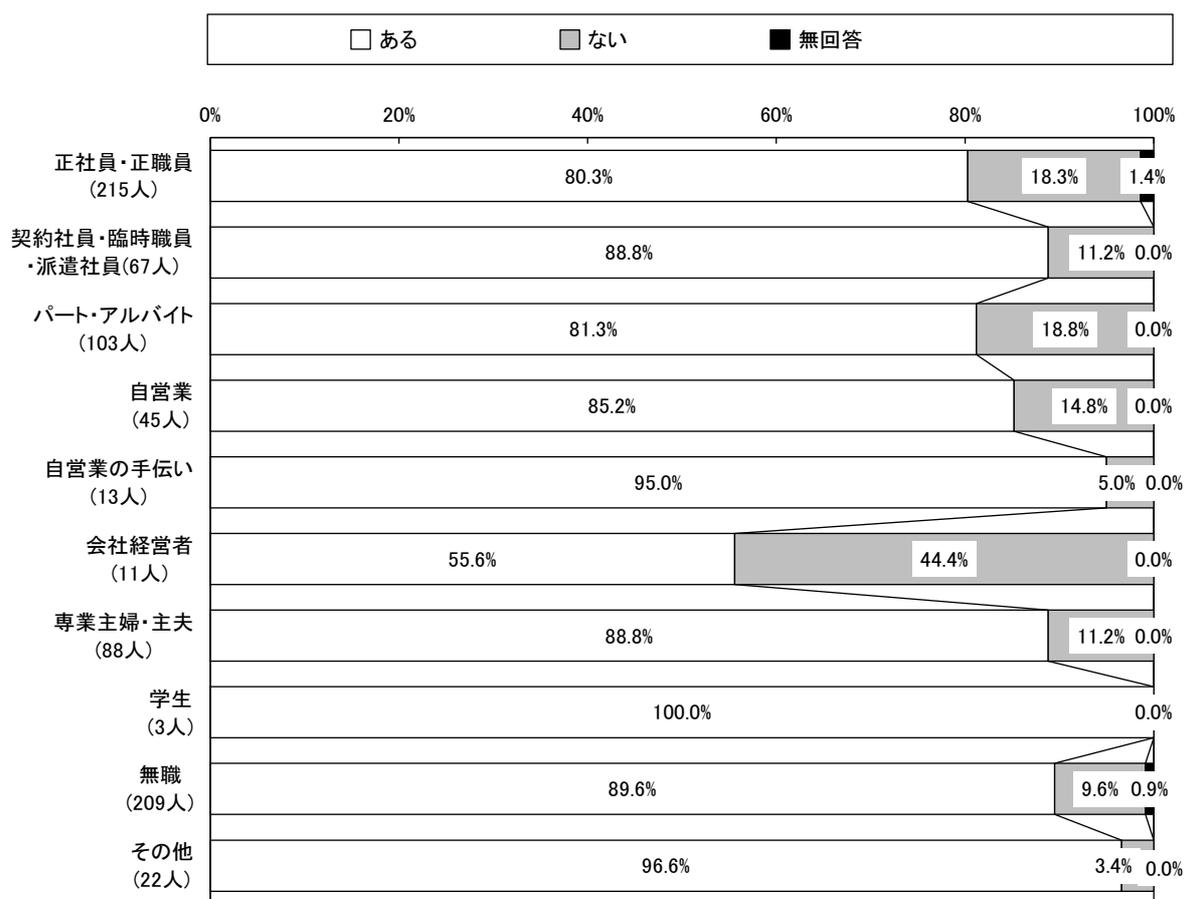
人とふれあう機会が「ない」と答えた方（性別×同居家族別）

	回答者実数	男性	女性	無回答
「ない」と答えた方	172人	47.7% (82人)	50.6% (87人)	1.7% (3人)
乳児	6人	50.0% (3人)	50.0% (3人)	0.0% (0人)
幼児	29人	51.7% (15人)	48.3% (14人)	0.0% (0人)
高齢者	37人	51.4% (19人)	48.6% (18人)	0.0% (0人)
要介護者	25人	52.0% (13人)	48.0% (12人)	0.0% (0人)
障がい者	15人	33.3% (5人)	66.7% (10人)	0.0% (0人)
小学生	25人	44.0% (11人)	56.0% (14人)	0.0% (0人)
中・高校生	20人	35.0% (7人)	65.0% (13人)	0.0% (0人)
専門・大学生	22人	50.0% (11人)	50.0% (11人)	0.0% (0人)
いずれもない	48人	39.6% (19人)	56.3% (27人)	4.2% (2人)

就労形態別で人とふれあう機会の有無をみると、ほとんどの就労形態において「ある」と回答した人の割合が8割を超えていますが、「会社経営者」が55.6%と最も低くなっています。一方、人とふれあう機会が「ない」と回答した人の割合は会社経営者が44.4%と最も高く、「パート・アルバイト」が18.8%、「正社員・正職員」が18.3%の順になっています。

※「会社経営者」はサンプル数が少ないため信頼度が低く（誤差が大きく）なっています。

人とふれあう機会の有無（就労形態別）



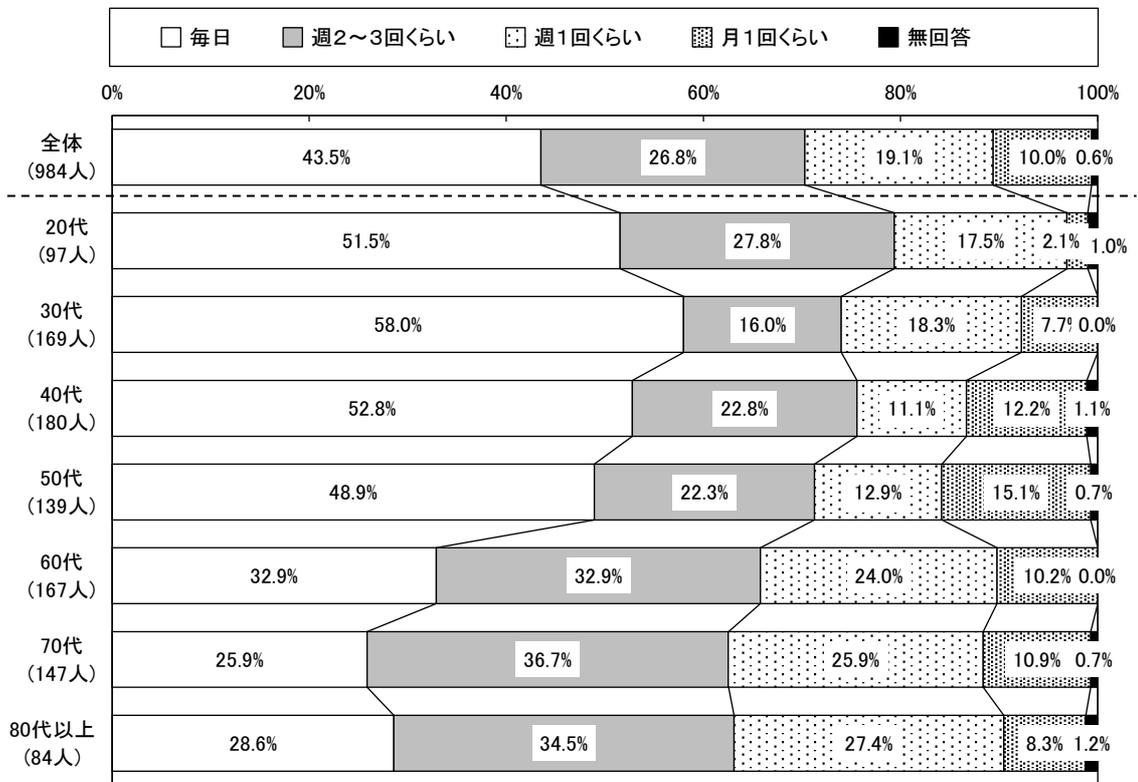
(9) 人とふれあう機会の頻度

問18 人とふれあう機会はどれくらいありますか。

「(8)人とふれあう機会の有無」で、「ある」と答えた方にその頻度について尋ねたところ、全体では、「毎日」と回答した人の割合が43.5%と最も高く、次いで、「週2～3回くらい」が26.8%、「週1回くらい」が19.1%の順となっています。

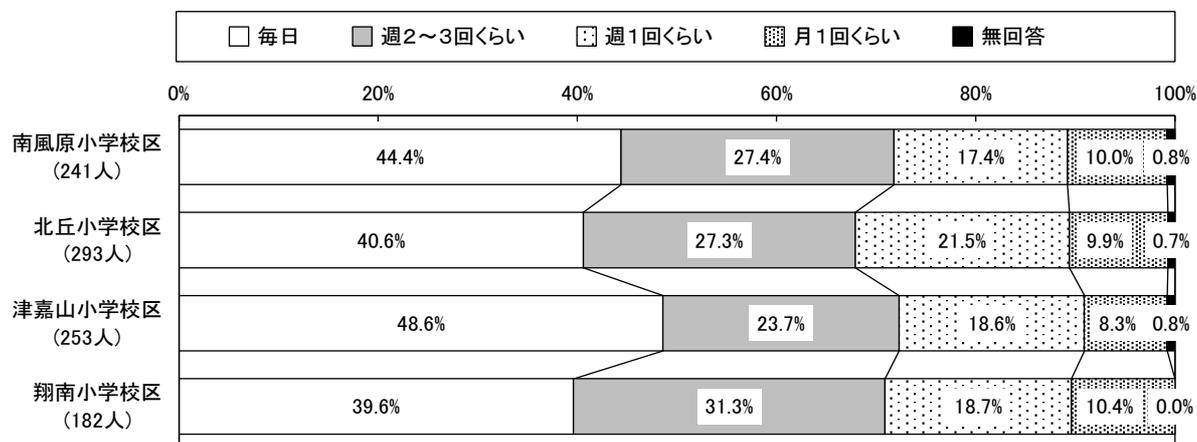
年代別にみると、「20代」から「50代」までは「毎日」と回答した人の割合が最も高く、特に40代までは半数を超えています。また、「50代」を境に「週2～3回くらい」と回答する人の割合が増え、「60代」では32.9%、「70代」では36.7%、「80代以上」では34.5%と3割を超える水準となっています。

人とふれあう機会の頻度（全体・年代別）



小学校区別にみると、小学校区で結果に大きな傾向の差はなく、人とふれあう機会が「毎日」と回答した人の割合は、「津嘉山小学校区」が48.6%と最も高く、次いで「南風原小学校区」が44.4%、「北丘小学校区」が40.6%、「翔南小学校区」が39.6%の順になっています。

人とふれあう機会の頻度（小学校区別）



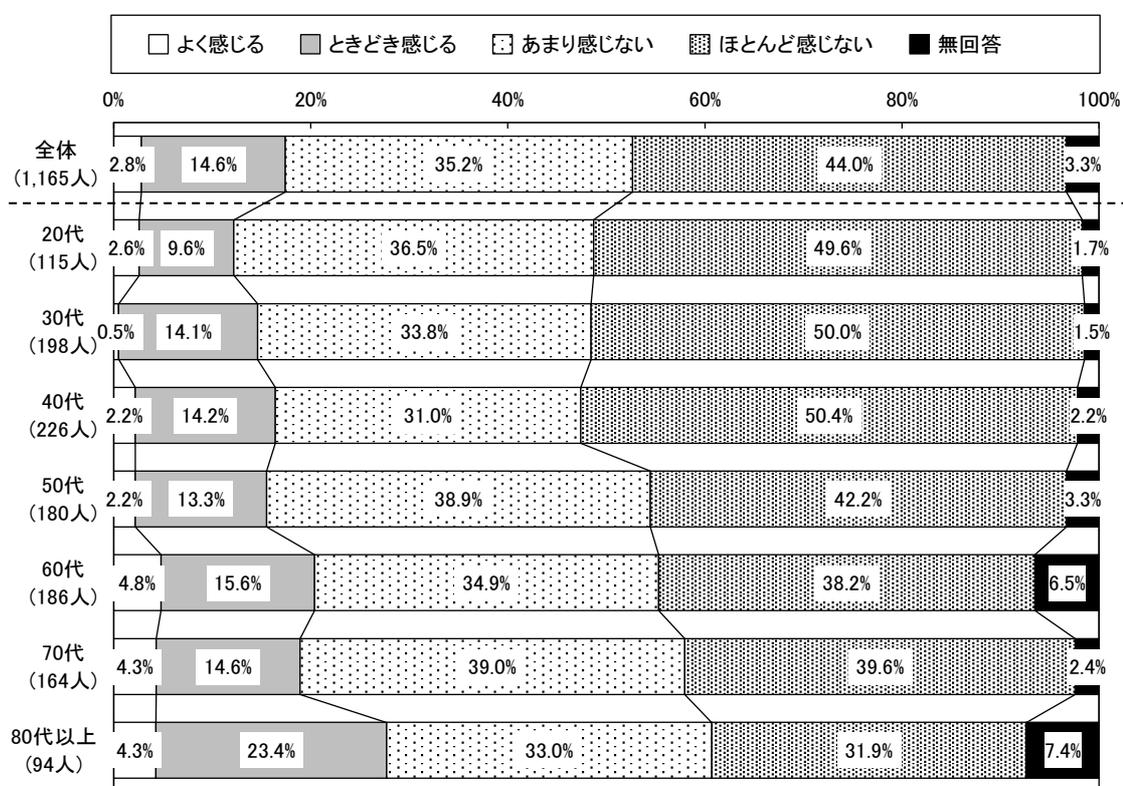
(10) 日常生活の孤独感

問19 日常生活をしていて、孤独感がありますか。

日常生活をしていて、孤独感を感じるか尋ねたところ、全体では、「ほとんど感じない」と回答した人の割合が44.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が35.2%、「ときどき感じる」が14.6%の順となっています。

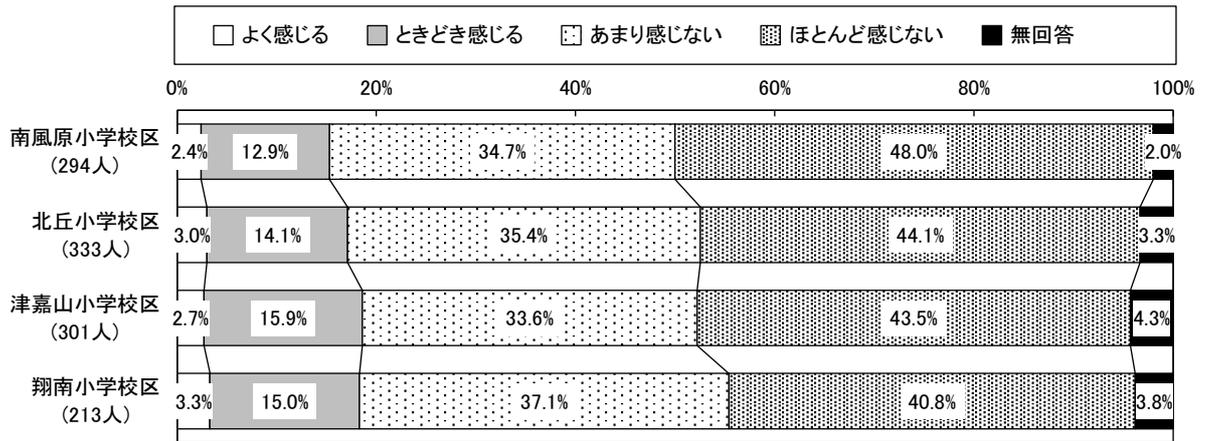
年代別でみると、孤独感を「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた、孤独感を『感じる』人の割合は、「80代以上」が27.7%と最も高く、次いで「60代」が20.4%、「70代」が18.9%の順となっています。「50代」から「60代」で孤独感を『感じる』人の割合が4.9ポイント増加しており、高齢期に孤独感を感じる人が増えることがうかがえます。

孤独感（全体・年代別）



小学校区別にみると、小学校区で結果に大きな傾向の差はなく、孤独感を『感じる』人の割合は、「津嘉山小学校区」が18.6%と最も高く、次いで「翔南小学校区」が18.3%、「北丘小学校区」が17.1%、「南風原小学校区」が15.3%の順となっています。

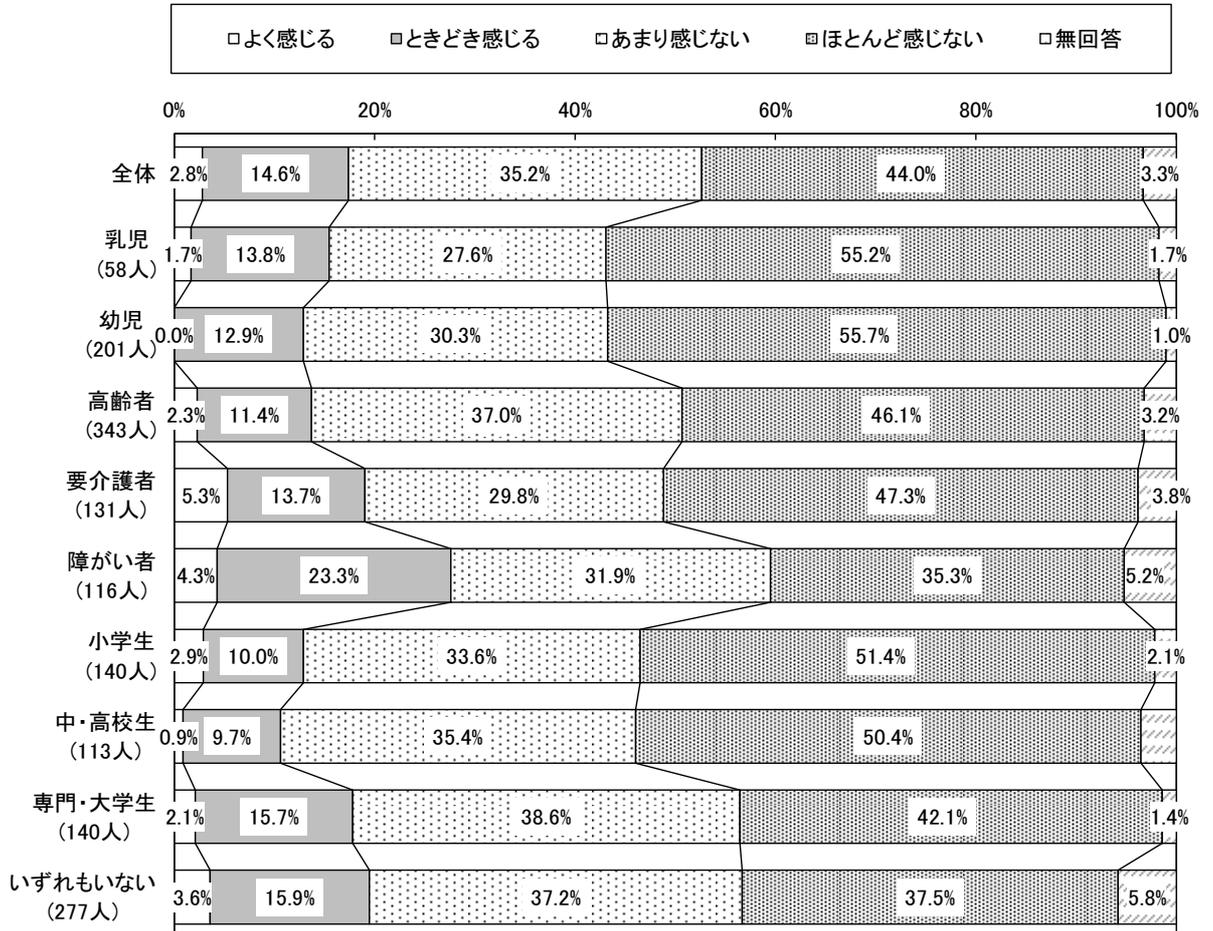
孤独感（小学校区別）



同居家族別にみると、孤独感を『感じる』人の割合は、「障がい者」がいる世帯で27.6%と最も高く、次いで「いずれもいない」世帯が19.5%、「要介護者」のいる世帯が18.0%の順となっています。

さらに、孤独感を『感じる』人の割合は、「専門・大学生」のいる世帯で17.8%、「乳児」のいる世帯で15.5%、「幼児」、「小学生」のいる世帯で共に12.9%、「中・高校生」のいる世帯で10.6%となっており、子育て世帯においても孤独感を感じている人が一定程度いることがわかります。

孤独感（同居家族別）



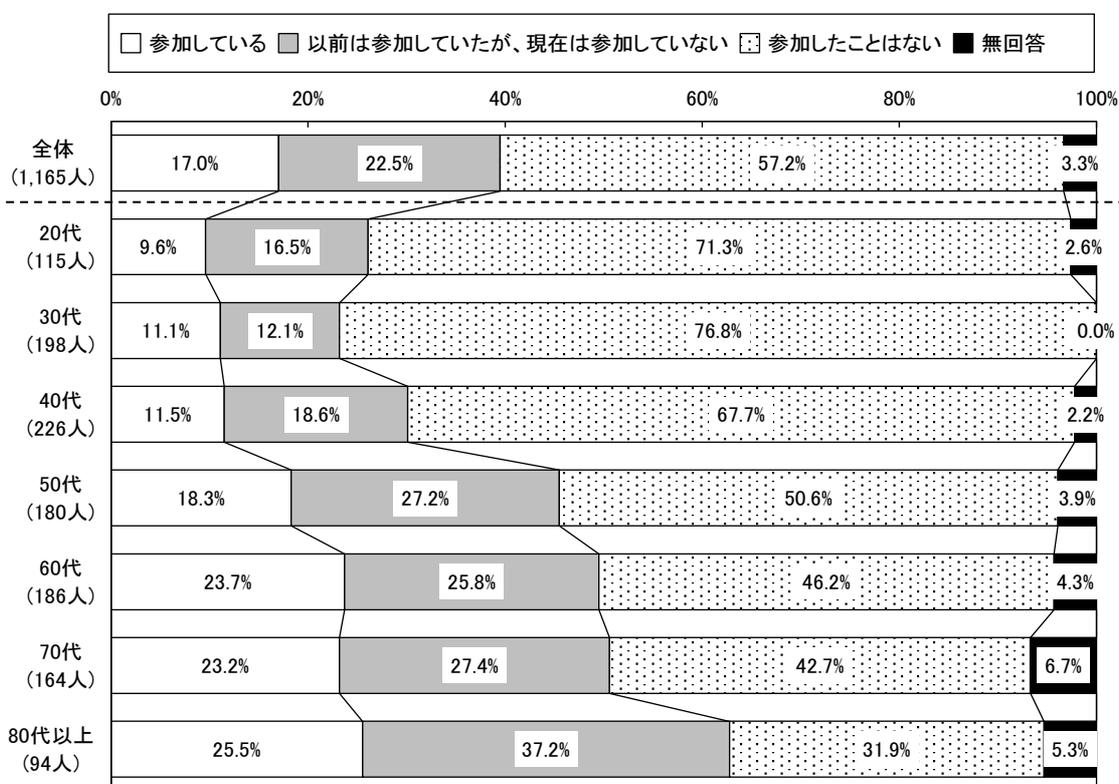
(11) 地域活動・行事への参加状況

問20 あなたは現在、地域活動やボランティア活動に参加していますか。

地域活動やボランティア活動への参加について尋ねたところ、全体では「参加したことはない」が57.2%と最も高く、次いで「以前は参加していたが、現在は参加していない」が22.5%、「参加している」が17.0%の順となっています。

年代別にみると、「参加したことはない」人の割合は「20代」、「30代」、「40代」の若い世代ほど高く、「20代」では71.3%、「30代」では76.8%と7割を超えています。一方、「参加している」人の割合は「50代」を境に増加し、「60代」以上の年代では2割台半ばとなっています。

地域活動・行事への参加状況（全体・年代別）



●前回アンケート結果より

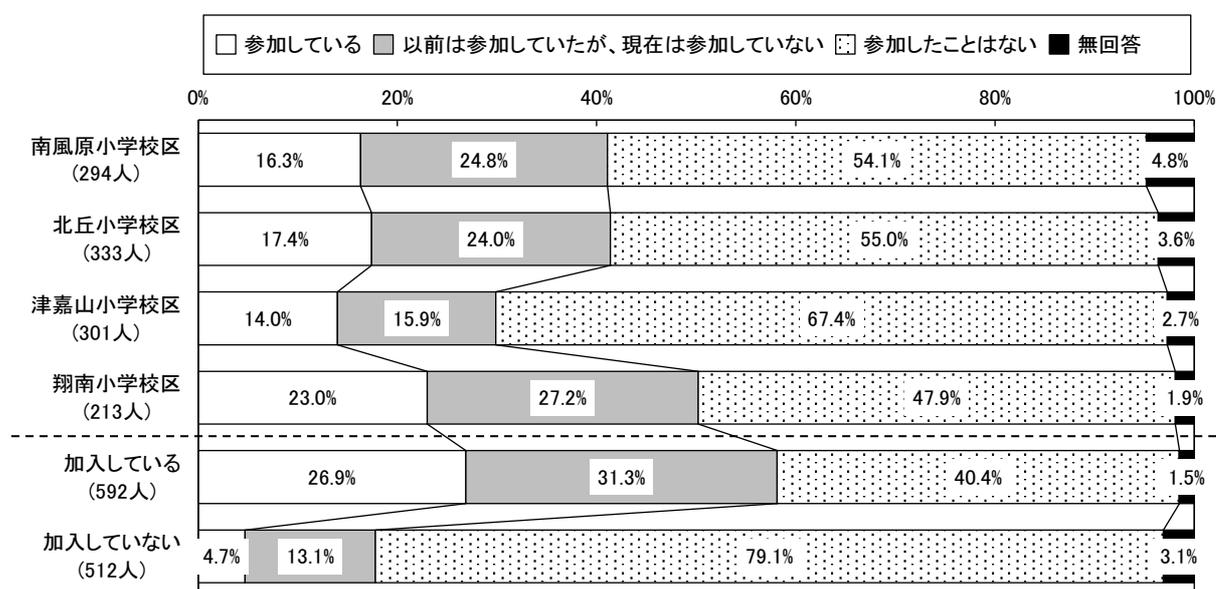
- ・地域の活動や行事への参加については、「まったく参加していない」が44.7%、「あまり参加していない」が17.9%で合わせると62.6%となっています。参加している割合は、「よく参加している」が11.9%、「時々参加している」が20.2%で合わせると32.1%となっています。
- ・年代別にみると、「まったく参加していない」は「20代」が65.6%と最も高く、年代が高くなるほど割合は低くなる傾向にあり、「80代」では20.5%となっています。
- ・「まったく参加していない」と「あまり参加していない」を合わせた参加していない割合も年代があがるとともに割合は低くなっており、「20代」が81.2%に対し、「80代」では34.2%となっています。

小学校区別にみると、「参加したことはない」人の割合は「津嘉山小学校区」が67.4%と最も高く、「翔南小学校区」が47.9%と最も低くなっています。

自治会への加入状況別にみると、「参加したことはない」人の割合が、自治会に「加入している」人では40.4%に対し、自治会に「加入していない」人では79.1%と、2倍近くの差になっており、自治会への加入状況によって、地域活動や行事への参加状況が大きく変わる結果となっています。

自治会に加入していない世帯への、地域活動や行事等の周知や参加促進のための取組の状況を把握し、自治会への加入促進を図ることの必要性がうかがえます。

地域活動・行事への参加状況（小学校区別・自治会への加入状況別）



●前回アンケート結果より

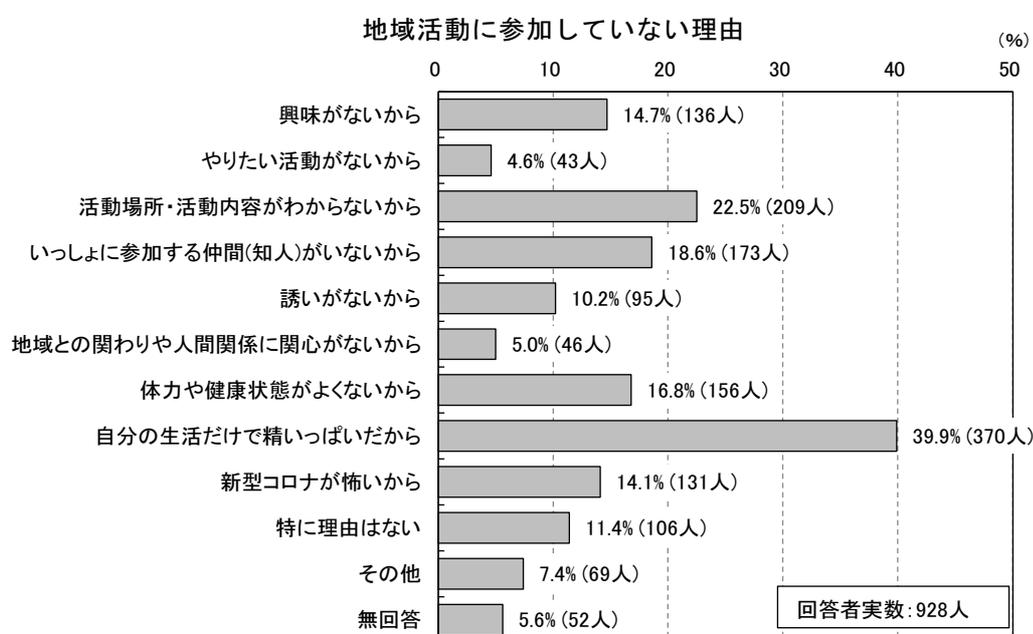
- 小学校区別にみると、「まったく参加していない」は「翔南小学校区」が27.4%と最も低く、「津嘉山小学校区」は52.8%と半数以上を占めます。
「よく参加している」と「時々参加している」を合わせた参加している割合は「翔南小学校区」が49.4%を占め、その他の地域は20%台後半となっています。
- 自治会の加入の状況別にみると、「まったく参加していない」は「加入している」が25.3%であるのに対し、「加入していない」では75.8%と、未加入者の割合が加入者の割合を大きく上回ります。一方、「よく参加している」と「時々参加している」を合わせた参加している割合は「加入している」が49.7%、「加入していない」が8.0%となっており、加入者の割合が未加入者の割合を大きく上回っています。

(12) 地域活動に参加していない理由

問20-1 参加していない主な理由は何ですか。

「(11)地域活動・行事への参加状況」で、「以前は参加していたが、現在は参加していない」又は「参加したことはない」と答えた方に、その主な理由を尋ねたところ、「自分の生活だけで精いっぱいだから」と回答した人の割合が39.9%と最も高く、次いで「活動場所・活動内容がわからないから」が22.5%、「いっしょに参加する仲間(知人)がいないから」が18.6%、「体力や健康状態がよくないから」が16.8%、「興味がないから」が14.7%の順となっています。

「活動場所・活動内容がわからないから」、「いっしょに参加する仲間(知人)がいないから」、「誘いがないから」といった回答をされた人には、地域活動への参加意向がある可能性があるため、地域活動の周知や参加促進の取組を行うことで、地域活動への参加者を増やす効果が期待できます。



●前回アンケート結果より

- ・「(10)地域活動・行事への参加状況」で、「あまり参加していない」又は「まったく参加していない」と答えた方のその主な理由としては、「忙しくて時間がないから」が38.3%と最も高く、次に「興味が無いから」、「活動内容がよくわからないから」が12.3%となっています。
- ・活動がよくわからない、仲間がいない、誘いがないといった理由については、活動の周知や参加への誘いを行うことで、活動への参加者は増えることが考えられます。

自治会への加入状況別に地域活動に参加していない理由をみると、「活動場所・活動内容がわからないから」と回答した人の割合が、自治会に「加入している」人では15.3%に対し、自治会に「加入していない」人では29.2%と、2倍近くの差になっており、自治会未加入者へ地域活動の情報が十分に届いていない状況がうかがえます。

地域活動に参加していない理由（自治会への加入状況別）

	回答者実数	興味がないから	やりたい活動がないから	活動場所・活動内容がわからないから	いっしょに参加する仲間（知人）がないから	誘いがなければ	地域との関わりや人間関係に関心がないから	体力や健康状態がよくないから	自分の生活だけで精いっぱいだから
加入している	424人	14.2% (60人)	5.7% (24人)	15.3% (65人)	17.5% (74人)	12.5% (53人)	5.4% (23人)	21.5% (91人)	35.4% (150人)
加入していない	472人	15.5% (73人)	4.0% (19人)	29.2% (138人)	19.3% (91人)	8.3% (39人)	4.2% (20人)	12.5% (59人)	44.7% (211人)

	回答者実数	新型コロナが怖いから	特に理由はない	その他	無回答
加入している	424人	14.4% (61人)	12.5% (53人)	7.5% (32人)	5.7% (24人)
加入していない	472人	13.1% (62人)	10.6% (50人)	6.4% (30人)	5.3% (25人)

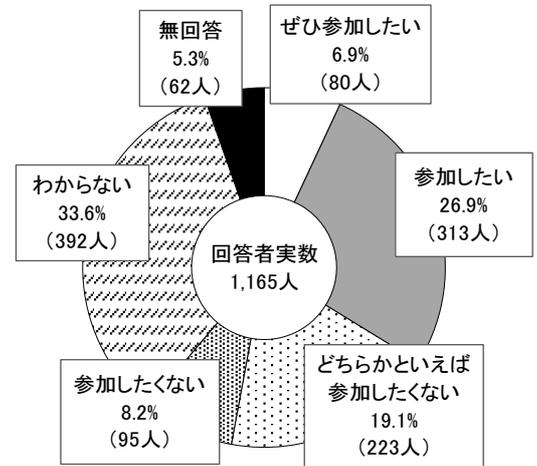
(13) 地域活動への参加意向

問21 あなたは、今後(今後も)地域活動に参加したいと思いますか。

今後(今後も)地域活動に参加したいと思うか尋ねたところ、「わからない」と回答した人が33.6%と最も高く、次いで「参加したい」が26.9%、「どちらかといえば参加したくない」が19.1%、「参加したくない」が8.2%、「ぜひ参加したい」が6.9%の順となっています。

「ぜひ参加したい」と「参加したい」を合わせた33.8%が今後参加したい意向を持っており、「どちらかといえば参加したくない」と「参加したくない」を合わせた27.3%は今後参加したくないと感じていることになります。

地域活動への参加意向



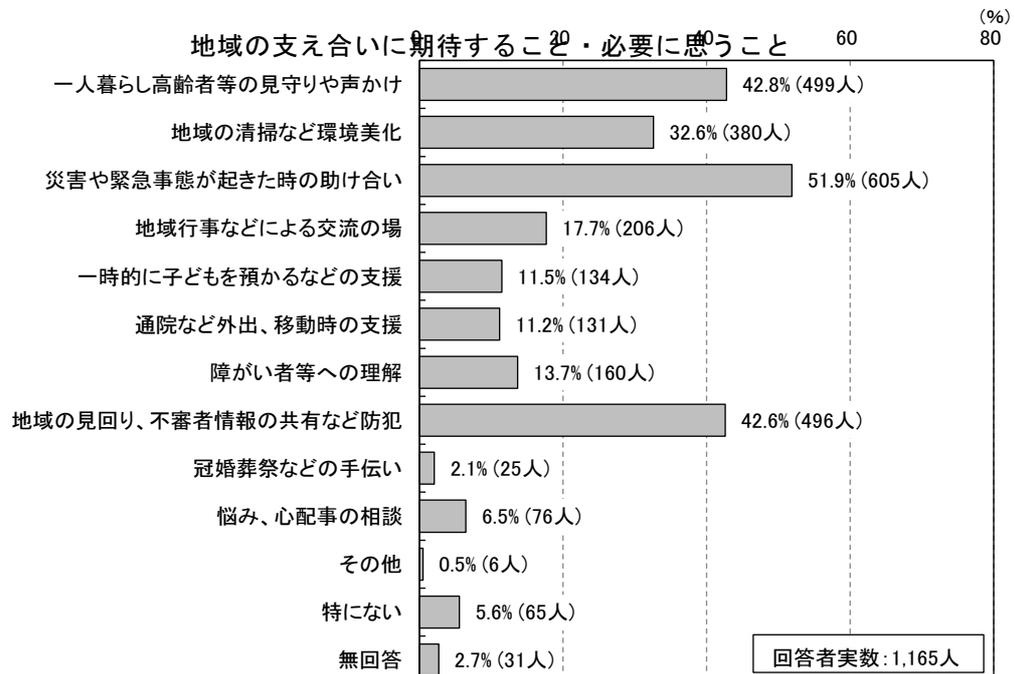
●前回アンケート結果より

- ・今後の地域活動への参加意向は、「参加したい」が33.0%と最も高く、次いで「わからない」が28.1%となっています。

(14) 地域の支え合いに期待すること・必要に思うこと（複数回答）

問22 あなたが、地域の支え合いに期待すること(必要に思うこと)は何ですか。

地域の支え合いに期待すること・必要に思うことを尋ねたところ、「災害や緊急事態が起きた時の助け合い」が51.9%と最も高く、次いで「一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ」が42.8%、「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯」が42.6%の順となっています。



地域の支え合いに期待すること・必要に思うことについて小学校区別にみると、すべての小学校区で「災害や緊急事態が起きた時の助け合い」と回答した人の割合が半数前後を占めており、小学校区による大きな傾向の差は見られませんが、「北丘小学校区」が55.9%と最も高くなっています。また、「一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ」「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯」と回答した人の割合もすべての小学校区で40%以上と高くなっています。

地域の支え合いに期待すること・必要に思うこと（小学校区別）

	回答者実数	一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ	美化 地域の清掃など環境	災害や緊急事態が起きた時の助け合い	地域行事などによる交流の場	一時的に子どもを預かるなどの支援	通院など外出、移動時の支援	障がい者等への理解
南風原小学校区	294人	40.8% (120人)	36.1% (106人)	52.4% (154人)	17.7% (52人)	9.2% (27人)	13.3% (39人)	11.6% (34人)
北丘小学校区	333人	47.7% (159人)	30.9% (103人)	55.9% (186人)	17.4% (58人)	9.6% (32人)	10.8% (36人)	14.4% (48人)
津嘉山小学校区	301人	40.2% (121人)	26.9% (81人)	51.5% (155人)	16.6% (50人)	17.3% (52人)	8.3% (25人)	14.3% (43人)
翔南小学校区	213人	40.8% (87人)	39.4% (84人)	46.9% (100人)	20.7% (44人)	10.3% (22人)	11.3% (24人)	15.5% (33人)

	回答者実数	地域の見回り、不審者情報の共有など防犯	冠婚葬祭などの手伝い	悩み、心配事の相談	その他	特にない	無回答
南風原小学校区	294人	43.5% (128人)	2.7% (8人)	8.2% (24人)	0.7% (2人)	5.4% (16人)	1.4% (4人)
北丘小学校区	333人	41.4% (138人)	1.8% (6人)	5.4% (18人)	0.6% (2人)	4.8% (16人)	3.0% (10人)
津嘉山小学校区	301人	41.5% (125人)	1.0% (3人)	7.0% (21人)	0.3% (1人)	7.3% (22人)	3.0% (9人)
翔南小学校区	213人	46.5% (99人)	3.8% (8人)	5.6% (12人)	0.5% (1人)	4.7% (10人)	2.3% (5人)

地域の支え合いに期待すること・必要に思うことについて同居家族別にみると、「乳児」、「幼児」、「小学生」、「中・高校生」のいる子育て期の世帯では、「災害や緊急事態が起きた時の助け合い」と「地域の見回り、不審者情報の共有など防犯」と回答する人の割合が高く、「高齢者」や「要介護者」のいる世帯では、「災害や緊急事態が起きた時の助け合い」と「一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ」と回答する人の割合が高くなっています。

そのほか、「乳児」、「幼児」のいる世帯では「一時的に子どもを預かるなどの支援」、「障がい者」のいる世帯では「障がい者等への理解」と回答する人の割合が高くなっています。

地域の支え合いに期待すること・必要に思うこと（同居家族別）

	回答者実数	一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ	美化地域の清掃など環境	きた時の助け合い	災害や緊急事態が起きた時の助け合い	地域行事などによる交流の場	一時的に子どもを預かるなどの支援	通院など外出、移動の支援	障がい者等への理解
乳児	58人	44.8% (26人)	32.8% (19人)	60.3% (35人)	20.7% (12人)	34.5% (20人)	5.2% (3人)	6.9% (4人)	
幼児	201人	35.8% (72人)	34.8% (70人)	50.7% (102人)	25.4% (51人)	21.4% (43人)	5.5% (11人)	9.5% (19人)	
高齢者	343人	40.5% (139人)	35.9% (123人)	53.1% (182人)	21.0% (72人)	11.7% (40人)	10.2% (35人)	12.5% (43人)	
要介護者	131人	45.8% (60人)	32.8% (43人)	48.9% (64人)	19.1% (25人)	5.3% (7人)	16.8% (22人)	17.6% (23人)	
障がい者	116人	42.2% (49人)	24.1% (28人)	44.8% (52人)	17.2% (20人)	6.9% (8人)	19.8% (23人)	30.2% (35人)	
小学生	140人	35.0% (49人)	32.9% (46人)	46.4% (65人)	23.6% (33人)	13.6% (19人)	7.9% (11人)	11.4% (16人)	
中・高校生	113人	45.1% (51人)	36.3% (41人)	51.3% (58人)	23.9% (27人)	6.2% (7人)	10.6% (12人)	18.6% (21人)	
専門・大学生	140人	48.6% (68人)	29.3% (41人)	57.1% (80人)	15.0% (21人)	11.4% (16人)	9.3% (13人)	15.0% (21人)	
いずれもいない	277人	43.0% (119人)	30.7% (85人)	49.5% (137人)	10.1% (28人)	9.7% (27人)	14.4% (40人)	14.4% (40人)	

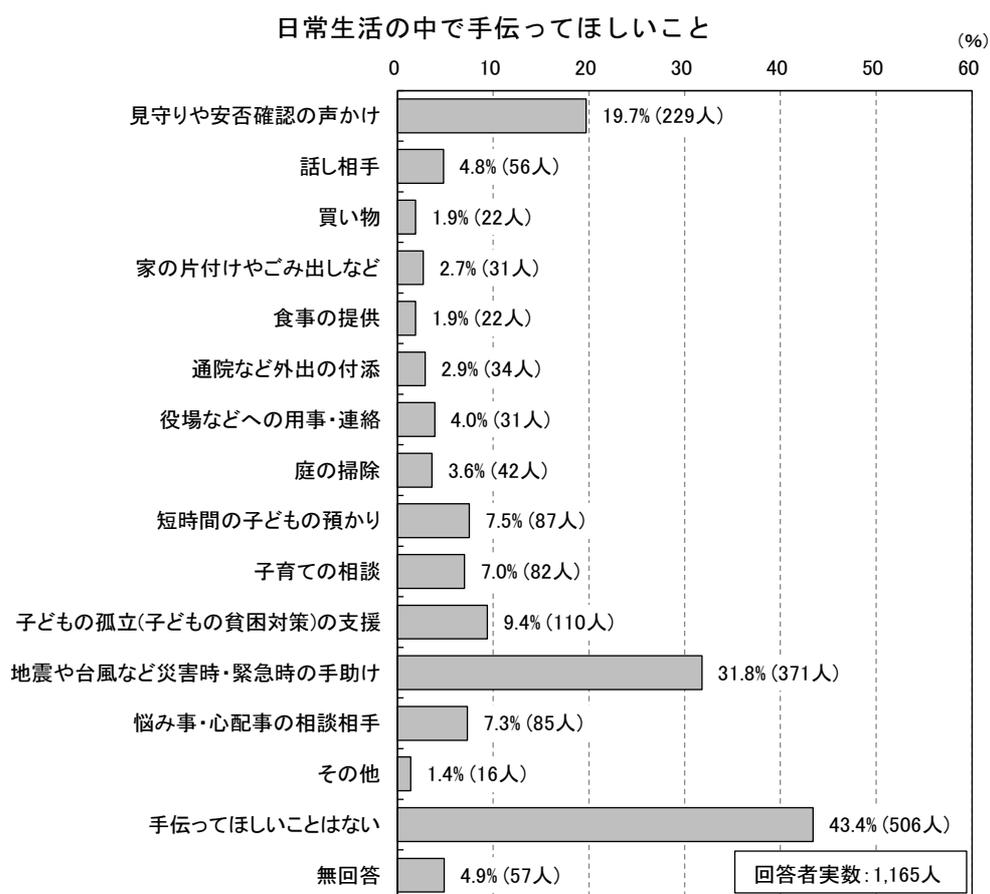
	回答者実数	防犯者情報の共有など	地域の見回り、不審	伝い冠婚葬祭などの手	悩み、心配事の相談	その他	特にな	無回答
乳児	58人	48.3% (28人)	1.7% (1人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
幼児	201人	47.3% (95人)	0.5% (1人)	5.5% (11人)	1.5% (3人)	7.5% (15人)	0.5% (1人)	
高齢者	343人	39.7% (136人)	4.1% (14人)	7.9% (27人)	0.0% (0人)	5.2% (18人)	1.7% (6人)	
要介護者	131人	42.0% (55人)	1.5% (2人)	6.1% (8人)	0.8% (1人)	6.1% (8人)	2.3% (3人)	
障がい者	116人	28.4% (33人)	0.9% (1人)	12.1% (14人)	0.0% (0人)	2.6% (3人)	5.2% (6人)	
小学生	140人	52.1% (73人)	0.7% (1人)	7.1% (10人)	1.4% (2人)	4.3% (6人)	2.9% (4人)	
中・高校生	113人	52.2% (59人)	1.8% (2人)	6.2% (7人)	0.0% (0人)	2.7% (3人)	1.8% (2人)	
専門・大学生	140人	37.9% (53人)	1.4% (2人)	4.3% (6人)	0.0% (0人)	7.1% (10人)	1.4% (2人)	
いずれもいない	277人	42.2% (117人)	1.8% (5人)	5.8% (16人)	0.7% (2人)	7.6% (21人)	4.3% (12人)	

(15) 日常生活の中で手伝ってほしいこと（複数回答）

問23 あなたは、地域の方に日常生活のなかで手伝ってほしいと思っていることがありますか。

地域の方に日常生活の中で手伝ってほしいことについて尋ねたところ、「手伝ってほしいことはない」と回答した人の割合が43.4%と最も高く、「無回答」の4.9%を合わせると48.3%と半数近くにのぼりますが、残りの51.7%の人は具体的なニーズをあげています。

具体的な内容は、「地震や台風など災害時・緊急時の手助け」と回答した人の割合が31.8%と最も高く、次いで「見守りや安否確認の声かけ」が19.7%で、この2つの手伝いを希望する人が特に多い結果となっています。



同居家族別にみると、同居の家族によらず「手伝ってほしいことはない」「地震や台風など災害時・緊急時の手助け」と回答した人の割合が高く、「乳児」、「幼児」、「高齢者」、「要介護者」、「障がい者」、「小学生」、「中・高校生」のいる世帯では、「見守りや安否確認の声かけ」も2割程度と比較的に高くなっています。

また、「乳児」のいる世帯では、「短時間の子どもの預かり」が34.5%、「子育ての相談」が20.7%、「子どもの孤立（子どもの貧困対策）の支援」が20.7%と、それぞれ高くなっています。

日常生活の中で手伝ってほしいこと（同居家族別）

	回答者実数	見守りや安否確認の声かけ	話し相手	買い物	家の片付けやごみ出しなど	食事の提供	通院など外出の付添	役場などへの用事・連絡	庭の掃除
乳児	58人	19.0% (11人)	1.7% (1人)	0.0% (0人)	3.4% (2人)	6.9% (4人)	1.7% (1人)	1.7% (1人)	3.4% (2人)
幼児	201人	22.4% (45人)	1.5% (3人)	1.0% (2人)	2.0% (4人)	3.0% (6人)	1.5% (3人)	3.0% (6人)	2.0% (4人)
高齢者	343人	19.0% (65人)	5.0% (17人)	0.6% (2人)	2.3% (8人)	1.7% (6人)	3.2% (11人)	3.8% (13人)	3.5% (12人)
要介護者	131人	26.0% (34人)	6.1% (8人)	4.6% (6人)	3.1% (4人)	2.3% (3人)	8.4% (11人)	8.4% (11人)	5.3% (7人)
障がい者	116人	22.4% (26人)	7.8% (9人)	4.3% (5人)	3.4% (4人)	2.6% (3人)	8.6% (10人)	6.9% (8人)	8.6% (10人)
小学生	140人	20.7% (29人)	4.3% (6人)	0.7% (1人)	2.9% (4人)	2.1% (3人)	2.9% (4人)	2.1% (3人)	3.6% (5人)
中・高校生	113人	21.2% (24人)	3.5% (4人)	1.8% (2人)	2.7% (3人)	2.7% (3人)	2.7% (3人)	1.8% (2人)	5.3% (6人)
専門・大学生	140人	15.0% (21人)	5.0% (7人)	2.9% (4人)	2.1% (3人)	2.1% (3人)	1.4% (2人)	3.6% (5人)	2.9% (4人)
いずれもいない	277人	15.9% (44人)	5.4% (15人)	1.8% (5人)	3.6% (10人)	0.7% (2人)	1.4% (4人)	3.2% (9人)	4.3% (12人)

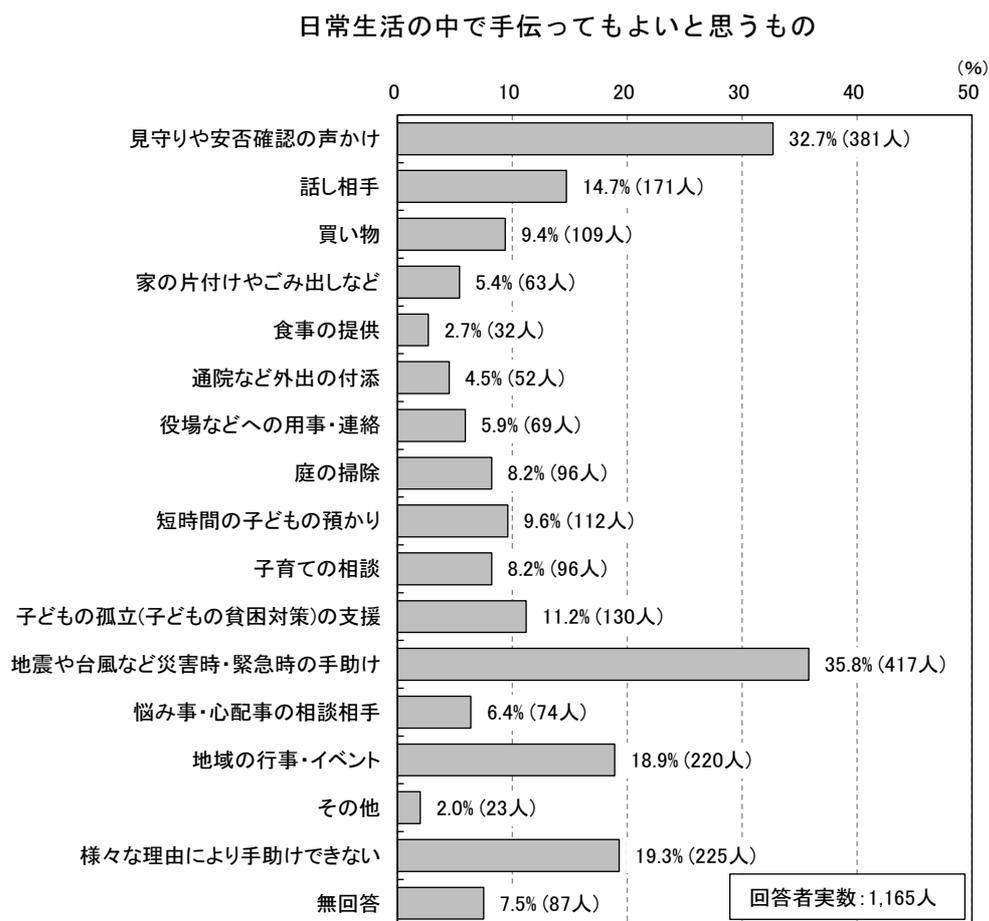
	回答者実数	短時間の子ども預かり	子育ての相談	子どもの孤立（子どもの貧困対策）の支援	地震や台風など災害時・緊急時の手助け	悩み事・心配事の相談相手	その他	手伝ってほしいことはない	無回答
乳児	58人	34.5% (20人)	20.7% (12人)	20.7% (12人)	39.7% (23人)	3.4% (2人)	0.0% (0人)	22.4% (13人)	0.0% (0人)
幼児	201人	18.4% (37人)	15.4% (31人)	15.4% (31人)	36.8% (74人)	8.0% (16人)	1.5% (3人)	34.3% (69人)	3.5% (7人)
高齢者	343人	7.3% (25人)	8.2% (28人)	9.9% (34人)	33.5% (115人)	7.9% (27人)	1.7% (6人)	43.4% (149人)	4.1% (14人)
要介護者	131人	4.6% (6人)	6.9% (9人)	15.3% (20人)	43.5% (57人)	12.2% (16人)	3.1% (4人)	26.7% (35人)	6.1% (8人)
障がい者	116人	4.3% (5人)	1.7% (2人)	8.6% (10人)	31.9% (37人)	13.8% (16人)	1.7% (2人)	34.5% (40人)	6.9% (8人)
小学生	140人	8.6% (12人)	8.6% (12人)	12.9% (18人)	26.4% (37人)	5.7% (8人)	1.4% (2人)	45.7% (64人)	3.6% (5人)
中・高校生	113人	5.3% (6人)	5.3% (6人)	8.0% (9人)	29.2% (33人)	7.1% (8人)	0.9% (1人)	49.6% (56人)	7.1% (8人)
専門・大学生	140人	5.0% (7人)	5.7% (8人)	7.9% (11人)	27.1% (38人)	6.4% (9人)	0.0% (0人)	52.1% (73人)	4.3% (6人)
いずれもいない	277人	4.0% (11人)	3.2% (9人)	5.4% (15人)	30.0% (83人)	5.4% (15人)	1.8% (5人)	49.5% (137人)	6.1% (17人)

(16) 日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（複数回答）

問24 あなたは、地域の方へ日常生活のなかで手伝ってもよいと思うものは何ですか。

地域の方へ日常生活の中で手伝ってもよいと思うものについて尋ねたところ、「地震や台風など災害時・緊急時の手助け」の割合が35.8%と最も高く、次いで「見守りや安否確認の声かけ」が32.7%となっています。

一方、「様々な理由により手助けできない」が19.3%となっています。



年代別でみると、全ての年代で「見守りや安否確認の声かけ」と「地震や台風など災害時、緊急時の手助け」の割合が高くなっています。また、「70代」と「80代以上」を除くすべての年代で「地域の行事・イベント」の割合が高くなっています。

一方、「70代」と「80代以上」の3割程度が「様々な理由により手助けできない」と回答しています。

日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（年代別）

	回答者実数	見守りや安否確認の声かけ	話し相手	買い物	家の片付けやごみ出しなど	食事の提供	通院など外出の付添	役場などへの用事・連絡	庭の掃除	短時間の子ども預かり
20代	115人	30.4% (35人)	16.5% (19人)	14.8% (17人)	4.3% (5人)	5.2% (6人)	5.2% (6人)	7.0% (8人)	7.8% (9人)	16.5% (19人)
30代	198人	39.9% (79人)	14.6% (29人)	11.6% (23人)	6.6% (13人)	3.5% (7人)	4.5% (9人)	7.1% (14人)	8.1% (16人)	16.7% (33人)
40代	226人	32.7% (74人)	12.8% (29人)	11.9% (27人)	5.3% (12人)	3.1% (7人)	4.0% (9人)	5.3% (12人)	7.1% (16人)	11.1% (25人)
50代	180人	38.3% (69人)	14.4% (26人)	9.4% (17人)	6.1% (11人)	2.8% (5人)	6.7% (12人)	6.7% (12人)	7.8% (14人)	8.9% (16人)
60代	186人	32.8% (61人)	15.6% (29人)	6.5% (12人)	5.4% (10人)	1.6% (3人)	5.9% (11人)	6.5% (12人)	9.7% (18人)	7.0% (13人)
70代	164人	25.0% (41人)	12.2% (20人)	4.9% (8人)	4.9% (8人)	1.8% (3人)	1.8% (3人)	2.4% (4人)	9.1% (15人)	2.4% (4人)
80代以上	94人	22.3% (21人)	20.2% (19人)	5.3% (5人)	3.2% (3人)	1.1% (1人)	2.1% (2人)	7.4% (7人)	8.5% (8人)	2.1% (2人)

	回答者実数	子育ての相談	子どもの孤立（子どもの貧困対策）の支援	子どもの孤立時の手助け	地震や台風など災害時、緊急時の手助け	悩み事・心配事の相談相手	地域の行事・イベント	その他	様々な理由にできない	無回答
20代	115人	9.6% (11人)	16.5% (19人)	34.8% (40人)	7.8% (9人)	21.7% (25人)	0.0% (0人)	13.0% (15人)	6.1% (7人)	
30代	198人	14.6% (29人)	19.2% (38人)	39.9% (79人)	7.1% (14人)	22.2% (44人)	0.5% (1人)	12.6% (25人)	4.0% (8人)	
40代	226人	11.5% (26人)	14.2% (32人)	40.7% (92人)	9.3% (21人)	21.7% (49人)	1.3% (3人)	20.8% (47人)	3.5% (8人)	
50代	180人	9.4% (17人)	10.0% (18人)	41.1% (74人)	6.7% (12人)	19.4% (35人)	1.7% (3人)	16.7% (30人)	3.9% (7人)	
60代	186人	5.4% (10人)	8.6% (16人)	36.6% (68人)	4.8% (9人)	19.4% (36人)	1.1% (2人)	17.2% (32人)	8.6% (16人)	
70代	164人	0.6% (1人)	3.0% (5人)	26.2% (43人)	2.4% (4人)	9.1% (15人)	4.3% (7人)	29.9% (49人)	15.9% (26人)	
80代以上	94人	2.1% (2人)	2.1% (2人)	21.3% (20人)	5.3% (5人)	17.0% (16人)	7.4% (7人)	28.7% (27人)	16.0% (15人)	

同居家族別にみると、全ての世帯で「見守りや安否確認の声かけ」と「地震や台風など災害時、緊急時の手助け」の割合が高くなっています。

日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（同居家族別）

	回答者実数	見守りや安否確認の声かけ	話し相手	買い物	家の片付けやごみ出しなど	食事の提供	通院など外出の付添	役場などへの用事・連絡	庭の掃除	短時間の子ども預かり
乳児	58人	36.2% (21人)	10.3% (6人)	12.1% (7人)	8.6% (5人)	6.9% (4人)	3.4% (2人)	8.6% (5人)	10.3% (6人)	20.7% (12人)
幼児	201人	37.8% (76人)	12.4% (25人)	10.4% (21人)	2.5% (5人)	3.0% (6人)	3.0% (6人)	7.0% (14人)	7.5% (15人)	16.4% (33人)
高齢者	343人	33.2% (114人)	18.7% (64人)	7.9% (27人)	6.1% (21人)	2.9% (10人)	3.8% (13人)	4.1% (14人)	8.2% (28人)	9.3% (32人)
要介護者	131人	36.6% (48人)	15.3% (20人)	12.2% (16人)	4.6% (6人)	3.1% (4人)	4.6% (6人)	9.9% (13人)	7.6% (10人)	13.0% (17人)
障がい者	116人	34.5% (40人)	19.0% (22人)	11.2% (13人)	3.4% (4人)	3.4% (4人)	6.0% (7人)	4.3% (5人)	10.3% (12人)	7.8% (9人)
小学生	140人	29.3% (41人)	13.6% (19人)	9.3% (13人)	5.0% (7人)	2.9% (4人)	2.1% (3人)	5.0% (7人)	6.4% (9人)	13.6% (19人)
中・高校生	113人	31.9% (36人)	15.0% (17人)	7.1% (8人)	4.4% (5人)	1.8% (2人)	2.7% (3人)	2.7% (3人)	8.0% (9人)	9.7% (11人)
専門・大学生	140人	35.0% (49人)	17.1% (24人)	12.1% (17人)	7.9% (11人)	2.9% (4人)	7.9% (11人)	8.6% (12人)	5.7% (8人)	13.6% (19人)
いずれもいない	277人	26.7% (74人)	11.9% (33人)	7.2% (20人)	5.4% (15人)	2.5% (7人)	4.7% (13人)	4.3% (12人)	10.5% (29人)	6.5% (18人)

	回答者実数	子育ての相談	子どもの孤立(子どもの貧困対策)の支援	子どもの孤立(子ども)の支援	地震や台風など災害時、緊急時の手助け	悩み事・心配事の相談相手	地域の行事・イベント	その他	様々な理由により手助けできない	無回答
乳児	58人	22.4% (13人)	17.2% (10人)	31.0% (18人)	10.3% (6人)	20.7% (12人)	1.7% (1人)	15.5% (9人)	3.4% (2人)	
幼児	201人	16.4% (33人)	19.9% (40人)	35.8% (72人)	7.5% (15人)	24.4% (49人)	2.0% (4人)	17.9% (36人)	3.0% (6人)	
高齢者	343人	9.6% (33人)	9.0% (31人)	34.4% (118人)	7.9% (27人)	19.2% (66人)	1.7% (6人)	21.0% (72人)	6.4% (22人)	
要介護者	131人	9.9% (13人)	15.3% (20人)	42.7% (56人)	9.2% (12人)	31.3% (41人)	0.8% (1人)	21.4% (28人)	4.6% (6人)	
障がい者	116人	6.9% (8人)	8.6% (10人)	32.8% (38人)	11.2% (13人)	19.8% (23人)	0.9% (1人)	25.0% (29人)	6.0% (7人)	
小学生	140人	12.1% (17人)	17.9% (25人)	32.1% (45人)	5.7% (8人)	20.0% (28人)	0.7% (1人)	22.1% (31人)	5.0% (7人)	
中・高校生	113人	8.8% (10人)	9.7% (11人)	36.3% (41人)	7.1% (8人)	16.8% (19人)	2.7% (3人)	20.4% (23人)	7.1% (8人)	
専門・大学生	140人	5.7% (8人)	15.7% (22人)	40.0% (56人)	8.6% (12人)	24.3% (34人)	0.0% (0人)	12.1% (17人)	4.3% (6人)	
いずれもいない	277人	4.3% (12人)	7.6% (21人)	33.2% (92人)	2.9% (8人)	12.6% (35人)	3.6% (10人)	24.2% (67人)	10.5% (29人)	

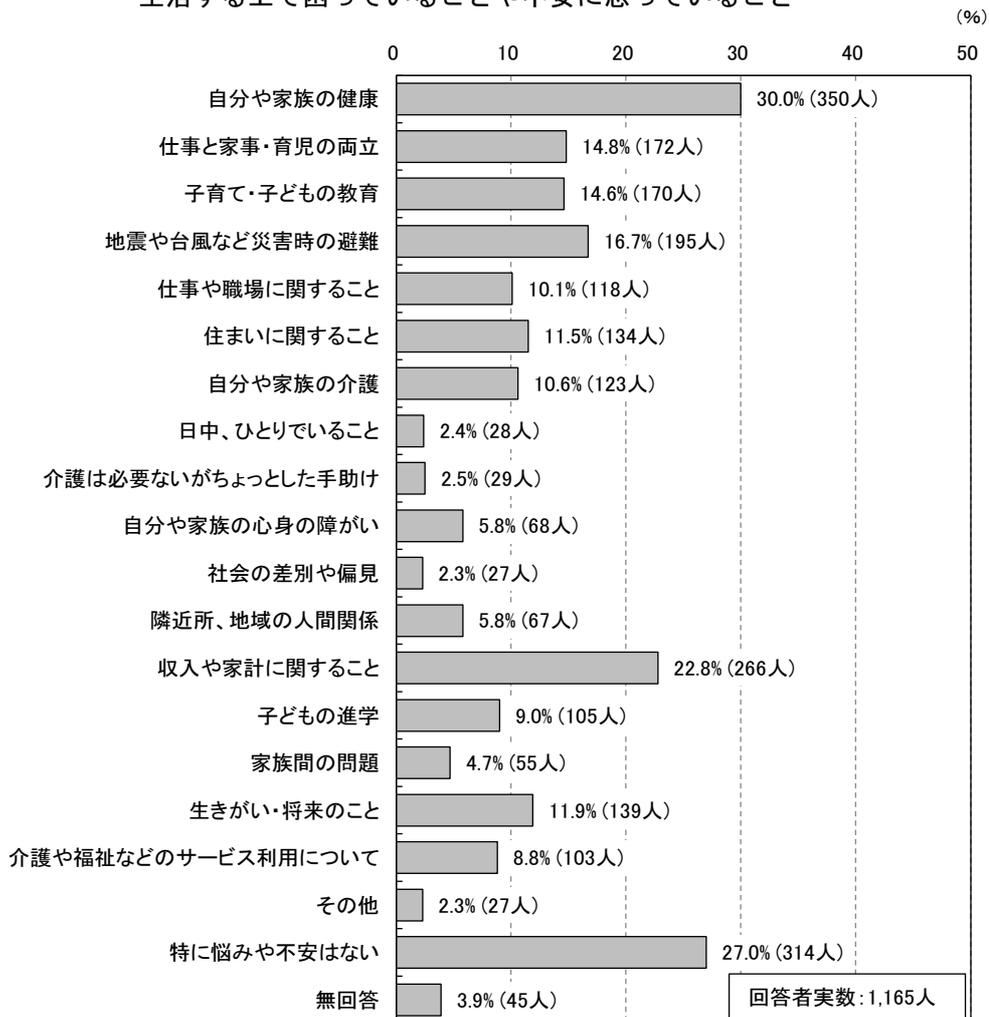
3. 困っていることや相談について

(1) 生活する上で困っていることや不安に思っていること（複数回答）

問25 あなたは、生活する上で困っていることや不安に思っていることがありますか。

生活する上で困っていることや不安に思っていることを尋ねたところ、「自分や家族の健康」の割合が30.0%と最も高く、次いで「特に悩みや不安はない」が27.0%、「収入や家計に関すること」が22.8%、「地震や台風など災害時の避難」が16.7%、「仕事と家事・育児の両立」が14.8%の順となっています。

生活する上で困っていることや不安に思っていること



●前回アンケート結果より

- ・生活する上で困っていることや不安に思っていることについては、「自分や家族の健康」が29.4%、「隣近所、地域の人間関係」が19.8%、「地震や台風などの災害時の避難」が17.0%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「自分や家族の健康」の割合が高くなっています。「20代」から「50代」では「収入や家計に関すること」、「60代」から「80代以上」では「地震や台風など災害時の避難」の割合が高くなっています。

「30代」を除くすべての年代で、「特に悩みや不安はない」の割合が2割台半ばから3割台半ばとなっています。

生活する上で困っていることや不安に思っていること（年代別）

	回答者実数	健康 自分や家族の	仕事と家事・ 育児の両立	子育て・子 どもの教育	地震や台風など 災害時の避難	仕事や職場に 関すること	住まいに関す ること	介護 自分や家族の	日中、ひとり でいること	介護は必要ないが よっとした手助け	自分や家族の 心身の障がい
20代	115人	22.6% (26人)	20.9% (24人)	17.4% (20人)	15.7% (18人)	20.9% (24人)	11.3% (13人)	4.3% (5人)	0.0% (0人)	2.6% (3人)	2.6% (3人)
30代	198人	29.3% (58人)	41.4% (82人)	37.9% (75人)	20.7% (41人)	12.6% (25人)	16.2% (32人)	5.1% (10人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	3.0% (6人)
40代	226人	25.7% (58人)	21.2% (48人)	24.3% (55人)	13.3% (30人)	13.7% (31人)	11.5% (26人)	8.0% (18人)	0.9% (2人)	0.9% (2人)	8.4% (19人)
50代	180人	32.8% (59人)	6.7% (12人)	6.7% (12人)	12.8% (23人)	13.3% (24人)	16.7% (30人)	13.3% (24人)	0.0% (0人)	1.1% (2人)	7.8% (14人)
60代	186人	32.3% (60人)	1.1% (2人)	2.7% (5人)	17.2% (32人)	4.3% (8人)	9.1% (17人)	12.9% (24人)	3.8% (7人)	3.8% (7人)	3.2% (6人)
70代	164人	34.1% (56人)	1.8% (3人)	1.2% (2人)	19.5% (32人)	2.4% (4人)	6.7% (11人)	12.8% (21人)	4.9% (8人)	4.3% (7人)	6.1% (10人)
80代以上	94人	35.1% (33人)	1.1% (1人)	1.1% (1人)	20.2% (19人)	2.1% (2人)	5.3% (5人)	22.3% (21人)	11.7% (11人)	8.5% (8人)	10.6% (10人)

	回答者実数	社会の差別や 偏見	隣近所、地域 の人間関係	収入や家計に 関すること	子どもの進学	家族間の問題	生きがい・将 来のこと	介護や福祉などのサ ービス利用について	その他	特に悩みや不 安はない	無回答
20代	115人	0.9% (1人)	2.6% (3人)	30.4% (35人)	7.8% (9人)	1.7% (2人)	20.0% (23人)	2.6% (3人)	0.9% (1人)	33.9% (39人)	0.9% (1人)
30代	198人	4.5% (9人)	8.1% (16人)	35.9% (71人)	19.2% (38人)	4.0% (8人)	12.1% (24人)	3.5% (7人)	1.5% (3人)	18.7% (37人)	3.5% (7人)
40代	226人	4.0% (9人)	4.9% (11人)	32.7% (74人)	19.5% (44人)	5.8% (13人)	10.2% (23人)	8.0% (18人)	1.3% (3人)	25.2% (57人)	1.8% (4人)
50代	180人	1.7% (3人)	3.3% (6人)	23.9% (43人)	6.7% (12人)	8.3% (15人)	17.2% (31人)	10.0% (18人)	2.2% (4人)	27.8% (50人)	3.9% (7人)
60代	186人	1.1% (2人)	8.1% (15人)	12.4% (23人)	0.0% (0人)	3.2% (6人)	12.4% (23人)	8.6% (16人)	2.7% (5人)	29.0% (54人)	5.4% (10人)
70代	164人	1.2% (2人)	4.9% (8人)	7.9% (13人)	0.0% (0人)	3.7% (6人)	6.1% (10人)	13.4% (22人)	6.1% (10人)	31.7% (52人)	6.1% (10人)
80代以上	94人	1.1% (1人)	8.5% (8人)	7.4% (7人)	2.1% (2人)	5.3% (5人)	5.3% (5人)	19.1% (18人)	1.1% (1人)	25.5% (24人)	6.4% (6人)

●前回アンケート結果より

- ・年代別にみると、「自分や家族の健康」は年代が高くなると割合も高くなり、「80代」では41.1%と高くなっています。
- ・「隣近所、地域の間人関係」は「30代」、「40代」が20%半ばと高くなっています。そのほか、「地震や台風など災害時の避難」は「30代」が24.2%で、そのほかの年代は10%台となっています。
- ・「仕事と家事・育児の両立」、「子育て・子どもの教育」、「仕事や職場に関すること」は若い世代が高くなっています。「自分や家族の介護」は「50代」が10.3%と最も高くなっています。当然ではありますが、年齢を重ねる中で、その時々々の心身の状態や生活状況、意識の変化等により、不安の内容が移り変わっていく様子が見られます。

同居家族別にみると、全ての世帯において「収入や家計に関すること」の割合が高くなっています。また、「乳児」、「幼児」、「小学生」がいる世帯以外においては「自分や家族の健康」の割合が高くなっています。「乳児」や「幼児」がいる世帯では「仕事と家事・育児の両立」、「子育て・子どもの教育」の割合が最も高く、「高齢者」、「要介護者」、「障がい者」、「中・高校生」のいる世帯では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。

なお、「専門・大学生」のいる世帯や「いずれもない」世帯では、「特に悩みや不安はない」の割合が最も高くなっています。

生活する上で困っていることや不安に思っていること（同居家族別）

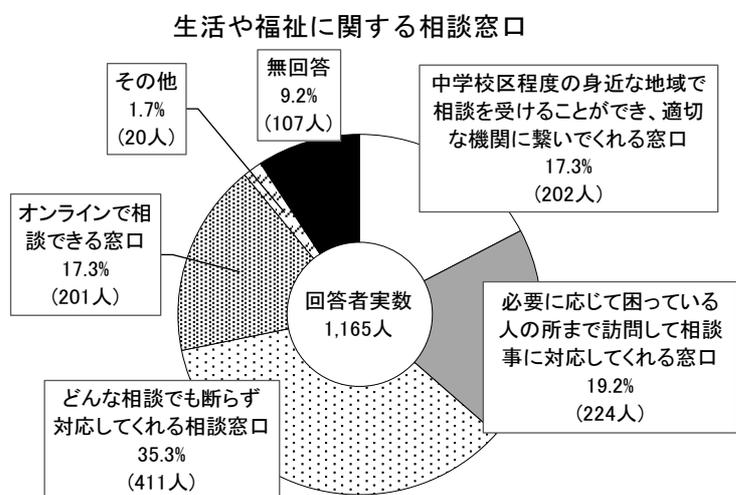
	回答者 実数	健康 自分や家族の	仕事と家事・ 育児の両立	子育て・子 どもの教育	地震や台風など 災害時の避難	仕事や職場に 関すること	住まいに関 すること	自分や家族の 介護	日中、ひとり でいること	介護は必要ないが よっとした手助け	自分や家族の 心身の障がい
乳児	58人	22.4% (13人)	62.1% (36人)	55.2% (32人)	20.7% (12人)	17.2% (10人)	22.4% (13人)	1.7% (1人)	1.7% (1人)	0.0% (0人)	1.7% (1人)
幼児	201人	23.4% (47人)	33.3% (67人)	38.3% (77人)	18.9% (38人)	12.9% (26人)	15.9% (32人)	5.5% (11人)	0.0% (0人)	1.0% (2人)	6.5% (13人)
高齢者	343人	31.8% (109人)	17.2% (59人)	17.2% (59人)	16.0% (55人)	10.2% (35人)	13.7% (47人)	12.8% (44人)	2.6% (9人)	1.2% (4人)	7.6% (26人)
要介護者	131人	38.9% (51人)	12.2% (16人)	14.5% (19人)	19.8% (26人)	11.5% (15人)	11.5% (15人)	29.0% (38人)	1.5% (2人)	3.1% (4人)	16.8% (22人)
障がい者	116人	43.1% (50人)	7.8% (9人)	9.5% (11人)	16.4% (19人)	8.6% (10人)	12.9% (15人)	20.7% (24人)	0.0% (0人)	5.2% (6人)	22.4% (26人)
小学生	140人	20.7% (29人)	21.4% (30人)	23.6% (33人)	15.0% (21人)	8.6% (12人)	10.0% (14人)	5.0% (7人)	0.0% (0人)	0.7% (1人)	7.1% (10人)
中・高 校生	113人	32.7% (37人)	17.7% (20人)	15.9% (18人)	15.9% (18人)	11.5% (13人)	8.8% (10人)	13.3% (15人)	0.9% (1人)	2.7% (3人)	7.1% (8人)
専門・ 大学生	140人	22.9% (32人)	10.7% (15人)	9.3% (13人)	11.4% (16人)	7.9% (11人)	8.6% (12人)	7.9% (11人)	1.4% (2人)	1.4% (2人)	2.9% (4人)
いずれも いない	277人	28.9% (80人)	5.8% (16人)	2.5% (7人)	15.5% (43人)	10.1% (28人)	9.7% (27人)	9.0% (25人)	4.0% (11人)	4.3% (12人)	2.5% (7人)

	回答者実数	偏見 社会の差別や	隣近所、地域 の人間関係	収入や家計に 関すること	子どもの進学	家族間の問題	生きがい・将来のこと	介護や福祉などのサービス利用について	その他	特に悩みや不安はない	無回答
乳児	58人	1.7% (1人)	6.9% (4人)	36.2% (21人)	24.1% (14人)	3.4% (2人)	8.6% (5人)	0.0% (0人)	1.7% (1人)	8.6% (5人)	1.7% (1人)
幼児	201人	3.0% (6人)	6.5% (13人)	33.8% (68人)	22.4% (45人)	3.0% (6人)	10.9% (22人)	6.0% (12人)	0.5% (1人)	21.4% (43人)	1.0% (2人)
高齢者	343人	2.9% (10人)	5.2% (18人)	21.3% (73人)	9.3% (32人)	4.4% (15人)	11.7% (40人)	8.2% (28人)	4.1% (14人)	26.8% (92人)	3.2% (11人)
要介護者	131人	3.1% (4人)	4.6% (6人)	23.7% (31人)	16.8% (22人)	3.8% (5人)	16.0% (21人)	14.5% (19人)	3.8% (5人)	21.4% (28人)	2.3% (3人)
障がい者	116人	3.4% (4人)	6.9% (8人)	22.4% (26人)	6.9% (8人)	5.2% (6人)	18.1% (21人)	16.4% (19人)	5.2% (6人)	19.8% (23人)	4.3% (5人)
小学生	140人	4.3% (6人)	5.0% (7人)	30.0% (42人)	13.6% (19人)	5.0% (7人)	12.9% (18人)	7.1% (10人)	1.4% (2人)	26.4% (37人)	4.3% (6人)
中・高校生	113人	3.5% (4人)	4.4% (5人)	31.9% (36人)	18.6% (21人)	3.5% (4人)	6.2% (7人)	10.6% (12人)	0.9% (1人)	23.9% (27人)	4.4% (5人)
専門・大学生	140人	0.7% (1人)	5.0% (7人)	22.1% (31人)	7.1% (10人)	2.9% (4人)	10.0% (14人)	5.0% (7人)	0.7% (1人)	38.6% (54人)	2.9% (4人)
いずれもない	277人	2.9% (8人)	5.4% (15人)	18.8% (52人)	1.4% (4人)	6.9% (19人)	13.0% (36人)	10.8% (30人)	2.2% (6人)	30.3% (84人)	5.4% (15人)

(2) 生活や福祉に関する相談窓口

問26 生活や福祉に関する相談のために、どんな窓口があるといいと思いますか。

生活や福祉に関する相談のためにどんな窓口があるといいか尋ねたところ、「どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口」の割合が35.3%と最も高く、次いで「必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口」が19.2%、「中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口」と「オンラインで相談できる窓口」がそれぞれ17.3%となっています。

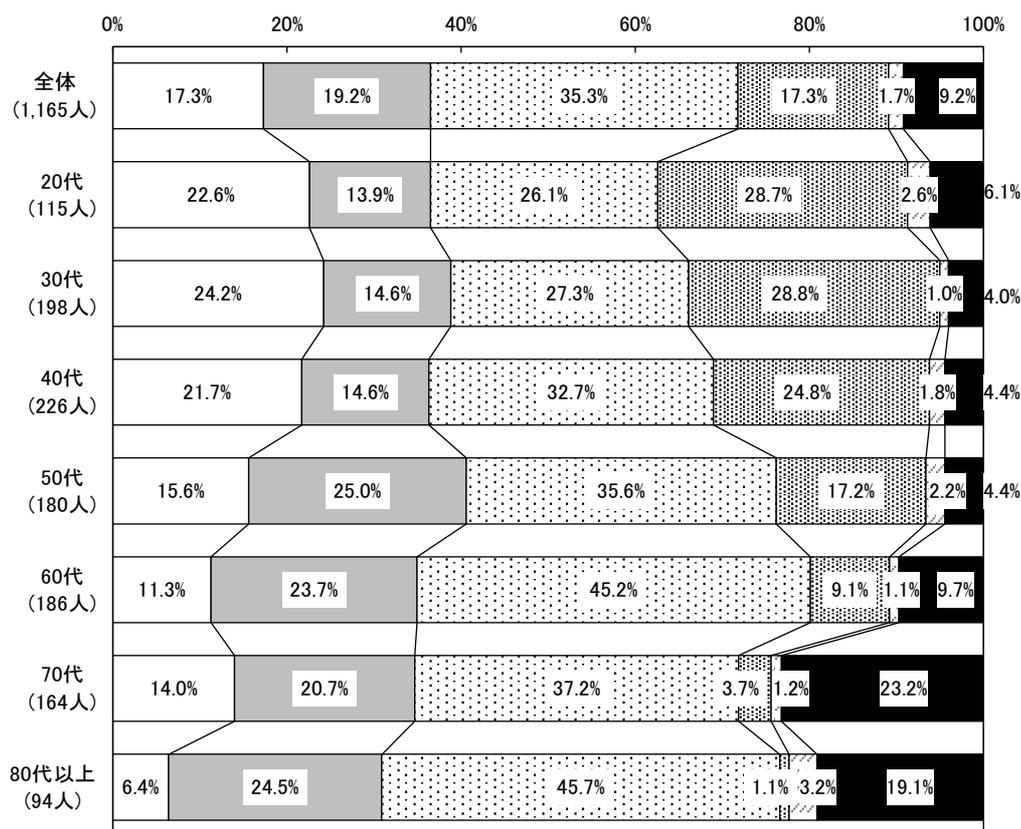


生活や福祉に関する相談窓口として希望するものを年代別にみると、「20代」と「30代」では「オンラインで相談できる窓口」と回答した人の割合が、「40代」以上の年代では「どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「50代」以上の年代では「必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談

事に対応してくれる窓口」の割合も2割台となっており、中高年がアウトリーチ型相談窓口を望んでいる様子がわかります。

生活や福祉に関する相談窓口（年代別）

- 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口
- 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口
- ▨ どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口
- ▩ オンラインで相談できる窓口
- ▧ その他



(3) 地域の相談窓口や相談員の利用意向

問27 あなたは、今後(今後も)、困っていることや不安があれば、地域(町内)の相談窓口や相談員を利用したいと思いますか。

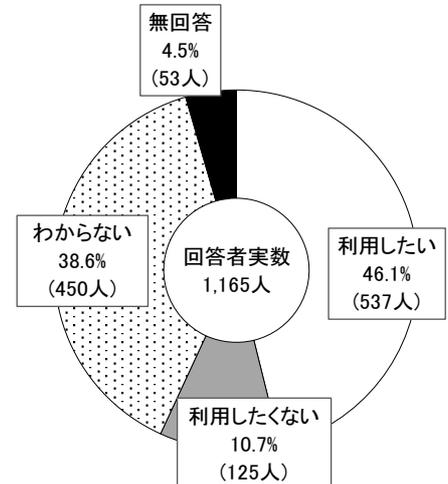
今後、困っていることや不安があれば、地域の相談窓口や相談員を利用したいと思うか尋ねたところ、「利用したい」と回答した人の割合が最も高く46.1%、次いで「わからない」が38.6%となっています。

「利用したくない」は10.7%となっています。

●前回アンケート結果より

- ・今後の地域の相談窓口・相談員の利用意向を聞いたところ、「わからない」が最も高く40.9%あり、「利用したい」は39.2%となっています。「利用したくない」は12.5%あります。

地域の相談窓口や相談員の利用意向

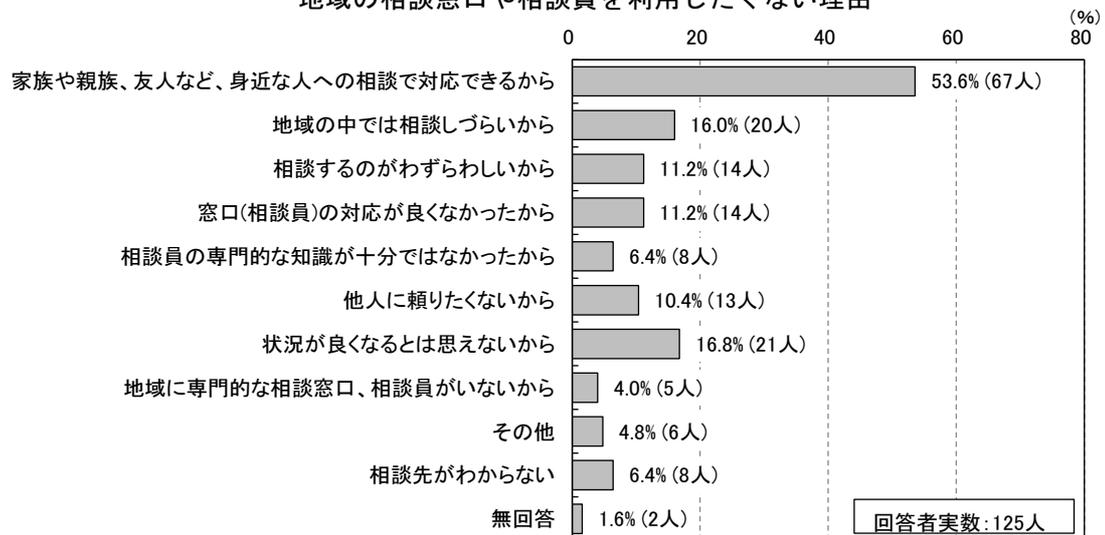


(4) 地域の相談窓口や相談員を利用したくない理由(複数回答)

問28 「利用したくない」のはどうしてですか。

「(3)地域の相談窓口や相談員の利用意向」で、「利用したくない」と答えた方にその理由を尋ねたところ、「家族や親族、友人など、身近な人への相談で対応できるから」の割合が突出して高く53.6%、次いで「状況が良くなるとは思えないから」が16.8%となっています。

地域の相談窓口や相談員を利用したくない理由



●前回アンケート結果より

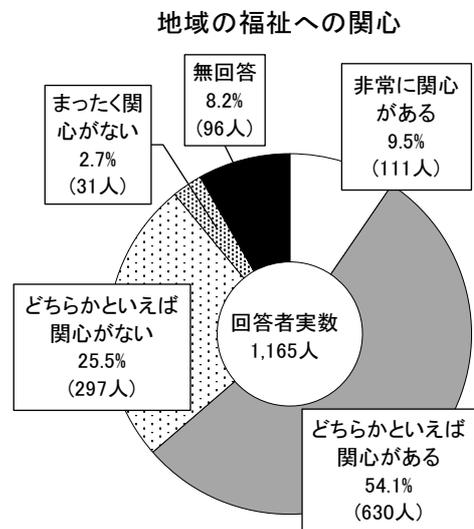
- ・今後、地域(町内)の相談窓口や相談員を「利用したくない」と答えた理由としては、「家族や親族、友人など、身近な人への相談で対応できるから」が突出して高く66.7%、次いで「地域の中では相談しづらいから」が17.8%、「他人に頼りたくないから」が16.3%となっています。

4. 福祉への関心と情報について

(1) 地域の福祉への関心

問29 あなたは、地域の福祉に関心をお持ちですか。

地域の福祉に関心を持っているか尋ねたところ、「どちらかといえば関心がある」の割合が最も高く54.1%、「非常に関心がある」が9.5%、合わせて63.6%の方が福祉に関心があると答えています。



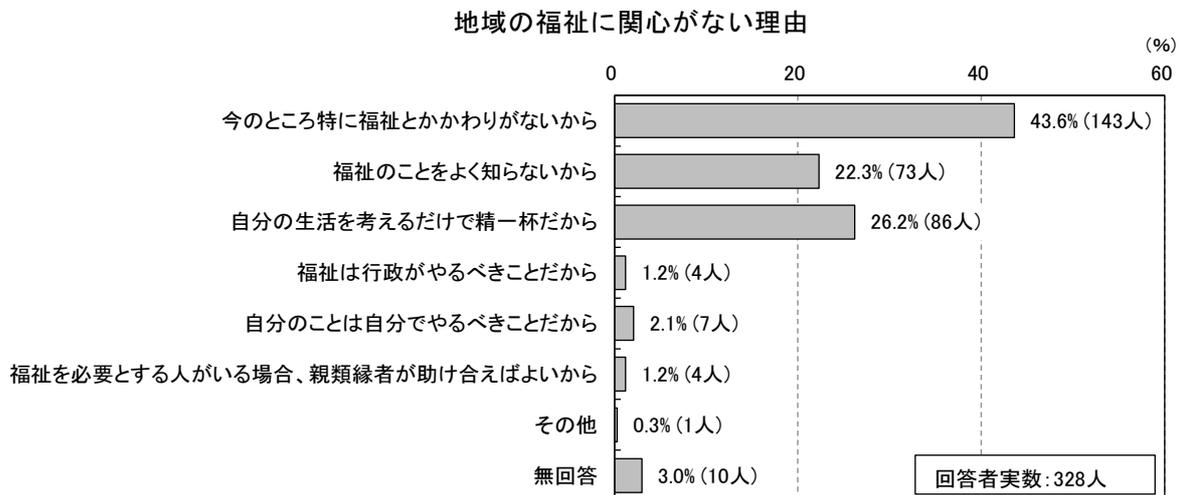
●前回アンケート結果より

- ・地域の福祉への関心については、「どちらかといえば関心がある」が最も高く52.3%と半数を占め、「非常に関心がある」の11.4%を合わせると63.7%の方が福祉に関心があると答えています。

(2) 地域の福祉に関心がない理由

問30 関心がないのはどうしてですか。

「(1)地域の福祉への関心」で、「どちらかといえば関心がない」又は「関心がない」と答えた方にその理由を尋ねたところ、「今のところ特に福祉とかかわりがないから」の割合が43.6%と最も高く、次いで「自分の生活を考えるだけで精一杯だから」が26.2%、「福祉のことをよく知らないから」が22.3%の順となっています。



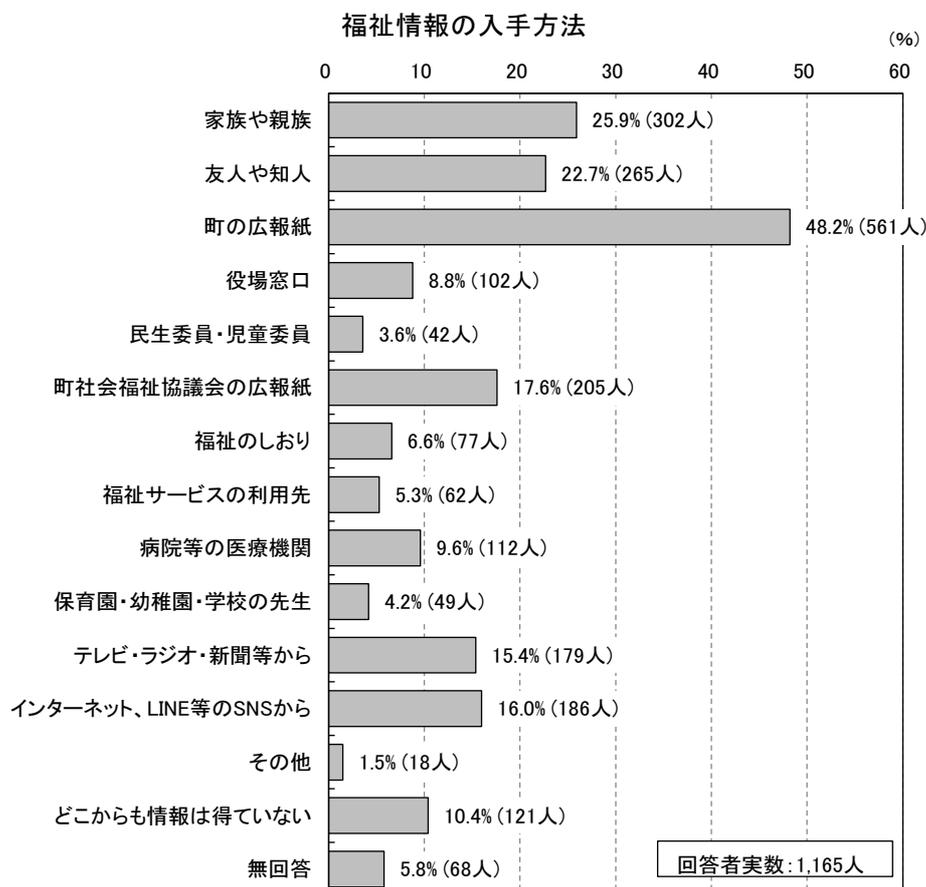
●前回アンケート結果より

- ・福祉に関して「どちらかといえば関心がない」又は「関心がない」と答えた方のその主な理由としては、「今のところ特に福祉とかかわりがないから」が49.0%と最も高く、次いで「自分の生活を考えるだけで精一杯だから」が23.7%、「福祉のことをよく知らないから」が16.3%となっています。

(3) 福祉情報の入手先（複数回答）

問31 あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。

町が発信する福祉の情報をどこから入手しているか尋ねたところ、「町の広報紙」の割合が48.2%と最も高く、次いで「家族や親族」が25.9%、「友人や知人」が22.7%、「町社会福祉協議会の広報紙」が17.6%の順となっています。



●前回アンケート結果より

- ・福祉に関する情報の入手先としては、「町の広報紙」が44.9%と最も高く、続いて「町社会福祉協議会の広報紙」、「家族や親族」が23.1%、「友人や知人」が19.9%となっています。

年代別にみると、年代に関わらず「家族や親族」、「友人や知人」、「町の広報紙」の割合が高い傾向となっています。「20代」の4割程度が「家族や親族」、「30代」と「40代」の4割前後、「50代」の5割弱、「60代」の6割弱、「70代」の6割台半ば、「80代以上」の4割台半ばが「町の広報紙」より福祉情報を入手している結果となっています。

「20代」と「30代」で「どこからも情報は得ていない」の割合が2割弱となっています。

福祉情報の入手方法（年代別）

	回答者実数	家族や親族	友人や知人	町の広報紙	役場窓口	民生委員・児童委員	町社会福祉協議会の広報紙	福祉のしおり	福祉サービスの利用先
20代	115人	43.5% (50人)	19.1% (22人)	23.5% (27人)	5.2% (6人)	0.9% (1人)	4.3% (5人)	3.5% (4人)	1.7% (2人)
30代	198人	30.8% (61人)	16.2% (32人)	39.4% (78人)	11.1% (22人)	0.0% (0人)	11.1% (22人)	3.0% (6人)	3.0% (6人)
40代	226人	22.6% (51人)	20.4% (46人)	46.5% (105人)	6.6% (15人)	2.7% (6人)	14.6% (33人)	8.8% (20人)	4.9% (11人)
50代	180人	27.8% (50人)	25.6% (46人)	48.9% (88人)	9.4% (17人)	2.8% (5人)	14.4% (26人)	5.0% (9人)	6.1% (11人)
60代	186人	19.9% (37人)	28.5% (53人)	59.7% (111人)	9.1% (17人)	5.9% (11人)	24.2% (45人)	10.8% (20人)	4.3% (8人)
70代	164人	18.3% (30人)	25.6% (42人)	65.9% (108人)	12.2% (20人)	3.0% (5人)	31.1% (51人)	6.7% (11人)	7.3% (12人)
80代以上	94人	24.5% (23人)	24.5% (23人)	46.8% (44人)	5.3% (5人)	14.9% (14人)	23.4% (22人)	6.4% (6人)	12.8% (12人)

	回答者実数	病院等の医療機関	保育園・幼稚園・学校の先生	テレビ・ラジオ・新聞等から	インターネットから	その他	どこからも情報は得ていない	無回答
20代	115人	9.6% (11人)	7.0% (8人)	12.2% (14人)	18.3% (21人)	1.7% (2人)	18.3% (21人)	6.1% (7人)
30代	198人	6.6% (13人)	11.1% (22人)	8.1% (16人)	27.8% (55人)	2.5% (5人)	17.7% (35人)	4.0% (8人)
40代	226人	11.5% (26人)	7.1% (16人)	9.7% (22人)	19.0% (43人)	1.3% (3人)	13.3% (30人)	4.0% (9人)
50代	180人	12.2% (22人)	1.1% (2人)	19.4% (35人)	18.9% (34人)	1.7% (3人)	6.7% (12人)	6.1% (11人)
60代	186人	10.8% (20人)	0.5% (1人)	15.6% (29人)	11.3% (21人)	0.0% (0人)	5.9% (11人)	7.0% (13人)
70代	164人	8.5% (14人)	0.0% (0人)	23.8% (39人)	5.5% (9人)	1.8% (3人)	5.5% (9人)	7.3% (12人)
80代以上	94人	6.4% (6人)	0.0% (0人)	25.5% (24人)	2.1% (2人)	2.1% (2人)	3.2% (3人)	8.5% (8人)

●前回アンケート結果より

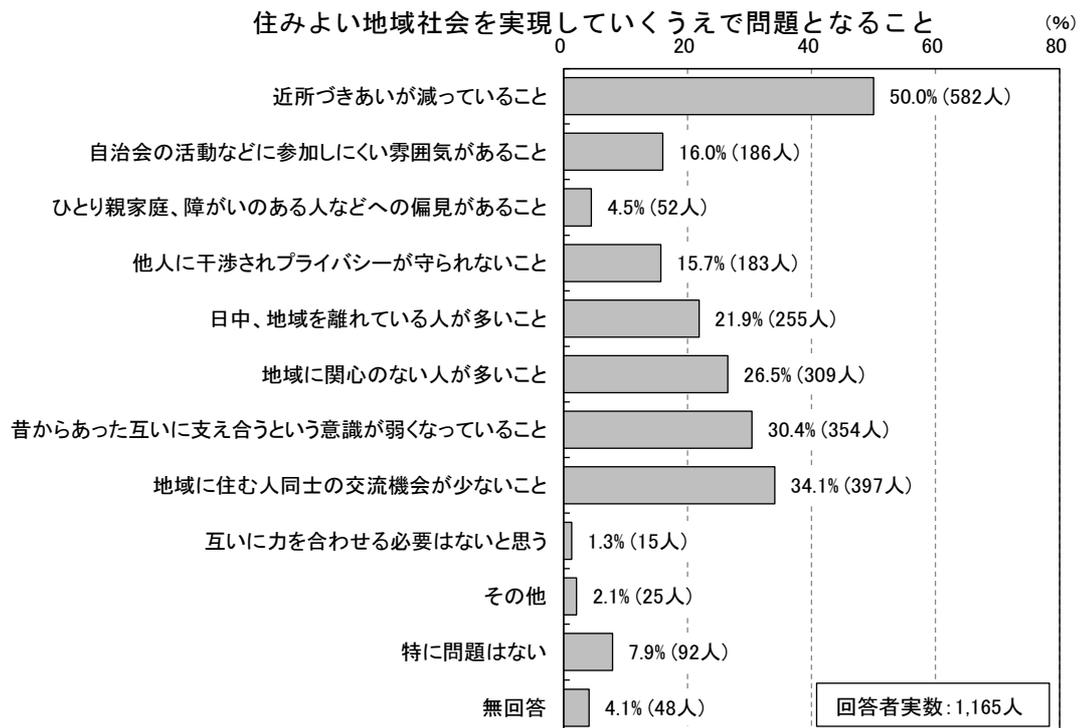
- ・「町の広報紙」は「20代」が33.3%と最も低く、そのほかの年代ではいずれも40%を越え、「60代」が52.5%と最も高くなっています。「町社会福祉協議会の広報紙」は「20代」が9.4%と最も低く、年代が高くなるほど割合も高くなり、「80代」が37.0%と高くなっています。
- ・「家族や親族」は「20代」が最も高く33.3%、次いで「80代」が高く27.4%となっています。

5. 地域福祉の推進について

(1) 住みよい地域社会を実現していくうえで問題となること（複数回答）

問32 地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで問題となることは何だとお考えですか。

地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで問題となることについて尋ねたところ、「近所づきあいが減っていること」の割合が50.0%と最も高く、次いで「地域に住む人同士の交流機会が少ないこと」が34.1%、「昔からあった互いに支え合うという意識が弱くなっていること」が30.4%、「地域に関心のない人が多いこと」が26.5%、「日中、地域を離れている人が多いこと」が21.9%の順となっています。



●前回アンケート結果より

- ・地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで問題となることについては、「近所づきあいが減っていること」が50.2%と最も高く、次に「地域に住む人同士の交流機会が少ないこと」が32.1%、「昔からあった互いに支え合うという意識が弱くなっていること」が28.9%となっています。人と人との絆が弱くなってきている状況がうかがえます。

(2) 住みよいまちづくりについて学び合う機会への参加意向

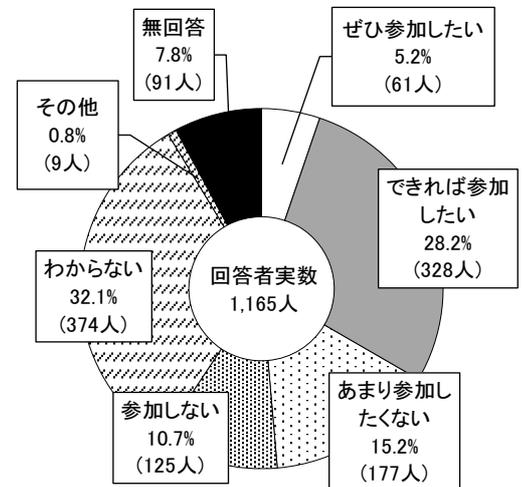
問33 あなたは、地域での住みよいまちづくりについて学び合う機会を持った場合、参加したいと思いますか。

地域での住みよいまちづくりについて学び合う機会を持った場合、参加したいと思うか尋ねたところ、「できれば参加したい」の割合が28.2%、「ぜひ参加したい」が5.2%、合わせて33.4%が参加したいと考えています。

●前回アンケート結果より

- ・地域での住みよいまちづくりについて話し合う機会を持った場合の参加については、「できれば参加したい」が30.9%と最も高く、これに「ぜひ参加したい」の4.3%を合わせると、参加したいと考えている方は35.2%となっています。

住みよいまちづくりについて
学び合う機会への参加意向

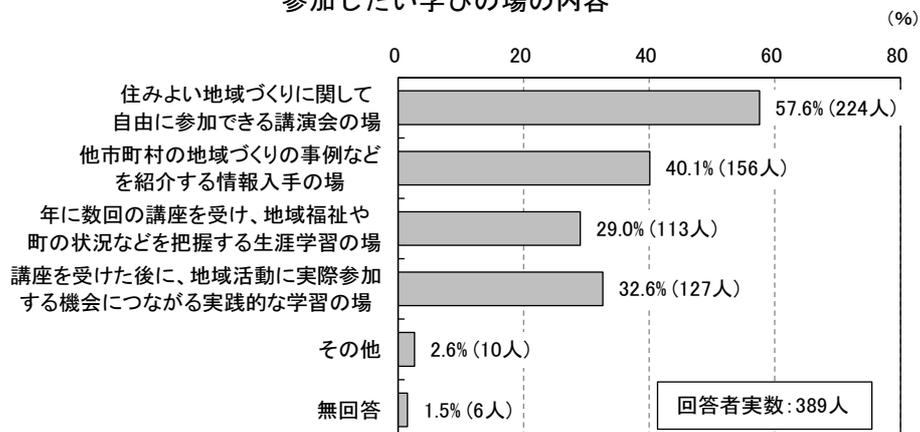


(3) 参加したい学びの場の内容（複数回答）

問34 住みよいまちづくりに関して、どんな学びの場であれば、参加したいと思いますか。

「(2)住みよいまちづくりについて学び合う機会への参加意向」で、「ぜひ参加したい」又は「できれば参加したい」と答えた方にどんな学びの場であれば参加したいと思うか尋ねたところ、「住みよい地域づくりに関して自由に参加できる講演会の場」の割合が57.6%、「他市町村の地域づくりの事例などを紹介する情報入手の場」が40.1%、「講座を受けた後に、地域活動に実際参加する機会につながる実践的な学習の場」が32.6%、「年に数回の講座を受け、地域福祉や町の状況などを把握する生涯学習の場」が29.0%の順となっています。

参加したい学びの場の内容

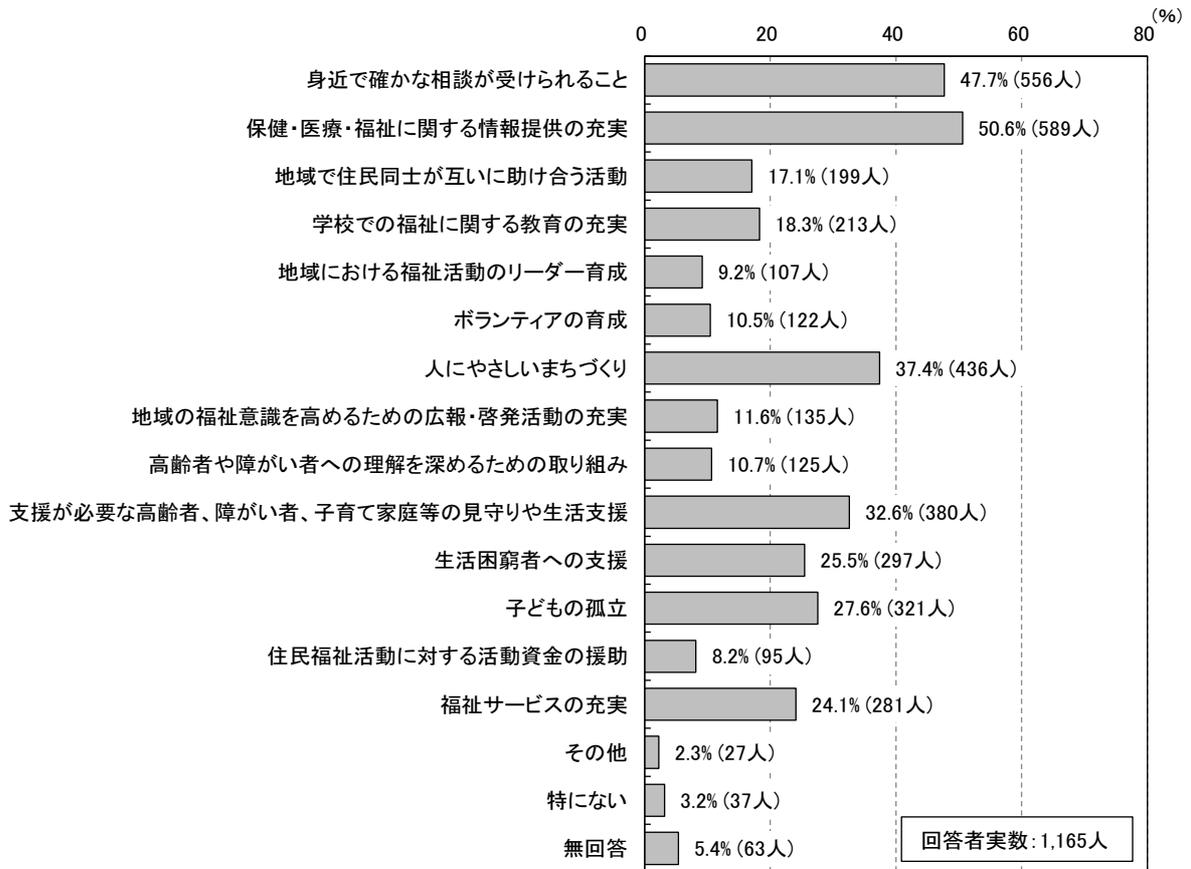


(4) 福祉の充実を図るために必要なこと（複数回答）

問35 南風原町における福祉の充実を図るために、必要なことは何ですか。

南風原町における福祉の充実を図るために、必要なことは何かと尋ねたところ、「保健・医療・福祉に関する情報提供の充実」の割合が50.6%と最も高く、次いで「身近で確かな相談が受けられること」が47.7%、「人にやさしいまちづくり（道路・建物等のバリアフリー化）」が37.4%、「支援が必要な高齢者、障がい者、子育て家庭等の見守りや生活支援」が32.6%、「子どもの孤立（貧困対策）」が27.6%の順となっています。

福祉の充実を図るために必要なこと



●前回アンケート結果より

- ・「保健・医療・福祉に関する情報提供の充実」が51.3%でもっとも高くなっています。次いで「身近で確かな相談が受けられること」43.0%、「人にやさしいまちづくり」35.0%、「支援が必要な高齢者、障がい者、子育て家庭等の見守りや生活支援」30.1%となっています。

同居家族別にみると、全ての同居家族世帯で、半数程度が「身近で確かな相談が受けられること」、「保健・医療・福祉に関する情報提供の充実」が重要であると回答しています。

重点を置くべき地域福祉の施策（同居家族別）

	回答者実数	身近で確かな相談が受けられること	保健・医療・福祉に関する情報提供の充実	地域で住民同士が互いに助け合う活動	学校での福祉に関する教育の充実	地域における福祉活動のリーダー育成	ボランティアの育成	人にやさしいまちづくり	地域の福祉意識を高めるための広報・啓発活動の充実	高齢者や障がい者への理解を深めるための取り組み
乳児	58人	43.1% (25人)	48.3% (28人)	6.9% (4人)	25.9% (15人)	8.6% (5人)	5.2% (3人)	43.1% (25人)	5.2% (3人)	12.1% (7人)
幼児	201人	45.8% (92人)	55.7% (112人)	14.4% (29人)	25.4% (51人)	11.9% (24人)	6.5% (13人)	38.8% (78人)	8.0% (16人)	8.5% (17人)
高齢者	343人	48.7% (167人)	49.6% (170人)	18.4% (63人)	15.5% (53人)	9.9% (34人)	12.8% (44人)	37.6% (129人)	14.3% (49人)	11.7% (40人)
要介護者	131人	43.5% (57人)	54.2% (71人)	13.7% (18人)	18.3% (24人)	15.3% (20人)	9.9% (13人)	29.8% (39人)	7.6% (10人)	9.9% (13人)
障がい者	116人	44.8% (52人)	49.1% (57人)	18.1% (21人)	16.4% (19人)	11.2% (13人)	11.2% (13人)	41.4% (48人)	6.9% (8人)	18.1% (21人)
小学生	140人	47.9% (67人)	50.0% (70人)	12.1% (17人)	22.9% (32人)	10.0% (14人)	10.7% (15人)	37.1% (52人)	9.3% (13人)	7.9% (11人)
中・高校生	113人	51.3% (58人)	49.6% (56人)	17.7% (20人)	15.0% (17人)	6.2% (7人)	9.7% (11人)	38.9% (44人)	7.1% (8人)	7.1% (8人)
専門・大学生	140人	51.4% (72人)	57.9% (81人)	14.3% (20人)	20.7% (29人)	7.9% (11人)	11.4% (16人)	39.3% (55人)	10.7% (15人)	9.3% (13人)
いずれもない	277人	46.6% (129人)	44.8% (124人)	18.4% (51人)	13.7% (38人)	6.9% (19人)	9.4% (26人)	37.9% (105人)	13.0% (36人)	9.7% (27人)

	回答者実数	支援が必要な高齢者、障がい者、子育て家庭等の見守りや生活支援	生活困窮者への支援	子どもの孤立	住民福祉活動に対する活動資金の援助	福祉サービスの充実	その他	特にない	無回答
乳児	58人	43.1% (25人)	17.2% (10人)	34.5% (20人)	5.2% (3人)	15.5% (9人)	8.6% (5人)	1.7% (1人)	1.7% (1人)
幼児	201人	31.8% (64人)	17.4% (35人)	37.8% (76人)	9.0% (18人)	18.4% (37人)	3.5% (7人)	4.5% (9人)	2.0% (4人)
高齢者	343人	34.7% (119人)	25.1% (86人)	26.5% (91人)	7.9% (27人)	24.5% (84人)	1.7% (6人)	3.2% (11人)	5.2% (18人)
要介護者	131人	38.2% (50人)	29.8% (39人)	36.6% (48人)	6.9% (9人)	26.0% (34人)	2.3% (3人)	4.6% (6人)	1.5% (2人)
障がい者	116人	43.1% (50人)	31.0% (36人)	23.3% (27人)	7.8% (9人)	21.6% (25人)	4.3% (5人)	1.7% (2人)	5.2% (6人)
小学生	140人	35.7% (50人)	26.4% (37人)	35.7% (50人)	7.9% (11人)	20.7% (29人)	2.9% (4人)	4.3% (6人)	3.6% (5人)
中・高校生	113人	36.3% (41人)	24.8% (28人)	27.4% (31人)	10.6% (12人)	27.4% (31人)	1.8% (2人)	4.4% (5人)	4.4% (5人)
専門・大学生	140人	25.0% (35人)	24.3% (34人)	25.0% (35人)	7.1% (10人)	24.3% (34人)	1.4% (2人)	3.6% (5人)	2.9% (4人)
いずれもない	277人	31.4% (87人)	29.2% (81人)	23.8% (66人)	9.7% (27人)	24.5% (68人)	1.1% (3人)	2.9% (8人)	9.0% (25人)

6. 福祉サービスの利用について

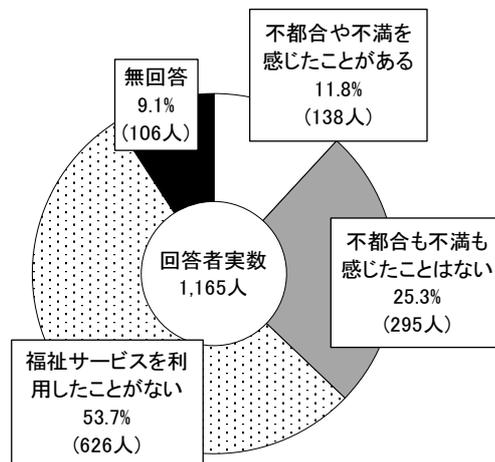
(1) 福祉サービスの利用で不都合や不満を感じたこと

問36 あなたやあなたのご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったりしたことはありますか。

自身や自身の家族の福祉サービスの利用に関して、不都合や不満を感じたことがあるかと尋ねたところ、「不都合や不満を感じたことがある」の割合が11.8%、「不都合も不満も感じたことはない」が25.3%となっています。

また、「福祉サービスを利用したことがない」が53.7%と約半数を占めています。

福祉サービスの利用で
不都合や不満を感じたこと



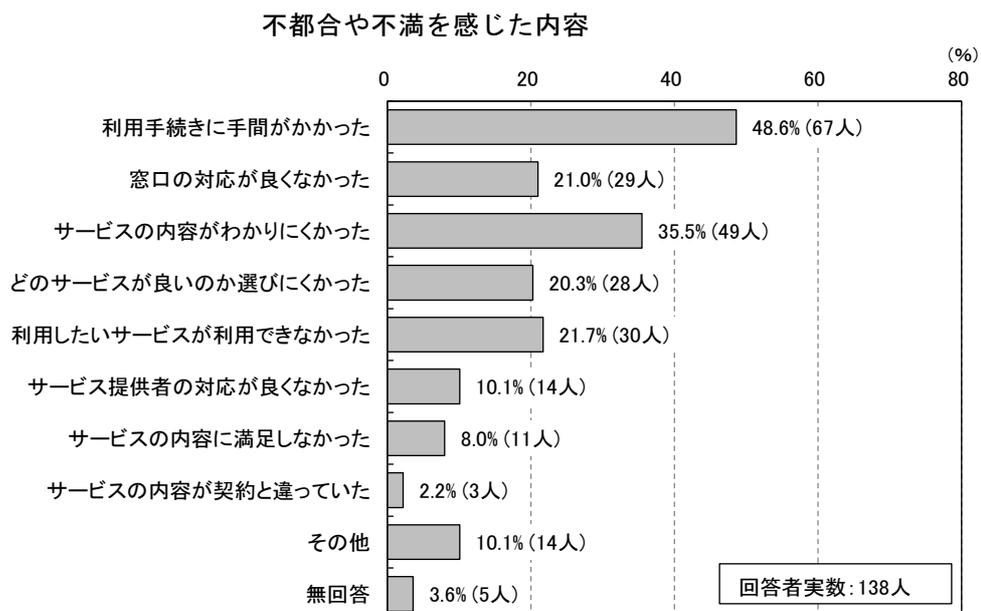
●前回アンケート結果より

- ・自分や家族の福祉サービスの利用について不都合や不満を感じたことがあるかは、「福祉サービスを利用したことがない」が59.5%と半数を占め、次いで「不都合も不満も感じたことはない」が21.8%となっています。「不都合や不満を感じたことがある」は7.8%あります。

(2) 不都合や不満を感じた内容（複数回答）

問37 不都合や不満を感じたのはどのようなことですか。

「(1)福祉サービスの利用で不都合や不満を感じたこと」で、「不都合や不満を感じたことがある」と答えた方にどのようなことに不都合や不満を感じたのか尋ねたところ、「利用手続きに手間がかかった」の割合が48.6%と最も高く、次いで「サービスの内容がわかりにくかった」の割合が35.5%、「利用したいサービスが利用できなかった」が21.7%の順となっています。



●前回アンケート結果より

- 福祉サービスの利用に関して「不都合や不満を感じたことがある」と答えた方の不満等の内容については、「利用手続きに手間がかかった」が55.6%と最も高く、次に「サービスの内容がわかりにくかった」が32.1%となっています。

7. 地域福祉に関連する用語について

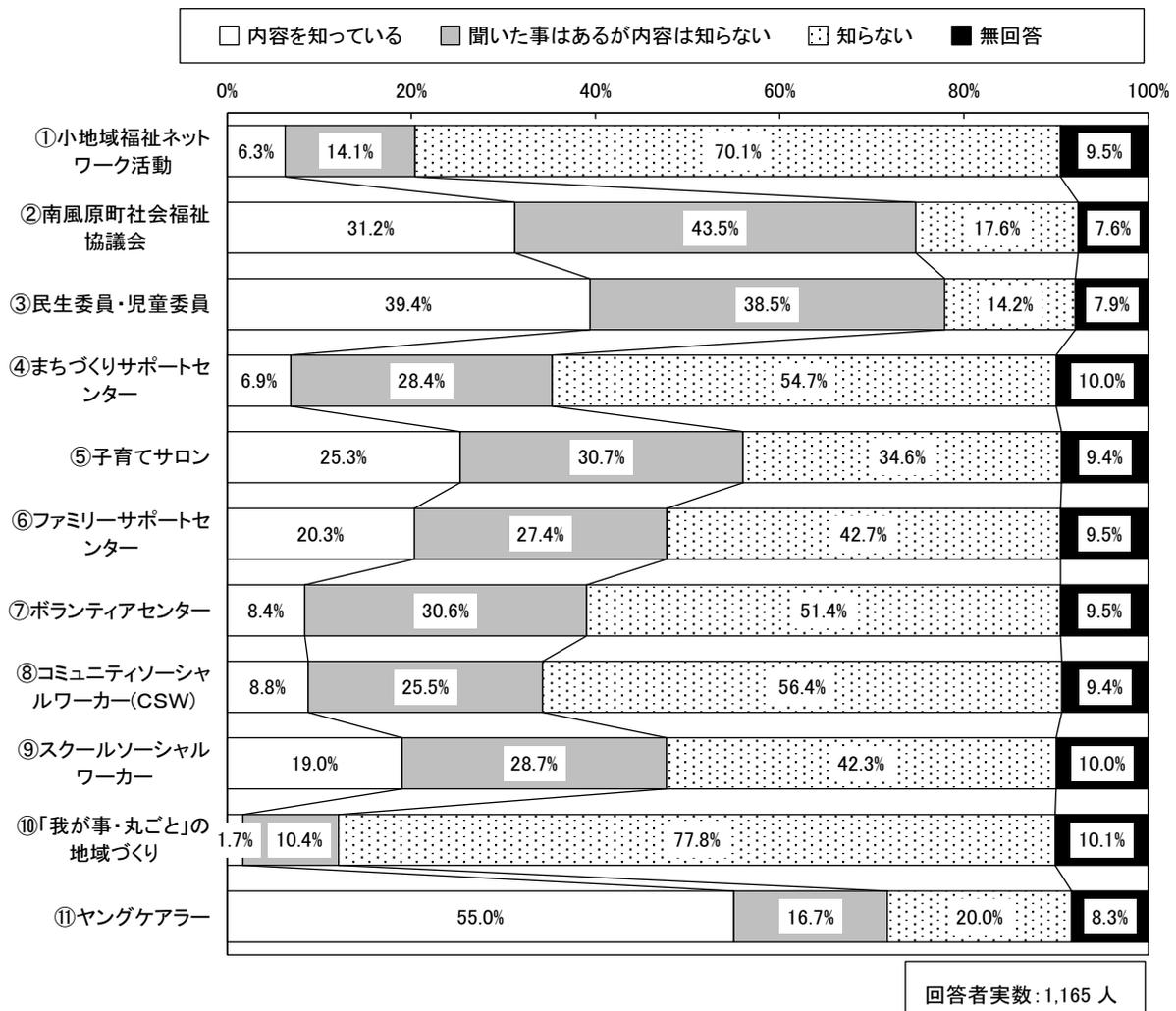
(1) 地域福祉に関する用語

問38 あなたは、地域福祉に関する以下の用語を知っていますか。

地域福祉に関する用語を知っているか尋ねたところ、「内容を知っている」の割合が一番高いのは「ヤングケアラー」の55.0%、次いで「民生委員・児童委員」の39.4%、「南風原町社会福祉協議会」の31.2%の順となっています。

一方、「知らない」の割合が一番高いのは「我が事・丸ごと」の地域づくり」が77.8%、次いで「小地域福祉ネットワーク活動」が70.1%となっています。

地域福祉に関する用語



●前回アンケート結果より

- ・地域福祉に関する用語を知っているか聞いたところ「内容を知っている」が一番多いのは「民生委員・児童委員」の48.0%、次いで「南風原町社会福祉協議会」が35.0%、「成年後見制度」が32.3%となっています。
- ・「知らない」が一番多いのは「我が事・丸ごと」の地域づくり」が76.2%、次いで「小地域福祉ネットワーク活動」が62.6%となっています。

8. 成年後見制度について

(1) 成年後見制度、日常生活自立支援事業の周知度など

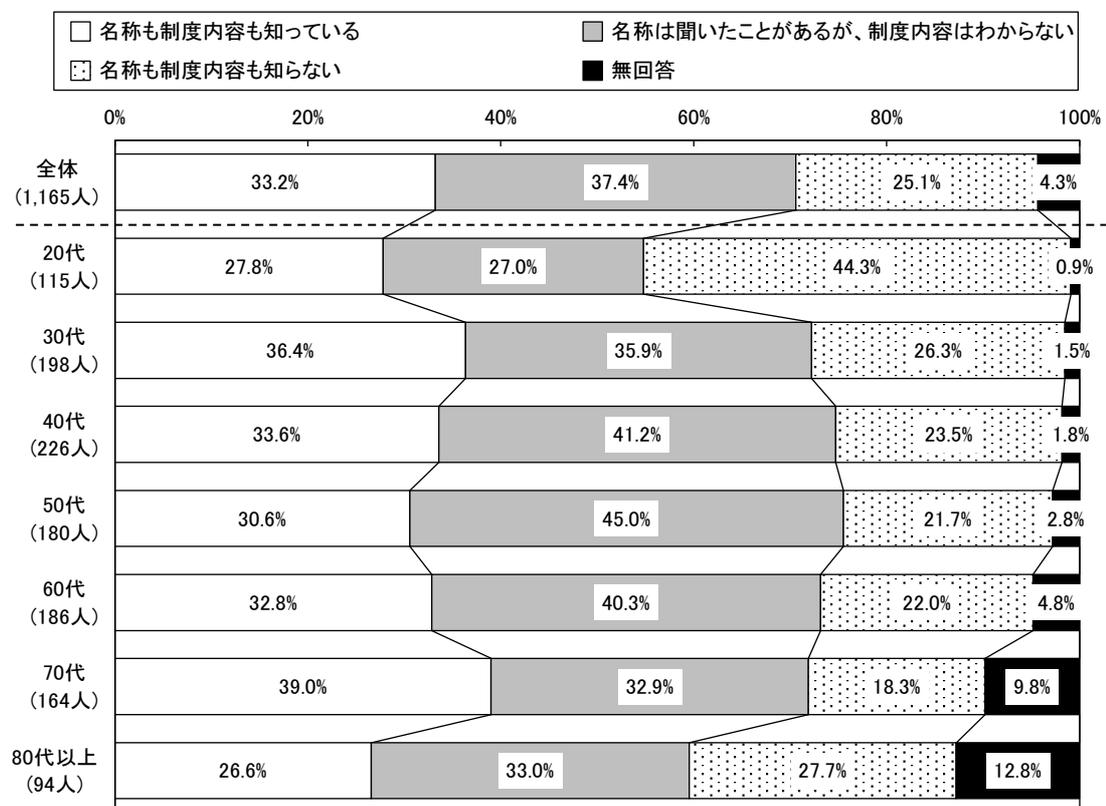
問39 成年後見制度、日常生活自立支援事業についてお尋ねします。

① 成年後見制度の周知度

成年後見制度を知っているか尋ねたところ、全体では「名称も制度内容も知っている」が33.2%、「名称は聞いたことがあるが、制度内容はわからない」が37.4%、合わせて、「知っている」が70.6%となっています。

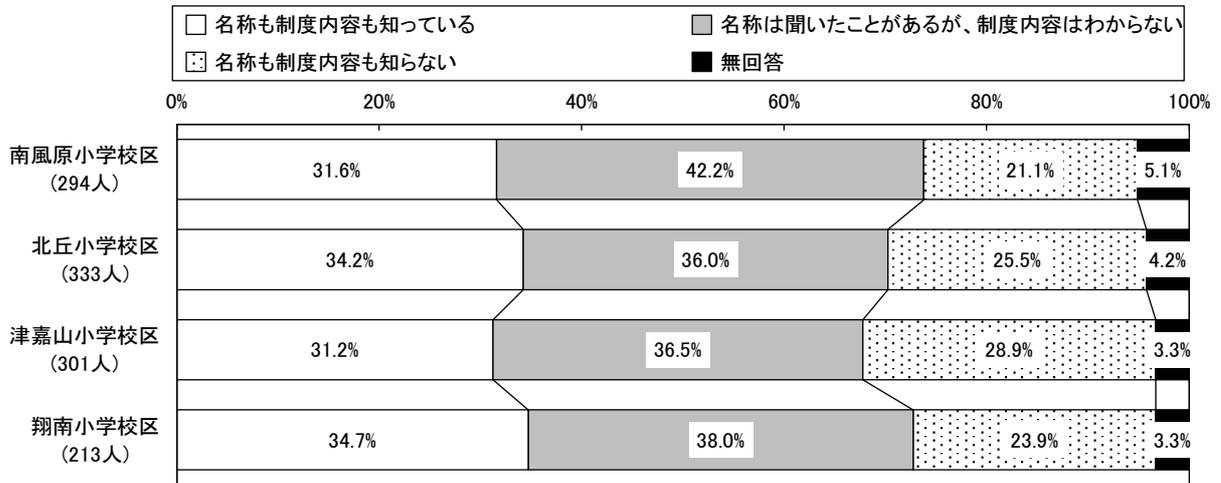
年代別にみると、「知っている」割合は「50代」までは年代が上がる程高くなり、「60代」以降で低くなっています。一方、「名称も制度内容も知らない」割合は「70代」までは年代が上がる程低くなる傾向となっています。

成年後見制度の周知度（全体・年代別）



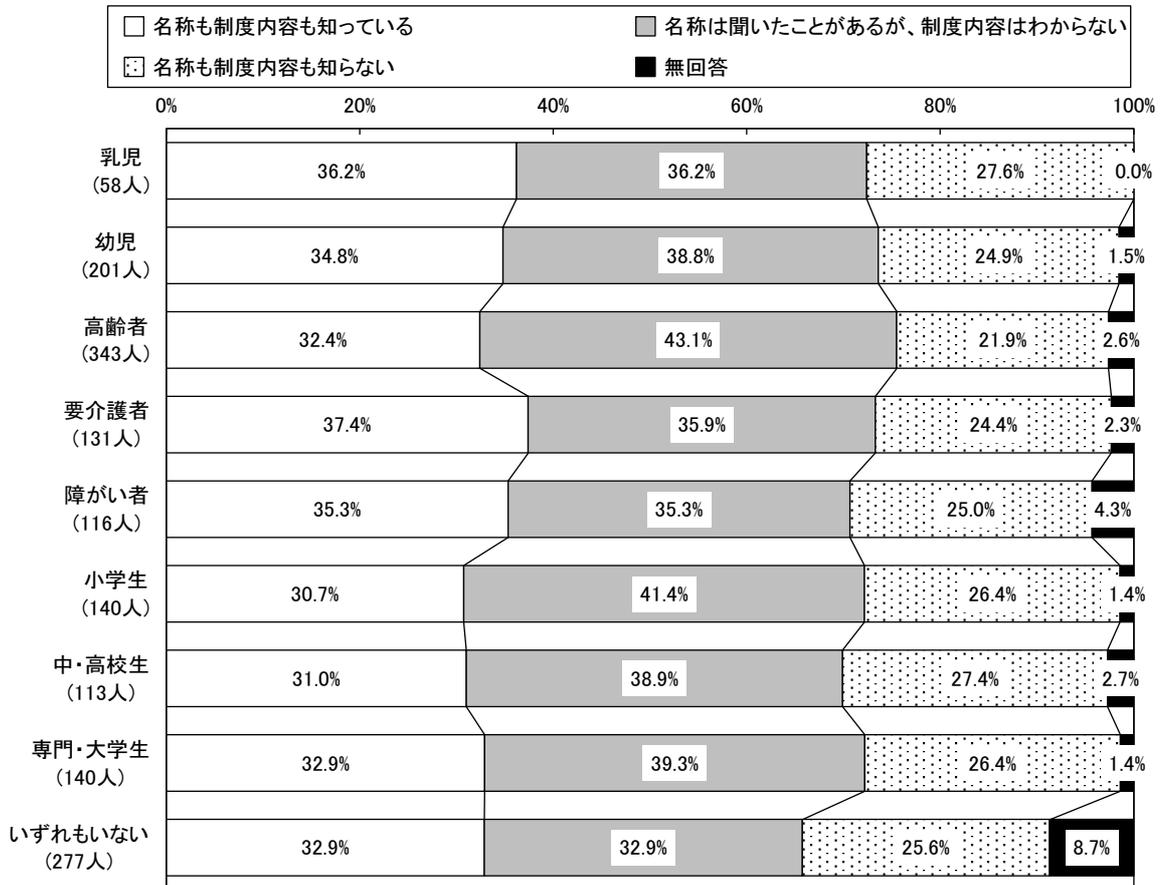
小学校区別でみると、全ての小学校区で“知っている”割合が7割前後と高い傾向となっていますが、「津嘉山小学校区」は67.7%と、他小学校区よりやや低くなっています。

成年後見制度の知度（小学校区別）



同居家族別でみると、“知っている”割合は「高齢者」のいる世帯が75.5%と最も高く、次いで「幼児」のいる世帯が73.6%、「要介護者」のいる世帯が73.3%となっており、「いずれもない」世帯は65.8%と最も低くなっています。

成年後見制度の知度（同居家族別）

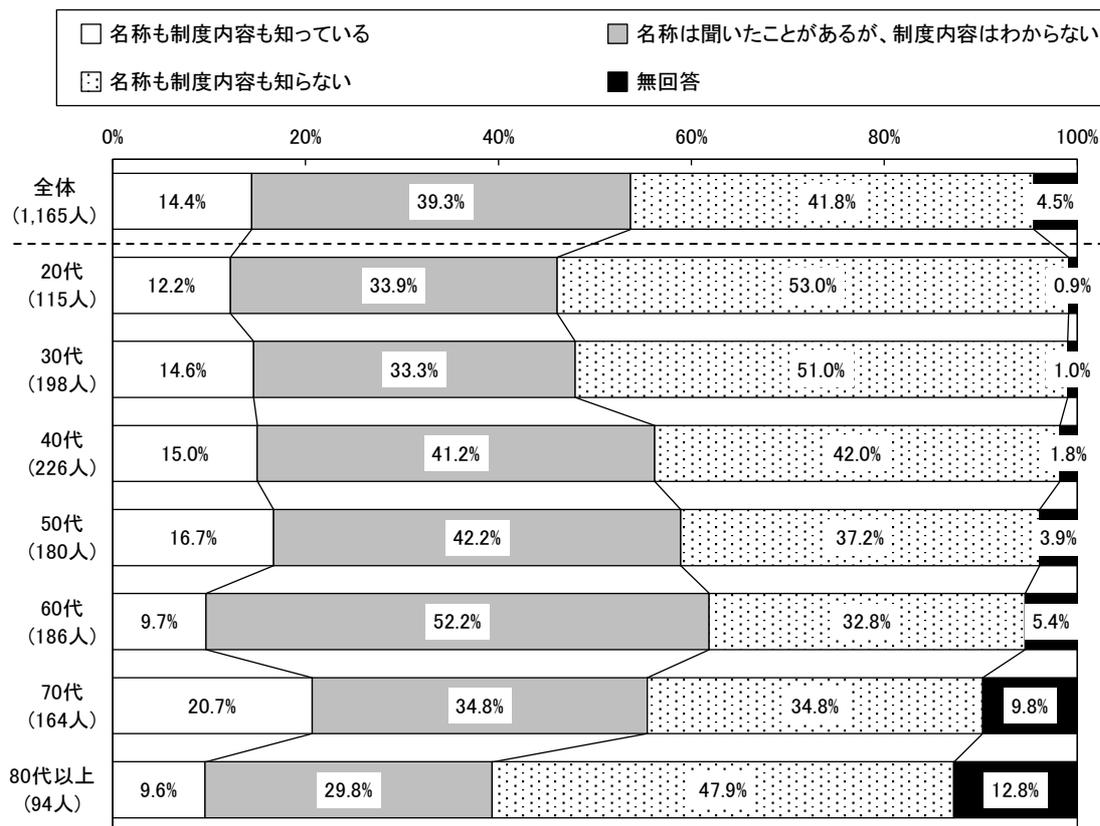


② 日常生活自立支援事業の周知度

日常生活自立支援事業を知っているか尋ねたところ、全体では「名称も制度内容も知っている」が14.4%、「名称は聞いたことがあるが、制度内容はわからない」が39.3%、合わせて、「知っている」割合が53.7%となっています。

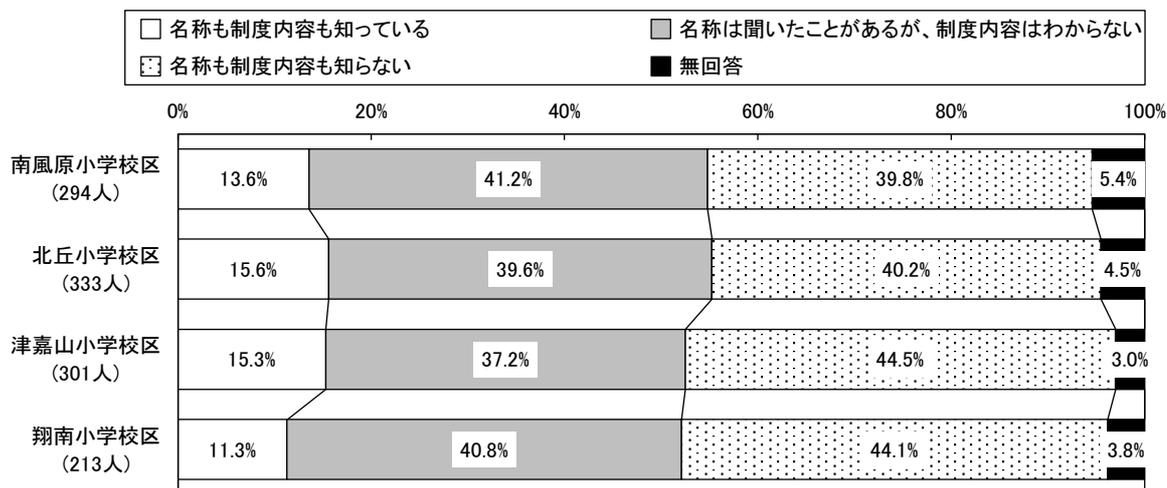
年代別でみると、「知っている」割合は「60代」までは年代が上がる程高くなり、「70代」以降で低くなっています。一方、「名称も制度内容も知らない」割合は「60代」までは年代が上がる程低くなっています。

日常生活自立支援事業の周知度（全体・年代別）



小学校区別でみると、「知っている」割合は小学校区で大きな傾向の差はみられません。

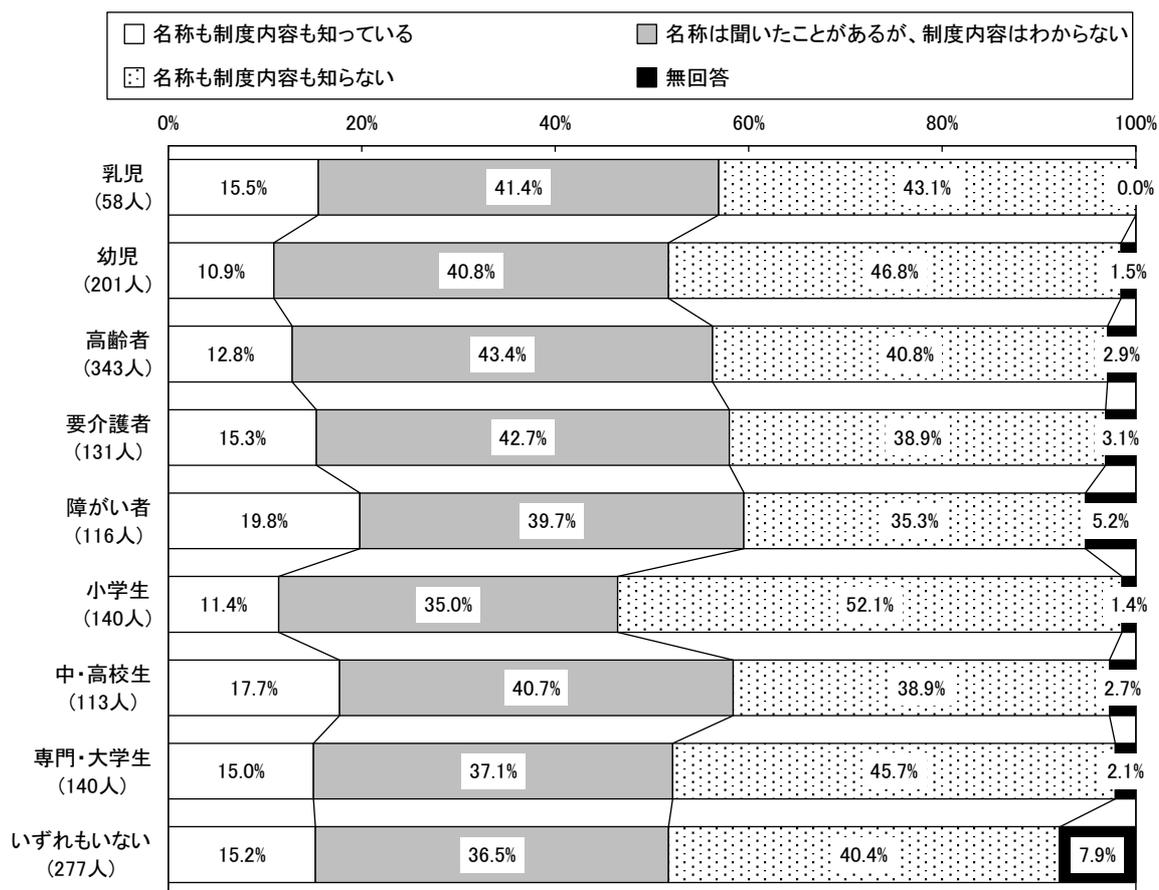
日常生活自立支援事業の周知度（小学校区別）



同居家族別でみると、“知っている”割合は「障がい者」のいる世帯が59.5%と最も高く、次いで「中・高校生」のいる世帯が58.4%、「要介護者」のいる世帯が58.0%の順となっています。

一方、「名称も制度内容も知らない」割合は「小学生」のいる世帯が52.1%と最も高く、次いで「幼児」のいる世帯が46.8%、「専門・大学生」のいる世帯が45.7%の順となっています。

日常生活自立支援事業の周知度（同居家族別）

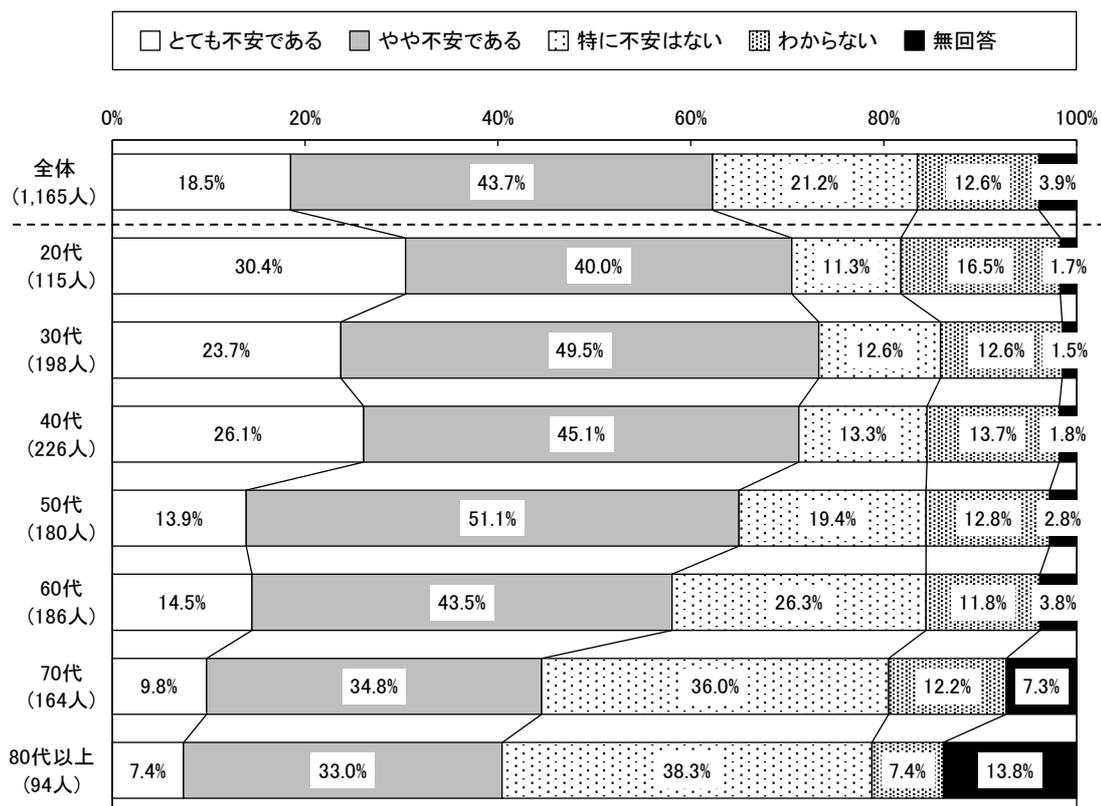


③ 将来における福祉サービスなどの身の回りの契約手続きや財産の管理への不安

将来、ご自身や親族が高齢になったときに、福祉サービスなどの身の回りの契約手続きや財産の管理を適切に行っているか不安があるかと尋ねたところ、全体では「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた“不安を感じる”割合が62.2%、「特に不安はない」は21.2%となっています。

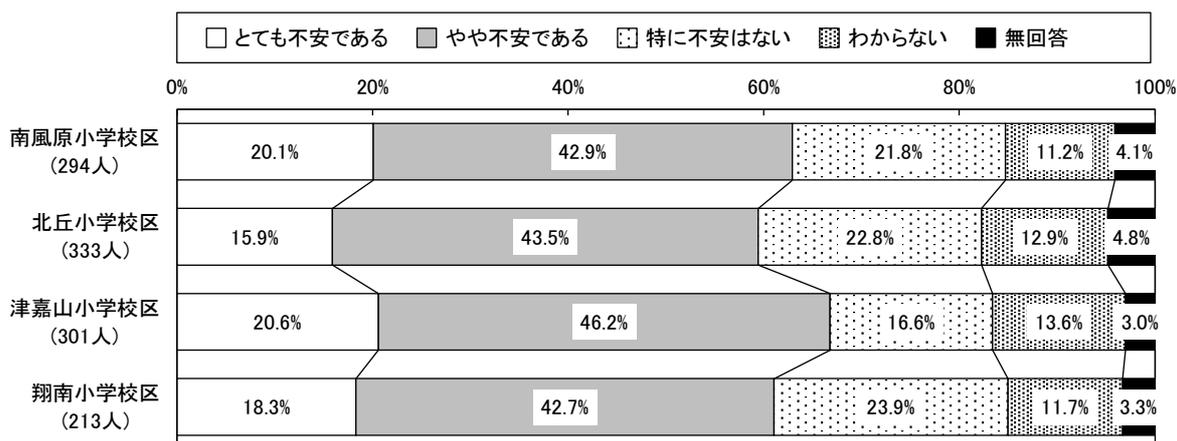
年代別では、“不安を感じる”割合は「30代」が73.2%と最も高く、次いで「40代」が71.2%、「20代」が70.4%となり、若い世代の割合が高くなっています。

将来における福祉サービスなどへの不安（全体・年代別）



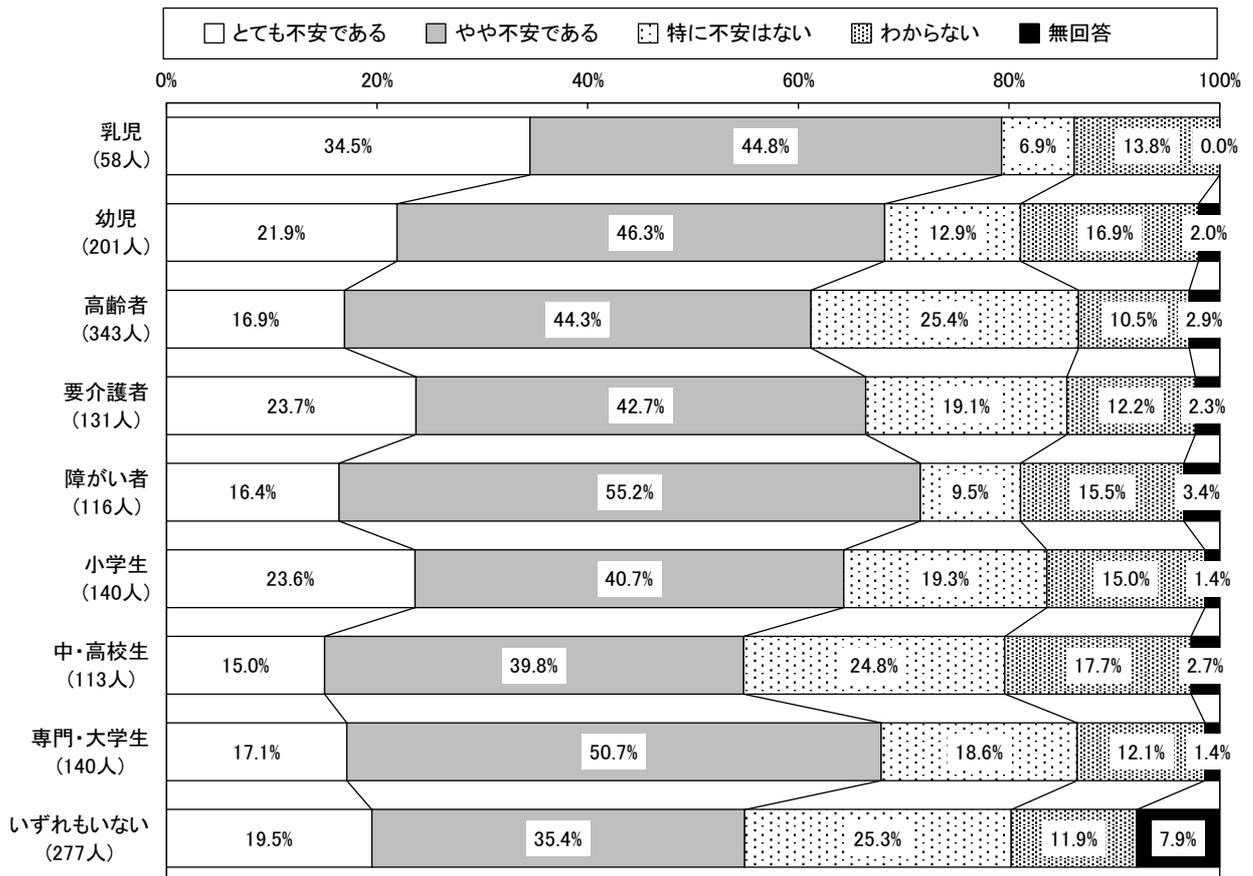
小学校区別にみると、“不安を感じる”割合は「津嘉山小学校区」が66.8%と最も高くなっています。一方、「特に不安はない」の割合は「翔南小学校区」が23.9%と最も高くなっています。

将来における福祉サービスなどへの不安（小学校区別）



同居家族別にみると、“不安を感じる”割合は「乳児」のいる世帯が79.3%と最も高く、次いで「障がい者」のいる世帯が71.6%、「幼児」のいる世帯が68.2%の順となっています。一方、「特に不安はない」割合は「高齢者」のいる世帯が25.4%と最も高く、次いで「いずれもない」世帯が25.3%、「中・高校生」のいる世帯が24.8%、「小学生」のいる世帯が19.3%の順となっています。

将来における福祉サービスなどへの不安（同居家族別）

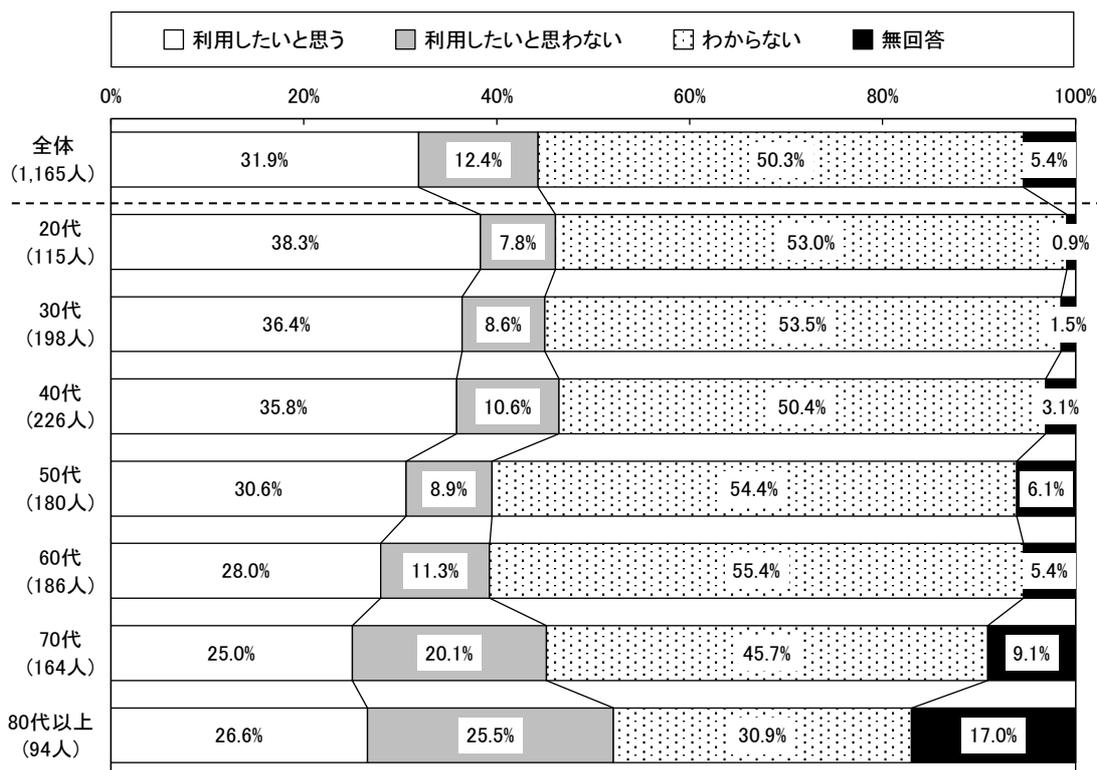


④ 将来における成年後見制度、または日常生活自立支援事業の利用意向

将来、判断能力が不十分となった場合、成年後見制度、または日常生活自立支援事業を利用したいと思うか尋ねたところ、全体では「利用したいと思う」割合は31.9%、「利用したいと思わない」割合は12.4%となり、約半数が「わからない」と回答しています。

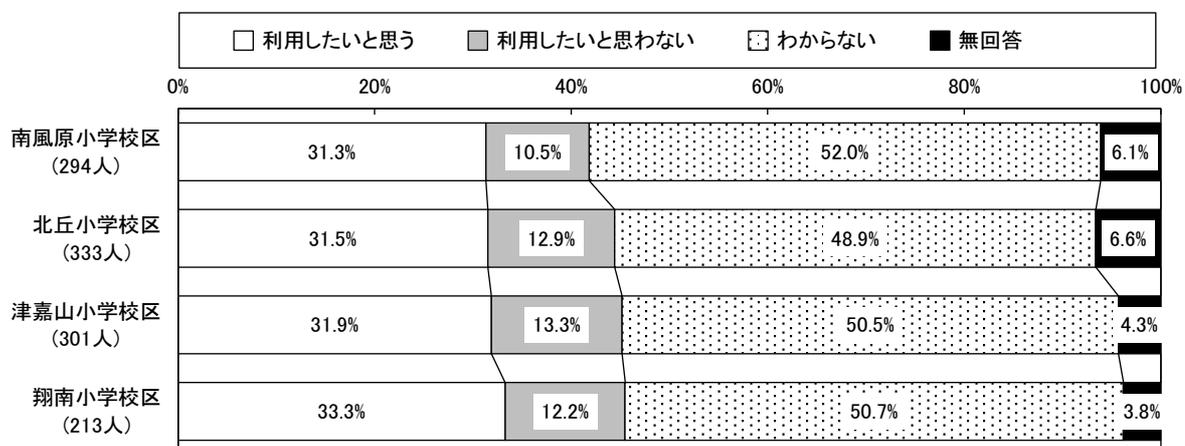
年代別でみると、「利用したいと思う」割合は年代が上がる程低くなる傾向にあり、「利用したいと思わない」割合は年代が上がる程高くなる傾向となっています。

成年後見制度、日常生活自立支援事業の利用意向（全体・年代別）



小学校区別でみると、すべての小学校区で「利用したいと思う」割合は3割超、「利用したいと思わない」割合は1割超で、小学校区で大きな傾向の差はみられません。

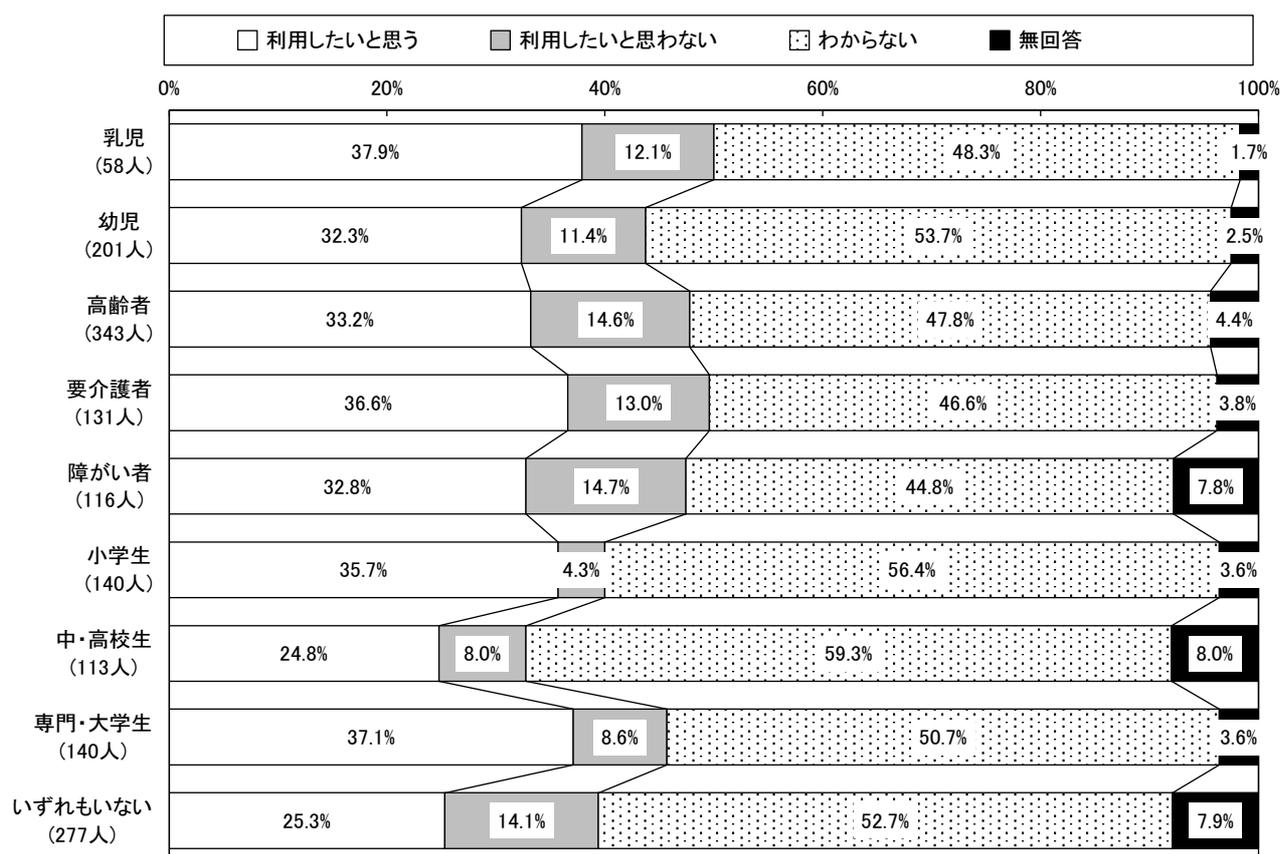
成年後見制度、日常生活自立支援事業の利用意向（小学校区別）



同居家族別でみると、「利用したいと思う」割合は、「乳児」のいる世帯が37.9%と最も高く、次いで「専門・大学生」のいる世帯が37.1%となっています。

一方、「利用したいと思わない」割合は、「障がい者」のいる世帯が14.7%と最も高く、次いで「高齢者」のいる世帯が14.6%、「いずれもない」世帯が14.1%の順となっています。

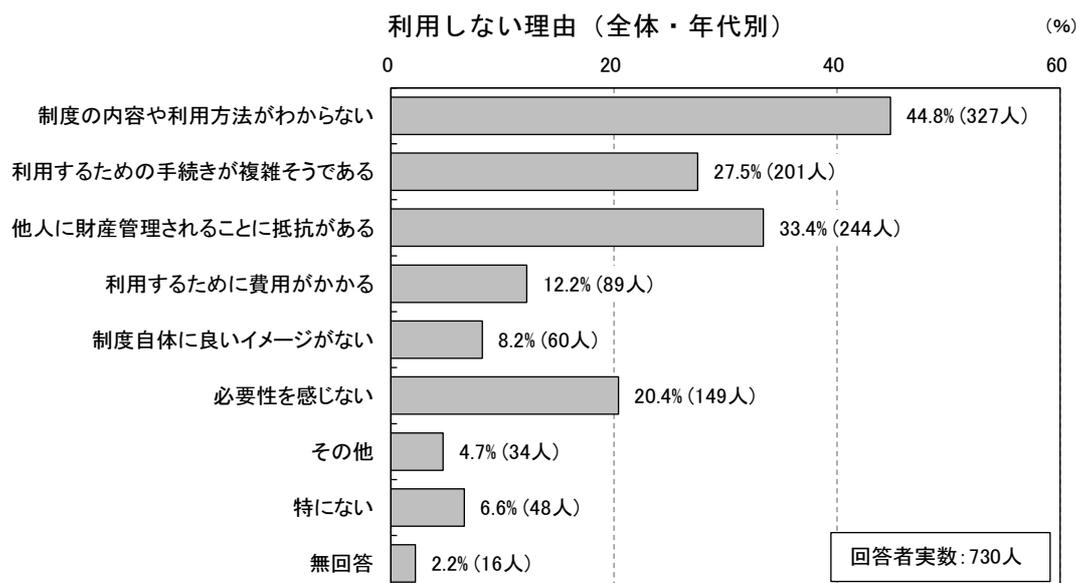
成年後見制度、日常生活自立支援事業の利用意向（同居家族別）



⑤ 利用しない理由

成年後見制度、日常生活自立支援事業を利用したいと思わない、又はわからないと回答した方にその理由を尋ねたところ、「制度の内容や利用方法がわからない」が44.8%と最も高く、次いで「他人に財産管理されることに抵抗がある」が33.4%、「利用するための手続きが複雑そうである」が27.5%、「必要性を感じない」が20.4%、「利用するために費用がかかる」が12.2%と続いています。

年代別でみると、「制度の内容や利用方法がわからない」の割合は年代が低くなるにつれて高くなっており、「20代」では57.1%と最も高くなっています。



利用しない理由（年代別）

	回答者実数	制度の内容や利用方法がわからない	利用するための手続きが複雑そうである	他人に財産管理されることに抵抗がある	利用するために費用がかかる	制度自体に良いイメージがない	必要性を感じない	その他	特になし	無回答
20代	70人	57.1% (40人)	37.1% (26人)	31.4% (22人)	7.1% (5人)	7.1% (5人)	7.1% (5人)	2.9% (2人)	8.6% (6人)	2.9% (2人)
30代	123人	52.0% (64人)	28.5% (35人)	33.3% (41人)	11.4% (14人)	5.7% (7人)	8.9% (11人)	4.9% (6人)	6.5% (8人)	1.6% (2人)
40代	138人	50.7% (70人)	25.4% (35人)	29.0% (40人)	12.3% (17人)	5.8% (8人)	19.6% (27人)	3.6% (5人)	2.2% (3人)	2.9% (4人)
50代	114人	50.0% (57人)	33.3% (38人)	41.2% (47人)	21.9% (25人)	9.6% (11人)	10.5% (12人)	1.8% (2人)	7.9% (9人)	0.0% (0人)
60代	124人	37.1% (46人)	29.0% (36人)	44.4% (55人)	10.5% (13人)	8.1% (10人)	25.8% (32人)	2.4% (3人)	7.3% (9人)	2.4% (3人)
70代	108人	32.4% (35人)	19.4% (21人)	26.9% (29人)	9.3% (10人)	8.3% (9人)	38.0% (41人)	11.1% (12人)	6.5% (7人)	2.8% (3人)
80代以上	53人	28.3% (15人)	18.9% (10人)	18.9% (10人)	9.4% (5人)	18.9% (10人)	39.6% (21人)	7.5% (4人)	11.3% (6人)	3.8% (2人)

小学校区別にみると、「津嘉山小学校区」で「制度の内容や利用方法がわからない」が51.0%と最も高くなっています。

利用しない理由（小学校区別）

	回答者実数	制度の内容や利用方法がわからない	利用するための手続きが複雑そうである	他人に財産管理されることに抵抗がある	利用するために費用がかかる	制度自体に良いイメージがない	必要性を感じない	その他	特にない	無回答
南風原小学校区	184人	46.7% (86人)	28.8% (53人)	35.9% (66人)	12.0% (22人)	8.2% (15人)	17.9% (33人)	4.3% (8人)	5.4% (10人)	2.7% (5人)
北丘小学校区	206人	36.9% (76人)	19.9% (41人)	34.0% (70人)	12.1% (25人)	9.2% (19人)	25.7% (53人)	7.3% (15人)	8.7% (18人)	1.9% (4人)
津嘉山小学校区	192人	51.0% (98人)	33.3% (64人)	29.7% (57人)	13.5% (26人)	7.8% (15人)	15.6% (30人)	3.1% (6人)	5.2% (10人)	1.6% (3人)
翔南小学校区	134人	45.5% (61人)	29.1% (39人)	35.1% (47人)	9.7% (13人)	7.5% (10人)	23.1% (31人)	3.0% (4人)	6.7% (9人)	2.2% (3人)

同居家族別でみると、「乳児」、「幼児」、「小学生」、「専門・大学生」のいる世帯で、「制度の内容や利用方法がわからない」と回答した人の割合が5割を超えています。

また、「乳児」のいる世帯で「利用するための手続きが煩雑そうであるから」、「障がい者」のいる世帯で「他人に財産管理されることに抵抗がある」、と回答した人の割合がそれぞれ4割を超えています。

利用しない理由（同居家族別）

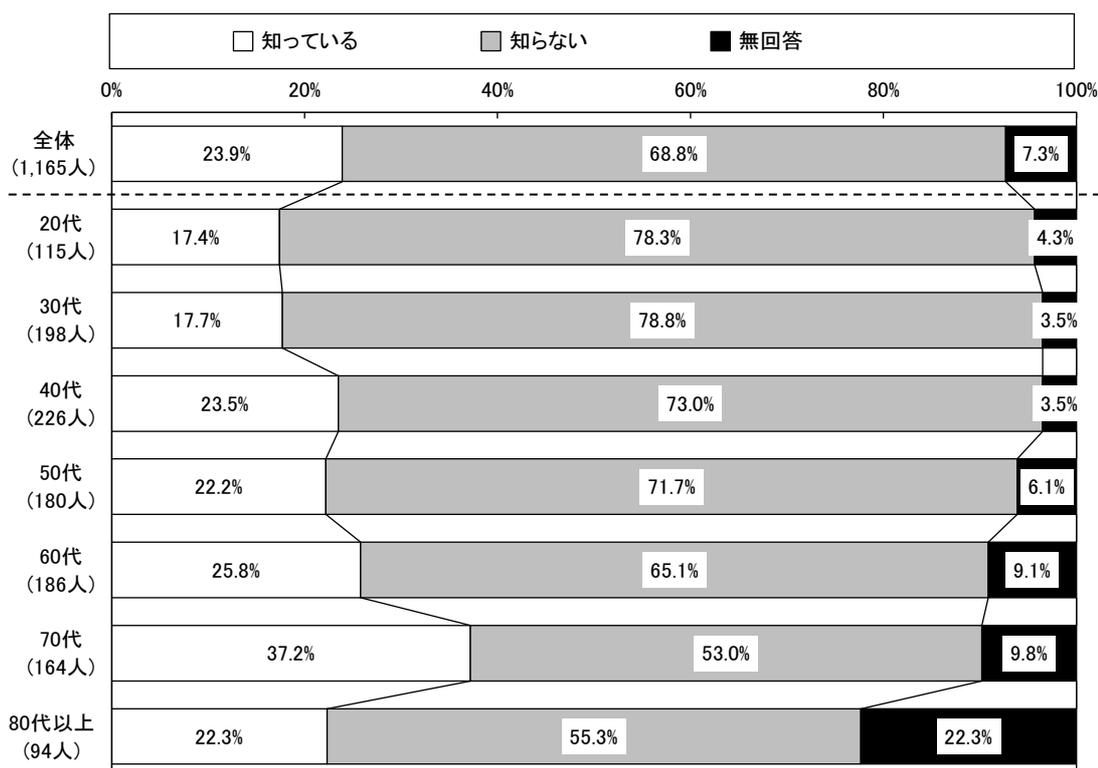
	回答者実数	制度の内容や利用方法がわからない	利用するための手続きが複雑そうである	他人に財産管理されることに抵抗がある	利用するために費用がかかる	制度自体に良いイメージがない	必要性を感じない	その他	特にない	無回答
乳児	35人	54.3% (19人)	42.9% (15人)	37.1% (13人)	20.0% (7人)	5.7% (2人)	5.7% (2人)	5.7% (2人)	8.6% (3人)	0.0% (0人)
幼児	131人	55.0% (72人)	28.2% (37人)	32.8% (43人)	15.3% (20人)	6.9% (9人)	13.7% (18人)	3.1% (4人)	3.8% (5人)	3.8% (5人)
高齢者	214人	39.7% (85人)	25.2% (54人)	32.2% (69人)	10.3% (22人)	6.5% (14人)	27.6% (59人)	4.7% (10人)	5.6% (12人)	2.3% (5人)
要介護者	78人	47.4% (37人)	35.9% (28人)	32.1% (25人)	12.8% (10人)	6.4% (5人)	25.6% (20人)	3.8% (3人)	1.3% (1人)	5.1% (4人)
障がい者	69人	39.1% (27人)	27.5% (19人)	43.5% (30人)	15.9% (11人)	14.5% (10人)	20.3% (14人)	4.3% (3人)	4.3% (3人)	2.9% (2人)
小学生	85人	54.1% (46人)	23.5% (20人)	28.2% (24人)	8.2% (7人)	5.9% (5人)	22.4% (19人)	2.4% (2人)	5.9% (5人)	0.0% (0人)
中・高校生	76人	47.4% (36人)	22.4% (17人)	30.3% (23人)	14.5% (11人)	7.9% (6人)	19.7% (15人)	2.6% (2人)	7.9% (6人)	0.0% (0人)
専門・大学生	83人	55.4% (46人)	27.7% (23人)	27.7% (23人)	10.8% (9人)	14.5% (12人)	10.8% (9人)	1.2% (1人)	4.8% (4人)	1.2% (1人)
いずれもいない	185人	42.7% (79人)	29.2% (54人)	34.1% (63人)	13.5% (25人)	8.6% (16人)	18.9% (35人)	5.9% (11人)	8.1% (15人)	1.6% (3人)

⑥ 成年後見制度に関する相談できる窓口の周知度

成年後見制度の内容や利用方法について、相談できる窓口が町役場保健福祉課（障害者福祉班・地域包括支援センター）にあることを知っているか尋ねたところ、全体では「知っている」が23.9%、「知らない」は68.8%となっています。

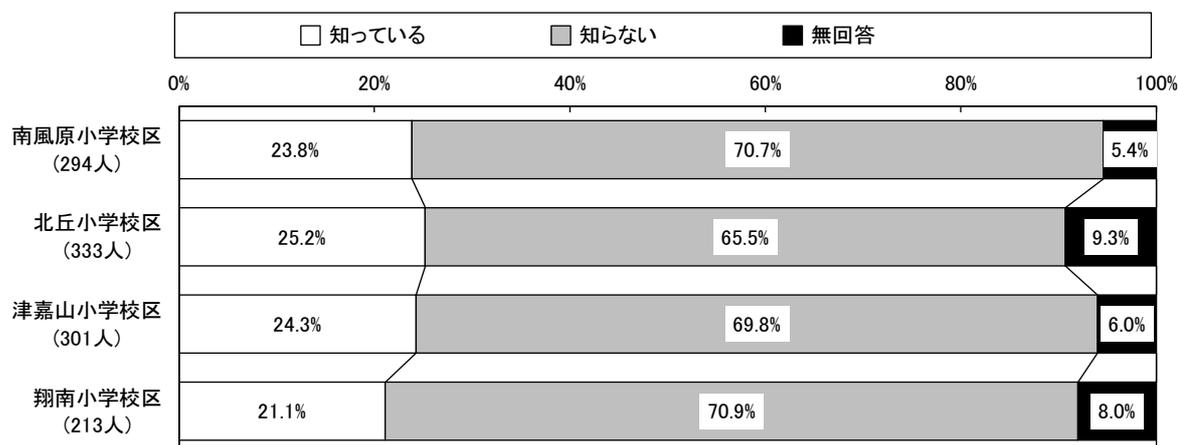
年代別でみると、「知っている」割合は年代が上がる程高くなる傾向にあり、「70代」の37.2%が最も高くなりますが、「80代以上」で大きく減少します。一方、「知らない」割合は「20代」と「30代」が8割弱と最も高く、年代が上がる程低くなる傾向となっています。

成年後見制度に関する相談できる窓口の周知度（全体・年代別）



小学校区別でみると、いずれの学区も「知っている」割合は2割超、「知らない」割合は7割前後となり、小学校区で大きな傾向の差はみられません。

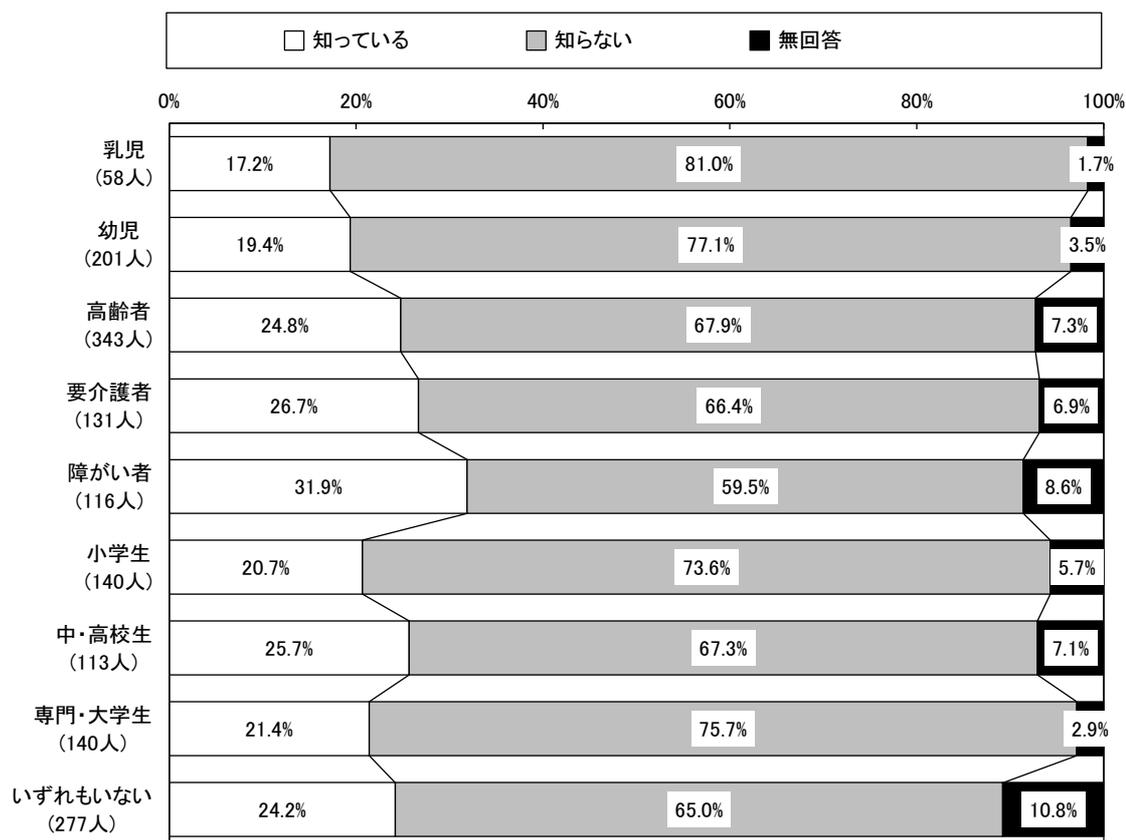
成年後見制度に関する相談できる窓口の周知度（小学校区別）



同居家族別でみると、「知っている」割合が最も高いのは「障がい者」のいる世帯で31.9%となり、次いで「要介護者」のいる世帯が26.7%、「中・高校生」のいる世帯が25.7%の順となっています。

一方、「知らない」割合は、「乳児」のいる世帯が81.0%、「幼児」のいる世帯が77.1%、「小学生」のいる世帯が73.6%の順となっています。

成年後見制度に関する相談できる窓口の周知度（同居家族別）



調查票



南風原町の地域福祉(活動)計画に関するアンケート調査

— 「地域福祉(活動)計画」とは —

誰もが住みなれた地域でその人らしい自立した生活を営み、健やかに安心して暮らせるよう、地域で行政と住民等が一体となって支えあう、総合的な福祉の推進に取り組む計画です。

アンケート調査ご協力のお願い

町民の皆様には、日頃から町政にご協力を賜り心より感謝申し上げます。

南風原町では、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるよう、相互扶助の精神に基づいた地域福祉の推進を図るために、「第三次南風原町地域福祉(活動)計画」の策定を進めています。

計画の策定に向けて、町民の皆様が日頃の生活の中で感じておられる、福祉に対するお考えやご意見等を把握するために、アンケート調査を実施することになりました。調査にあたりましては、町内にお住まいの20歳以上の方の中から、無作為に3,100人を選ばせていただきました。

お答えいただいた調査の内容は、統計的に処理し、個人のプライバシーにかかわる内容を公表することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、上記の趣旨をご理解のうえ、ご回答していただきますようご協力をお願い申し上げます。

令和5年1月 南風原町長 赤嶺 正之

ご回答にあたってのお願い

1. ご本人が直接ご記入ください。ご本人がご記入できない場合は、家族など他の方がご本人からお聞きの上、代わりに記入されてもかまいません。
2. 普段思っていることをありのままお答え下さい。答えられないところは、無理に答えなくてもかまいません。
3. 記入後の調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

投函は 2月24日(金) までにお願ひします。

4. このアンケート調査に関する問い合わせは下記をお願いします。

南風原町 こども課 担当：平田 電話：098-889-7028

● 地域福祉とは ●

地域福祉とは、隣近所の「つながり」や「支え合い」！！

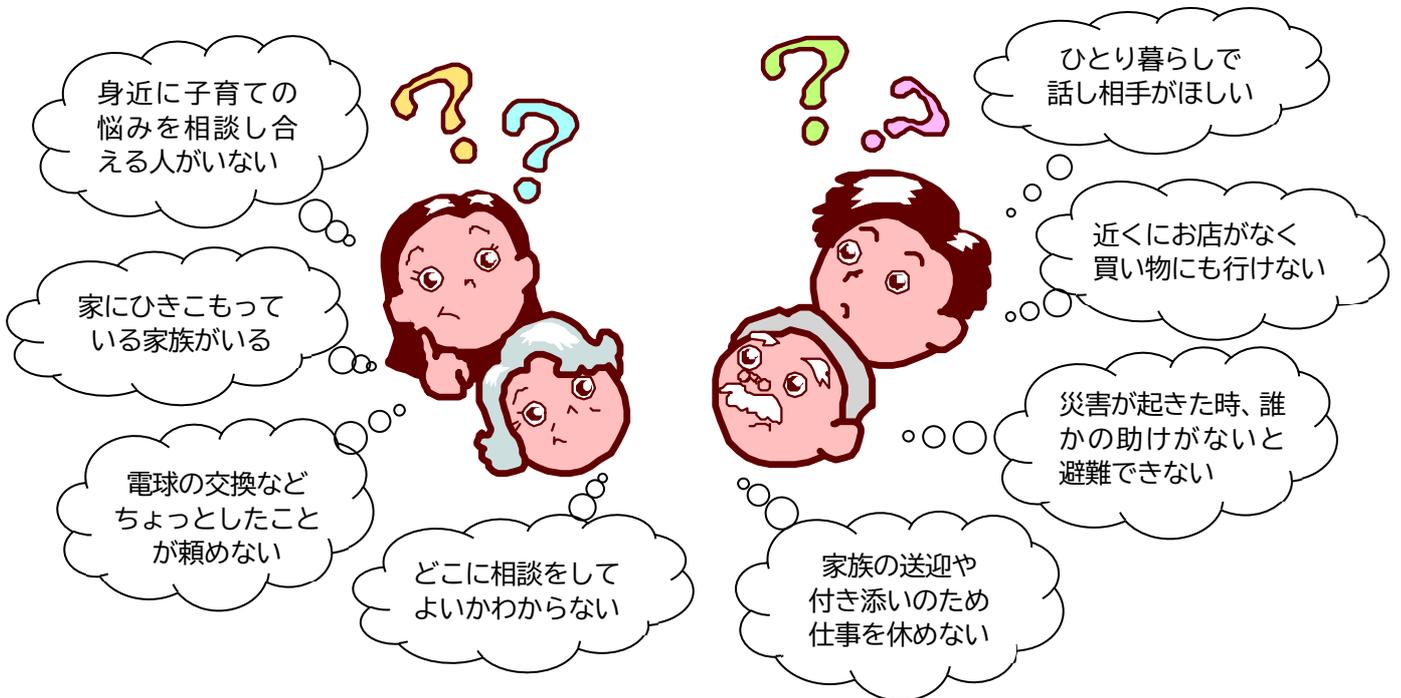
「つながり」・「支え合い」とは、例えば…

- ・ひとり暮らし高齢者の見守りや声かけ
- ・災害時の助け合い、自力では避難できない人の支援
- ・防犯のため地域の見回り、不審者がいたらみんなに知らせる
- ・地域清掃や行事などをとおして、つながりを深め、お互いを把握する など



地域で安心して暮らすためには、「つながり」も大切！

地域の中にはいろいろな「困った」をかかえた人が生活しています。



これらの「困った」の解決においては、行政の行うサービスだけで対応することは難しくなっています。「共に生き、支え合う地域づくり」のためには、地域で暮らす誰もが、福祉の対象者になりえることを自覚するとともに、福祉の担い手として「困った」をかかえた人を支援していくことが、大切となります。

<基本的なことについて>

問1 あなたが住んでいるところ（字・行政区）はどこですか。（1つだけ○）

- | | | | | |
|--------|----------|---------|----------|-----------|
| 1. 与那覇 | 5. 東新川 | 9. 兼城 | 13. 津嘉山 | 17. 第二団地 |
| 2. 大名 | 6. 宮平 | 10. 本部 | 14. 神里 | 18. 兼本ハイツ |
| 3. 宮城 | 7. 慶原 | 11. 喜屋武 | 15. 山川 | 19. 宮平ハイツ |
| 4. 新川 | 8. 北丘ハイツ | 12. 照屋 | 16. 第一団地 | 20. 兼平 |

問2 あなたがお住まいの小学校区はどこですか。（1つだけ○）

※小学校区が分からない場合は、封筒記載の小学校区を選択して下さい。

- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 南風原小学校区 | 2. 北丘小学校区 | 3. 津嘉山小学校区 | 4. 翔南小学校区 |
|------------|-----------|------------|-----------|

問3 あなたの性別を教えてください。（1つだけ○）

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問4 あなたの年齢（令和5年1月1日現在）を教えてください。（1つだけ○）

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 3. 40代 | 5. 60代 | 7. 80代以上 |
| 2. 30代 | 4. 50代 | 6. 70代 | |

問5 あなたの職業を教えてください。（1つだけ○）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 正社員・正職員 | 6. 会社経営者 |
| 2. 契約社員・臨時職員・派遣社員 | 7. 専業主婦・主夫 |
| 3. パート・アルバイト | 8. 学生 |
| 4. 自営業（商店主、農家等） | 9. 無職 |
| 5. 自営業の手伝い（家族従業者） | 10. その他 [] |

問6 あなたの世帯構成は次のどれですか。（1つだけ○）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. ひとり親と未婚の子のみの世帯 |
| 2. 夫婦のみ世帯 | 5. 三世代世帯（親、子、孫の同居世帯） |
| 3. 夫婦と未婚の子のみの世帯 | 6. その他の世帯 [] |

問7 あなた自身、または同居している家族に、次のような方はいますか。

（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 乳児（1歳未満） | 6. 児童（小学生） |
| 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 | 7. 生徒（中・高校生） |
| 3. 65歳以上の方 | 8. 学生（専門学校・大学生等） |
| 4. 介護を必要とする方 | 9. いずれもない |
| 5. 障がいのある方 | |

問8 あなたがお住まいの住宅は次のうちどれですか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 5. 公営住宅(団地等) |
| 2. 持ち家(マンション等) | 6. 社宅、官舎、公舎 |
| 3. 借家(一戸建て) | 7. その他 [|
| 4. 賃貸のアパート、マンション等 |] |

問9 あなたの出身地を教えてください。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 南風原町 | 3. 県外 |
| 2. 南風原町以外の県内 | 4. 外国 |

<地域との関わりについて>

問10 あなたは、南風原町に何年(令和5年1月1日現在)ほどお住まいですか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 5. 10年～15年未満 |
| 2. 1年～3年未満 | 6. 15年～20年未満 |
| 3. 3年～5年未満 | 7. 20年～30年未満 |
| 4. 5年～10年未満 | 8. 30年以上 |

問11 あなたの世帯は、地域の自治会に加入していますか。(1つだけ○)

- | | | |
|-----------|--------|------------|
| 1. 加入している | → 問13へ | 2. 加入していない |
|-----------|--------|------------|

問12 自治会に「加入していない」のはどうしてですか。(主な理由を1つだけ○)

1. 必要性を感じないから
2. 長く住み続ける気持がないから
3. 自治会の活動に興味がないから
4. 仕事等でゆとりがなく自治会活動に参加できないから
5. 会費などの出費がかかるから
6. 加入したいが自治会からの勧誘がないから
7. 加入方法がわからないから
8. 自治会活動がわからないから
9. 人づきあいがわずらわしいから
10. その他 [

問13 あなたは、南風原町の住みごちについてどう思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても住みよい | 4. 住みにくい |
| 2. 住みよい | 5. とても住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問14 あなたは、南風原町の地域環境について、どのように感じていますか。

(①から⑫の項目ごとの番号に、1つだけ○)

	良 い (問題ない)	やや良 い (あまり問題ない)	普通	やや悪 い (やや問題あり)	悪 い (問題あり)
①自然環境	1	2	3	4	5
②通勤や買物の利便性について	1	2	3	4	5
③高齢者や障がい者の移動支援	1	2	3	4	5
④地域の治安など安全面	1	2	3	4	5
⑤災害時の危険性	1	2	3	4	5
⑥公園・遊び場・憩いの場	1	2	3	4	5
⑦安心して子どもを育てる環境	1	2	3	4	5
⑧教育・文化環境	1	2	3	4	5
⑨福祉サービスの充実度	1	2	3	4	5
⑩地域の慣習(馴染めないか等)	1	2	3	4	5
⑪地域の間人関係(隣近所など)	1	2	3	4	5
⑫医療機関の充実度	1	2	3	4	5

問15 あなたと隣近所との関係は次のどれに近いですか。(1つだけ○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. あいさつをする程度 | 5. お互い誘い合って集まる |
| 2. たまに立ち話をする程度 | 6. つきあいはほとんどない |
| 3. 物の貸し借りをする | 7. その他 [|
| 4. 困ったことの相談をする |] |

問16 あなたは、近所づきあいについて、どのように考えていますか。(主なもの2つ以内に○)

1. 日頃の生活の中で助け合っていくために必要
2. 地域の見回り、不審者情報の共有など防犯のために必要
3. 地震や台風など災害が起こったときの助け合いのために必要
4. 地域のまとまりのために必要
5. 伝統行事を守り、継承するために必要
6. 近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしいのであまりしたくない
7. 近所づきあいの必要性を感じない
8. その他 [

問22 あなたが、地域の支え合いに期待すること(必要に思うこと)は何ですか。

(主なもの3つ以内に○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ | 7. 障がい者等への理解 |
| 2. 地域の清掃など環境美化 | 8. 地域の見回り、不審者情報の共有など防犯 |
| 3. 災害や緊急事態が起きた時の助け合い | 9. 冠婚葬祭などの手伝い |
| 4. 地域行事などによる交流の場 | 10. 悩み、心配事の相談 |
| 5. 一時的に子どもを預かるなどの支援 | 11. その他 [] |
| 6. 通院など外出、移動時の支援 | 12. 特にない |

問23 あなたは、地域の方に日常生活のなかで手伝ってほしいと思っていることがありますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 見守りや安否確認の声かけ | 9. 短時間の子どもの預かり |
| 2. 話し相手 | 10. 子育ての相談 |
| 3. 買い物 | 11. 子どもの孤立(子どもの貧困対策)の支援 |
| 4. 家の片付けやごみ出しなど | 12. 地震や台風など災害時・緊急時の手助け |
| 5. 食事の提供 | 13. 悩み事・心配事の相談相手 |
| 6. 通院など外出の付添 | 14. その他 [] |
| 7. 役場などへの用事・連絡 | 15. 手伝ってほしいことはない |
| 8. 庭の掃除 | |

問24 あなたは、地域の方へ日常生活のなかで手伝ってもよいと思うものは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 見守りや安否確認の声かけ | 9. 短時間の子どもの預かり |
| 2. 話し相手 | 10. 子育ての相談 |
| 3. 買い物 | 11. 子どもの孤立(子どもの貧困対策)の支援 |
| 4. 家の片付けやごみ出しなど | 12. 地震や台風など災害時、緊急時の手助け |
| 5. 食事の提供 | 13. 悩み事・心配事の相談相手 |
| 6. 通院など外出の付添 | 14. 地域の行事・イベント |
| 7. 役場などへの用事・連絡 | 15. その他 [] |
| 8. 庭の掃除 | 16. 様々な理由により手助けできない |

<困っていることや相談について>

問25 あなたは、生活する上で困っていることや不安に思っていることがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---|------------------------|
| 1. 自分や家族の健康 | 10. 自分や家族の心身の障がい |
| 2. 仕事と家事・育児の両立 | 11. 社会の差別や偏見 |
| 3. 子育て・子どもの教育 | 12. 隣近所、地域の間人間関係 |
| 4. 地震や台風など災害時の避難 | 13. 収入や家計に関すること |
| 5. 仕事や職場に関すること | 14. 子どもの進学 |
| 6. 住まいに関すること | 15. 家族間の問題 |
| 7. 自分や家族の介護 | 16. 生きがい・将来のこと |
| 8. 日中、ひとりであること | 17. 介護や福祉などのサービス利用について |
| 9. 介護は必要ないがちょっとした手助け
(ゴミ出し、買物、電球の交換など) | 18. その他 [] |
| | 19. 特に悩みや不安はない |

問26 生活や福祉に関する相談のために、どんな窓口があるといいと思いますか。(1つだけ○)

1. 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口
2. 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口
3. どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口
4. オンラインで相談できる窓口
5. その他 []

問27 あなたは、今後(今後も)、困っていることや不安があれば、地域(町内)の相談窓口や相談員を利用したいと思いますか。(1つだけ○)

- | | | |
|------------|----------|--------|
| 1. 利用したい | 3. わからない | → 問29へ |
| 2. 利用したくない | | |

問28 「利用したくない」のはどうしてですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 家族や親族、友人など、身近な人への相談で対応できるから
2. 地域の中では相談しづらいから
3. 相談するのがわずらわしいから
4. 窓口(相談員)の対応が良くなかったから
5. 相談員の専門的な知識が十分ではなかったから
6. 他人に頼りたくないから
7. 状況が良くなるとは思えないから
8. 地域に専門的な相談窓口、相談員がないから
9. その他 []
10. 相談先がわからない

<福祉への関心と情報について>

問29 あなたは、地域の福祉に関心をお持ちですか。（1つだけ○）

- 1. 非常に関心がある
- 2. どちらかといえば関心がある
- 3. どちらかといえば関心がない
- 4. まったく関心がない

問31 へ

問30 関心がないのはどうしてですか。（主なもの1つだけ○）

- 1. 今のところ特に福祉とかかわりがないから
- 2. 福祉のことをよく知らないから
- 3. 自分の生活を考えるだけで精一杯だから
- 4. 福祉は行政がやるべきことだから
- 5. 自分のことは自分でやるべきことだから
- 6. 福祉を必要とする人がいる場合、親類縁者が助け合えばよいから
- 7. その他 []

問31 あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。（主なもの3つ以内に○）

- 1. 家族や親族
- 2. 友人や知人
- 3. 町の広報紙
- 4. 役場窓口
- 5. 民生委員・児童委員
- 6. 町社会福祉協議会の広報紙
- 7. 福祉のしおり
- 8. 福祉サービスの利用先
- 9. 病院等の医療機関
- 10. 保育園・幼稚園・学校の先生
- 11. テレビ・ラジオ・新聞等から
- 12. インターネット、LINE等のSNSから
- 13. その他 []
- 14. どこからも情報は得ていない

<地域福祉の推進について>

問32 地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで問題となることは何だとお考えですか。（主なもの3つ以内に○）

1. 近所づきあいが減っていること
2. 自治会の活動などに参加しにくい雰囲気があること
3. ひとり親家庭、障がいのある人などへの偏見があること
4. 他人に干渉されプライバシーが守られないこと
5. 日中、地域を離れている人が多いこと
6. 地域に関心のない人が多いこと
7. 昔からあった互いに支え合うという意識が弱くなっていること
8. 地域に住む人同士の交流機会が少ないこと
9. 互いに力を合わせる必要はないと思う
10. その他 []
11. 特に問題はない

問33 あなたは、地域での住みよいまちづくりについて学び合う機会を持った場合、参加したいと思いますか。（1つだけ○）

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ぜひ参加したい | 4. 参加しない |
| 2. できれば参加したい | 5. わからない |
| 3. あまり参加したくない | 6. その他 [] |
- 問35へ

問34 住みよいまちづくりに関して、どんな学びの場であれば、参加したいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 住みよい地域づくりに関して自由に参加できる講演会の場
2. 他市町村の地域づくりの事例などを紹介する情報入手の場
3. 年に数回の講座を受け、地域福祉や町の状況などを把握する生涯学習の場
4. 講座を受けた後に、地域活動に実際参加する機会につながる実践的な学習の場
5. その他 []

問35 南風原町における福祉の充実を図るために、必要なことは何ですか。

(主なもの5つ以内に○)

1. 身近で確かな相談が受けられること
2. 保健・医療・福祉に関する情報提供の充実
3. 地域で住民同士が互いに助け合う活動
4. 学校での福祉に関する教育の充実（障がい者や高齢者とふれあう機会、講話など）
5. 地域における福祉活動のリーダー育成
6. ボランティアの育成
7. 人にやさしいまちづくり（道路・建物等のバリアフリー化）
8. 地域の福祉意識を高めるための広報・啓発活動の充実
9. 高齢者や障がい者への理解を深めるための取り組み（交流・体験学習・講話等）
10. 支援が必要な高齢者、障がい者、子育て家庭等の見守りや生活支援
11. 生活困窮者への支援
12. 子どもの孤立（貧困対策）
13. 住民福祉活動に対する活動資金の援助
14. 福祉サービスの充実
15. その他 []
16. 特にない

<福祉サービスの利用について>

※福祉サービスとは、高齢者や障がい者の介護や自立生活のために提供される支援のことです。（例：高齢者のための訪問介護・通所介護・配食サービス、障がい者の居宅介護、就労支援など）

問36 あなたやあなたのご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったりしたことはありますか。（1つだけ○）

1. 不都合や不満を感じたことがある
 2. 不都合も不満も感じたことはない
 3. 福祉サービスを利用したことがない
- 問38 へ

問37 不都合や不満を感じたのはどのようなことですか。（主なもの3つ以内に○）

1. 利用手続きに手間がかかった
2. 窓口の対応が良くなかった
3. サービスの内容がわかりにくかった
4. どのサービスが良いのか選びにくかった
5. 利用したいサービスが利用できなかった
6. サービス提供者の対応が良くなかった
7. サービスの内容に満足しなかった
8. サービスの内容が契約と違っていた
9. その他 []

<地域福祉に関連する用語について>

問38 あなたは、地域福祉に関する以下の用語を知っていますか。

(①から⑪の項目ごとの番号に、1つだけ○)

	内容を 知っている	聞いた事はある が内容は知らない	知らない
①小地域福祉ネットワーク活動	1	2	3
②南風原町社会福祉協議会	1	2	3
③民生委員・児童委員	1	2	3
④まちづくりサポートセンター	1	2	3
⑤子育てサロン	1	2	3
⑥ファミリーサポートセンター	1	2	3
⑦ボランティアセンター	1	2	3
⑧コミュニティソーシャルワーカー(CS W)	1	2	3
⑨スクールソーシャルワーカー	1	2	3
⑩「我が事・丸ごと」の地域づくり	1	2	3
⑪ヤングケアラー	1	2	3

※ 次のページに用語の説明があります。

【参考】 問38の用語の説明

①小地域福祉ネットワーク活動	字・自治会を単位に地域の住民が主体となって、地域で気になる高齢者や障害者、子育て世帯を見守り、支えあう活動。
②南風原町社会福祉協議会	社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定され、社会福祉法人として中立性・公共性が高く、民間組織として地域福祉活動を行う組織。
③民生委員・児童委員	民生委員法に基づき各市町村に配置された民間奉仕者(無報酬のボランティア)。住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、また適切な支援やサービスへの「つなぎ役」の役割を果たしている。
④まちづくりサポートセンター	日々の生活の中で支援が必要な方(依頼会員)と支援ができる方(提供会員)が会員登録し、住民相互の支えあい・助けあいの活動を行うための機関。
⑤子育てサロン	地域の公民館、集会所などを活動拠点として、子育て中の親子同士が身近な地域で気軽に交流し、情報交換ができる場。
⑥ファミリーサポートセンター	「子育ての応援をしてほしい人(おねがい会員)」と「子育てのお手伝いできる人(サポート会員)」が会員登録し、相互援助による支えあい・たすけあいを行う会員組織。
⑦ボランティアセンター	ボランティア活動を希望する方を登録し、ニーズにあわせて斡旋するとともに、ボランティア活動の振興をめざした各種養成講座や研修会の実施などに取り組む機関。
⑧コミュニティソーシャルワーカー(CSW)	地域において支援を必要とする住民に対して、地域とのつながりや人間関係など本人を取り巻く環境を大切に支援を行う相談員。本町には各小学校区に2名・合計8名が配置されている。
⑨スクールソーシャルワーカー	児童・生徒が学校や日常生活での悩み(いじめ、不登校、非行、生活困窮)などについて、家族や友人、学校、地域のほか、医療機関や児童相談所等の関係機関と連携して問題解決に導く支援を行う。
⑩「我が事・丸ごと」の地域づくり	・我が事＝隣近所の他人事を「我が事」と思って捉え行動する。 ・丸ごと＝困りごと等について、縦割りではなく分野を超えて「丸ごと」捉え、総合的な相談や支援を行う。
⑪ヤングケアラー	本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。

問40 その他、福祉に関するご意見、ご要望をご自由にお書きください。

最後までご回答いただき、ありがとうございました

